

令和 8 年度

和光の教育



広沢小学校に難聴言語通級指導教室を設置しました。(令和 8 年 3 月)



和光市教育委員会

目 次

I 教育行財政

1. 和光市の概況	5
2. 教育委員名簿	5
3. 令和7年度の主な施設等整備	5
4. 和光市教育大綱（令和8年度～令和11年度）【概要】	6
5. 和光市教育振興基本計画【概要】	7
6. 令和8年度の重点と学校教育指導の重点	
令和8年度の重点	10
令和8年度 学校教育指導の重点	23
7. 教育費予算	
(1) 令和8年度和光市一般会計当初予算 (2) 教育費内訳	28
(3) 教育費当初予算前年比	29
8. 教育委員会事務局・教育機関の組織図	30
9. 教育委員会事務局事務分掌	31

II 学校教育

1. 学校紹介

和光市立白子小学校	33
和光市立新倉小学校	34
和光市立第三小学校	35
和光市立第四小学校	36
和光市立第五小学校	37
和光市立広沢小学校	38
和光市立北原小学校	39
和光市立本町小学校	40
和光市立下新倉小学校	41
和光市立大和中学校	42
和光市立第二中学校	43
和光市立第三中学校	44
和光市教育支援センター	45
和光市内県立高等学校・特別支援学校	46

2. 小中学校一覧	
(1) 面積 (2) 児童生徒数・学級数	47
(3) 児童・生徒の体位	48
(4) 令和7年度児童生徒の疾病状況	49
(5) 令和7年度新体力テスト(県・市平均値)	50
(6) 学校給食	52
III 生涯学習	
1. 社会教育施設	55
(1) 和光市中央公民館 (2) 和光市坂下公民館 (3) 和光市南公民館	
(4) 和光市図書館 (5) 和光市図書館下新倉分館	
2. 文化財	56
旧富岡家住宅(新倉ふるさと民家園)	
3. その他の施設	56
和光市文化財保存庫	
4. 令和7年度生涯学習事業報告	57
5. 令和8年度生涯学習事業計画	58
6. 文化財保護	
(1) 国指定文化財 (2) 埼玉県指定文化財 (3) 和光市指定文化財	59
(4) 市史編さん刊行物 (5) 文化財関係刊行物	64
7. 公民館	
(1) 令和7年度公民館事業報告	
中央・坂下・南公民館共催事業	66
中央公民館	66
坂下公民館	67
南公民館	69
(2) 令和8年度公民館事業計画	
中央・坂下・南公民館共催事業	71
中央公民館	71
坂下公民館	73
南公民館	75
(3) 令和7年度公民館利用状況 (4) 社会教育団体の主な活動拠点	76

8. 図書館

(1) 図書館活動の概要	77
(2) 令和7年度利用状況	78
1 登録者延べ数 2 資料貸出冊(点)数 3 相互貸借数 4 団体貸出	
5 開館日数 6 入館者数 7 リクエスト件数	
8 リクエスト件数の推移 9 レファレンス件数 10 レファレンス件数の推移	
11 インターネットからの利用状況 12 コピー枚数 13 所蔵資料数	
(3) 各種指標から見た令和7年度実績	79
(4) 集会行事	
1 令和7年度図書館集会事業報告(本館)	81
2 令和8年度図書館集会事業計画(本館)	83
3 令和7年度図書館集会事業報告(下新倉分館)	85
4 令和8年度図書館集会事業計画(下新倉分館)	87
(5) 本とのふれあい事業 (6) 団体貸出について	88
(7) 沿革	90

IV 青少年事業・生涯スポーツ振興事業

1. 青少年事業

(1) 令和7年度事業報告	93
(2) 令和8年度事業計画	95

2. 生涯スポーツ振興事業

(1) 令和7年度事業報告	97
(2) 令和8年度事業計画	99
(3) 令和7年度スポーツ振興施設利用状況	100
(4) 令和7年度総合体育館施設利用状況	101
(5) 令和7年度アーバンアクア公園施設利用状況	102
(6) 令和7年度市民プール施設利用状況	102
(7) スポーツ協会加盟団体別人数一覧表	103
(8) スポーツ少年団加盟団体別人数一覧表	103
(9) スポーツ振興施設一覧表	104

I 教育行財政

1. 和光市の概況

令和7年10月31日に市制施行55周年を迎えた和光市は、都心から20km圏内という立地にあり、豊かな自然と高度な都市機能が調和した住宅都市として発展を続けています。面積11.04平方キロメートルのコンパクトな市域は、東を東京都板橋区、南を練馬区、西を朝霞市、北を戸田市に囲まれ、埼玉南西部と東京都心部を結ぶ交通の結節点としての役割を担っています。

交通面においては、市の中央に位置する和光市駅の優れたアクセス性が大きな特徴です。東武東上線に加え、東京メトロ有楽町線・副都心線の始発駅でもあり、さらには東急東横線や横浜高速鉄道みなとみらい線との相互直通運転により、都心部や横浜方面への円滑な移動を可能にしています。また道路網においても、国道254号や主要地方道練馬川口線が走り、市内を縦断する東京外環自動車道を通じて各高速道路へスムーズに接続しています。この利便性を背景に、新産業や物流の拠点としてもさらなる発展が期待されています。

教育行政においては、これまでの成果を継承しつつ、新たな社会の変化に対応するため、令和8年度から令和12年度を期間とする「第2期 和光市教育振興基本計画」を策定いたしました。この基本理念の実現のために、4つの基本方針と10の基本施策を掲げ、子供から大人まで、誰もが学びを豊かにし、幸せな人生の実現を支援する教育の振興を図ってまいります。

令和8年5月1日現在

●市制施行	昭和45年10月31日（旧大和町）			
●総人口	85,800 人			
●総世帯数	45,513 世帯			
●人口密度	7,772 人/km ²			
●財政規模	350億3,400万円（令和8年度一般会計予算）			
●学校数	小学校	9 校	県立高等学校	1 校
	中学校	3 校	県立特別支援学校	2 校
●児童・生徒数	小学校	4,163 人	県立高等学校	945 人
	中学校	1,909 人	県立特別支援学校	535 人
●市議会議員数	17 人			
●市職員数	476 人			

2. 教育委員名簿

職名	氏名
教 育 長	いしかわ つよし 石 川 毅
教育長職務代理人	きえり こ子 萩 江 利
委 員	やま だ みのもる 山 田 実
委 員	にし たに かず あき 西 谷 一 晃
委 員	あまない あや 天 内 綾

（令和8年5月1日現在）

3. 令和7年度の主な施設等整備

完成年月	教育委員会関連の主な施設整備
7年9月	第四・第五・広沢小学校・第二中学校 屋内運動場空調機設置工事
7年10月	第四小学校高圧ケーブル更新工事
8年1月	広沢小学校難聴言語通級指導教室設置工事
8年3月	大和中学校特別支援学級等増設工事

4. 和光市教育大綱（令和8年度～令和11年度）【概要】

「和光市教育大綱」とは、市長が、その地域の実情に応じ、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものです。

<基本理念>

「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育」

<基本方針>

- 1 学びの基礎となる確かな学力の育成と、社会性を育む義務教育の推進
- 2 地域特性を活かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進
- 3 福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進
- 4 デジタル技術の進化に即した情報教育の推進

5. 和光市教育振興基本計画【概要】

Ⅰ 計画の概要

和光市教育振興基本計画は、教育基本法に基づく本市の教育振興基本計画です。市の総合的な計画の「第五次和光市総合振興計画」や市長が定めた「和光市教育大綱」を踏まえた教育行政における中長期的な計画です。

【基本理念】

生涯にわたる自発的な学びと、
豊かで健やかな人生の実現を支援する教育

テクノロジーの進歩や予測困難な社会に対応するためには、生涯にわたって自発的に学び続けなければなりません。学びが人を成長させ、その人の人生を豊かにするだけでなく、新しい社会の形成に寄与することとなります。

そのためにも和光市では子供から大人まで、誰もが学びを豊かにし、幸せな人生の実現を支援する教育の振興を図ってまいります。

「基本理念」の実現のために、以下の4つの「基本方針」と10の「基本施策」を掲げています。

【基本目標】

- 1 学びの基礎となる確かな学力の育成と、社会性を育む義務教育の推進
- 2 地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進
- 3 福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進
- 4 デジタル技術の進化に即した情報教育の推進

【基本施策】

- 基本施策1 確かな学力と自立する力の育成
- 基本施策2 豊かな心と健やかな体の育成
- 基本施策3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実
- 基本施策4 多様なニーズに対応した教育の推進
- 基本施策5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進
- 基本施策6 安全安心な学校施設の整備
- 基本施策7 こども・若者の居場所づくり
- 基本施策8 社会教育・生涯学習の振興
- 基本施策9 歴史的・文化資源の保存・活用と創造的な文化の振興
- 基本施策10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

2 施策の体系

- 基本理念 1
- 基本目標 4
- 基本施策 10
- 施策 39

が、次のように構成されています。

基本理念 「生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する

基本目標
4 3 2 1

学
域
基
礎
と
な
る
確
かな
学
力
の
育
成
と、
社
会
性
を
育
む
義
務
教
育
の
推
進
 地
域
特
性
を
生
か
し、
生
涯
継
続
す
る
学
び
を
支
援
す
る
社
会
教
育
の
推
進
 福
祉
、
コ
ミ
ュ
ニ
テ
ィ
施
策
と
の
密
接
な
連
携
に
よ
る
地
域
・
家
庭
教
育
の
推
進
 デ
ジ
タル
技
術
の
進
化
に
即
した
情
報
教
育
の
推
進

基本施策 1 確かな学力と自立する力の育成

- 施策 1 個の学力を伸ばす教育の推進
- 施策 2 次世代に求められる資質・能力の育成
- 施策 3 新しい時代に対応する教育の推進
- 施策 4 社会の形成に参画する力の育成

基本施策 2 豊かな心と健やかな体の育成

- 施策 1 いじめや非行問題等に係る生徒指導及び教育相談体制の充実
- 施策 2 人権を尊重した教育の推進
- 施策 3 情感豊かな心を育む教育の推進
- 施策 4 運動に親しみ、健やかな体を育む教育の推進
- 施策 5 健康の保持増進と食育の推進

基本施策 3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実

- 施策 1 教職員の資質・能力の向上
- 施策 2 働き方改革を踏まえた学校の組織運営の改善
- 施策 3 学習環境等の整備・充実
- 施策 4 児童生徒の安心・安全の確保

基本施策 4 多様なニーズに対応した教育の推進

- 施策 1 特別支援教育の充実
- 施策 2 経済的な支援を必要とするこどもへの支援
- 施策 3 不登校児童生徒への支援
- 施策 4 外国人児童生徒など一人一人の状況に応じた支援

基本施策 5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進

- 施策 1 コミュニティ・スクールの推進
- 施策 2 各学校におけるPTAや保護者の会、学校応援団等、学校を支える組織等との連携・協働
- 施策 3 地域を支える組織や関係機関等との連携・協働

基本施策 6 安全安心な学校施設の整備

- 施策 1 学校施設及び設備の整備と適正な維持管理

基本施策 7 こども・若者の居場所づくり

- 施策 1 学童クラブとわこうこクラブの一体型運営等によるこどもの居場所づくりの推進
- 施策 2 こども・若者の居場所づくり
- 施策 3 青少年健全育成活動の支援

基本施策 8 社会教育・生涯学習の振興

- 施策 1 市民の主体的・自主的な学習活動の支援
- 施策 2 社会教育施設の充実
- 施策 3 生涯学習に関するネットワークの構築と活用
- 施策 4 多様な市民ニーズに対応した講座の企画・開催
- 施策 5 図書館機能の充実

基本施策 9 歴史的・文化的資源の保存・活用と創造的な文化の振興

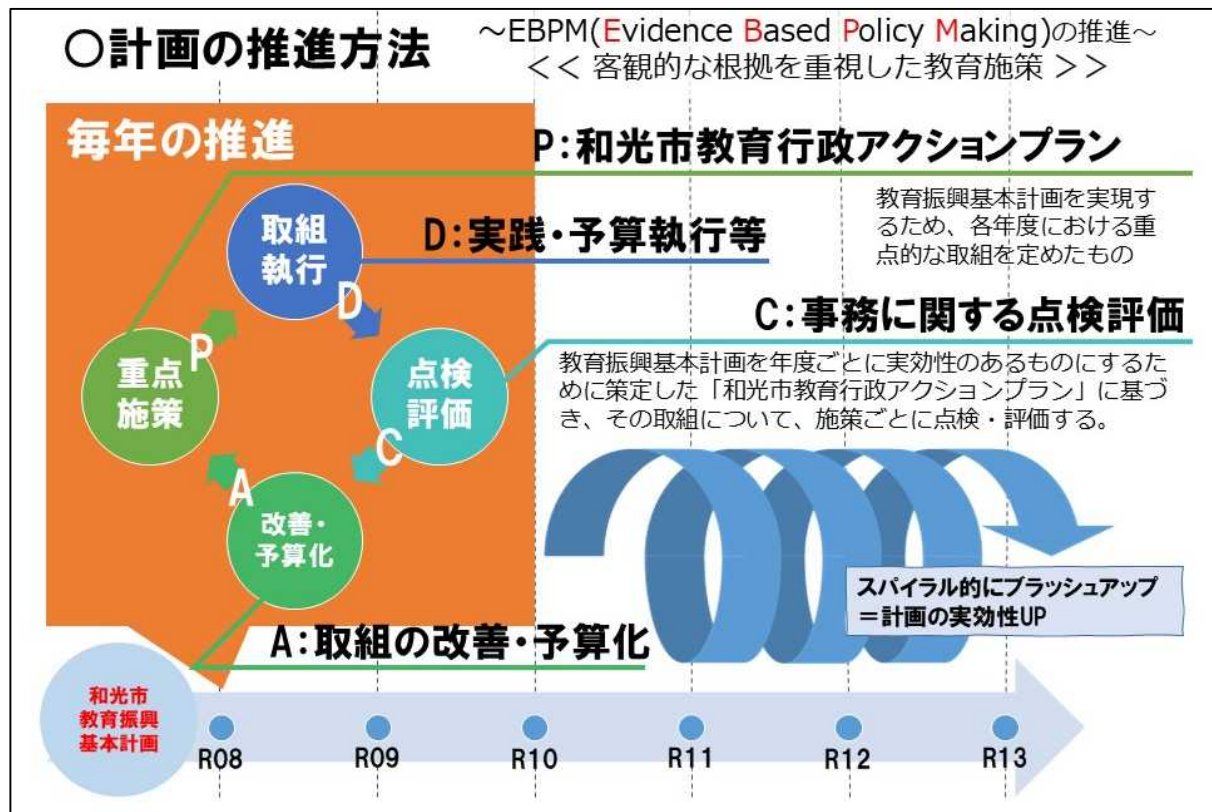
- 施策 1 歴史的・文化的資源の保存・活用
- 施策 2 歴史的・文化的資源の魅力発信と学ぶ機会の充実
- 施策 3 地域における伝統文化の継承
- 施策 4 自主的に創造的な文化活動の支援

基本施策 10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- 施策 1 スポーツ・レクリエーション活動の推進
- 施策 2 スポーツ施設の維持管理
- 施策 3 スポーツ施設の利便性向上
- 施策 4 参加しやすいイベントの企画・開催
- 施策 5 スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信
- 施策 6 スポーツを支える人材の育成支援

3 計画の進行管理

本計画の円滑かつ着実な推進を図るため、「教育委員会の事務に関する点検評価」を活用し、PDCAサイクル（経営マネジメントサイクル Plan：計画⇒Do：実行⇒Check：測定・評価⇒Action：対策・改善）による適切な進行管理を推進し、現状の施策活動実績を分析評価し、その中から課題や改善点を洗い出して次の施策に生かしていくことで基本理念の実現を目指します。



【本計画の推進に関わるPDCAサイクル】

○ 和光市教育行政アクションプラン

和光市教育振興基本計画に掲げる10の基本施策に関わり、その年度における重点目標や具体的な取組等についてまとめたものです。教育振興基本計画が5年間の中・長期的な計画であるのに対して、教育行政アクションプランは、毎年度示してまいります。

○ 教育委員会の事務に関する点検評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年4月1日から、教育委員会でその教育行政事務の管理執行状況について自己点検及び評価を行うことになり、効果的な教育行政を推進するため、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価」を平成20年度から毎年実施し、報告書にまとめ公表しています。

6. 令和8年度の重点と学校教育指導の重点

令和8年度の重点

基本施策Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

「主体的・対話的で深い学び」の視点を基盤に、授業改善と教育課程の柔軟な編成を推進し、児童生徒一人一人の学力、その中でも特に学習意欲や自己肯定感を高めます。情報活用能力の育成や探究的な学びの充実を図るとともに、各学校段階に応じたキャリア教育や主権者教育を、家庭・地域社会と連携して展開し、未来社会を主体的に切り拓く力を育成します。また、教育の「余白」を活かした多様な学びの場を整え、誰一人取り残さない包摂的な教育の実現を目指します。

＜令和8年度の指標の目標＞

勉強の仕方について （埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙）	
52.6% （←令和7年度 50.7%）	
【定 義】勉強の仕方についての項目のうち、県平均と同等（±0.5ポイント）が県平均を上回っている項目数の割合	
自分自身のことについて （埼玉県学力・学習状況調査 児童生徒質問紙）	
45.5% （←令和7年度 44.4%）	
【定 義】自己肯定感や将来への展望など、自分自身のことについての項目のうち、県平均と同等（±0.5ポイント）が県平均を上回っている項目数の割合	
児童生徒の学校における ICT 活用状況 （埼玉県学力・学習状況調査 質問調査）	
小6 : 77.2% （←令和7年度 73.9%）	
中3 : 67.4% （←令和7年度 61.7%）	
【定 義】「小学5年生（中学2年生）までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した割合（「ほぼ毎日」も含む）	

主な取組

施策Ⅰ 個の学力を伸ばす教育の推進

- (1) 各種調査等を活用し、児童生徒の実態に基づいた学力向上プランの策定及び「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく指導法の改善
- (2) 次期学習指導要領を志向した委嘱研究の推進

施策Ⅱ 次世代に求められる資質・能力の育成

- (1) 探究的な学びの拡充を志向した教育課程の編成
- (2) 姉妹都市との連携学習の実施をはじめとしたいろいろな国の方々と連携した国際理解教育の充実

施策3 新しい時代に対応する教育の推進

- (1) ICT を活用した授業改善と協働的な学びの推進
(ICT 活用推進委員会を中心とした事例の収集・共有)
- (2) 読書活動の推進による豊かな感性と表現力の育成

施策4 社会の形成に参画する力の育成

- (1) 地域社会や関係機関と連携したキャリア教育の実施
- (2) 持続可能な地域づくりに向けた課題解決型学習の推進
(市役所等行政機関や地元企業等と連携した総合的な学習の時間の実施)
- (3) 幼・保・小連絡協議会による円滑な接続

基本施策２ 豊かな心と健やかな体の育成

こどもたちが多様な他者と協働しながら、思いやりや規範意識、勤労観・職業観を育み、豊かな人間性と社会性を身につけることを目指します。自己肯定感や自己有用感を高める教育を推進するとともに、体力面に課題を抱える本市の実情を踏まえ、運動習慣の定着や生活リズムの改善、食育の充実を図り、生涯にわたる健康的な生活の基礎を育成します。また、教育課程の「余白」を活かした体験的な活動や地域との連携を通じて、心身の健やかな成長を支援します。

《令和８年度の指標の目標》

規律ある態度について （埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙）
90.3% （←令和７年度 88.9%） 【定 義】小４～中３における規律ある態度に関する項目のうち達成率80%以上の項目数の割合
新体力テスト （全国体力・運動能力、運動習慣等調査）
79.0% （←令和７年度 78.4%） 【定 義】新体力テストの総合評価（Ａ～Ｅの段階絶対評価）で上位３ランク（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）の児童生徒の割合

主な取組

施策１ いじめや非行問題等に係る生徒指導及び教育相談体制の充実

- (1) 各校の教育相談部会への支援センター職員の参加、相談員研修会における事例検討等を通じた学校全体で取り組む教育相談体制の強化のための研修会実施
- (2) 教育支援センターの拡充と関係機関等との更なる連携
- (3) ID・パスワード管理の重要性、権利や著作物の理解、情報発信の責任に関する学習等を通じた、情報モラル教育の推進とネットトラブル防止

施策２ 人権を尊重した教育の推進

- (1) 教育活動全般を通じた人権教育の充実と授業改善
（県・市主催の教員研修への参加、人権教育推進プログラムの活用）
- (2) ゲストティーチャーを活用するなど体験活動のより一層の充実
- (3) 市内作品展や、芸術鑑賞教室、音楽会の実施等、芸術文化を通して他者作品等に触れる学びの推進

施策３ 情感豊かな心を育む教育の推進

- (1) 道徳科の授業の充実。（授業公開や研修会の充実等、現場の教員が自信を持って授業を行えるような支援の実施）
- (2) 豊かな体験活動の充実。（特別活動、総合的な学習の時間における探究的な学び等の指導の充実）
- (3) 規律ある態度の育成。（重点「整理整頓」「話を聞き発表する」）

施策４ 運動に親しみ、健やかな体を育む教育の推進

- (1) 市内授業研究会や体力向上推進委員会を活用した体育授業の工夫や取組の共有等を通じた体育授業の工夫と運動習慣の定着

- (2) 体力・健康データを活用した個別指導の充実
- (3) 体力テストコーナーや休み時間における体育活動、校庭や体育館の解放等、各校の実情に合わせた運動機会の創出等、学校での運動・スポーツ活動環境の整備

施策5 健康の保持増進と食育の推進

- (1) 保健学習と生活習慣の定着
- (2) 県のメンタルヘルスリテラシーツール等の活用を通じた各学校におけるメンタルヘルスリテラシー教育の実施
- (3) 発達段階に応じた性教育やいのちの安全教育の実施
- (4) 地元農家と連携した食育授業の実施等、学校給食を活用した食育の推進

基本施策3 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実

複雑化・多様化する教育課題に対応し、児童生徒一人一人の可能性を最大限に引き出すため、優れた教職員の育成・確保に努めるとともに、教職員が協働し力を発揮できる「チーム学校※」の推進と、働き方改革を踏まえた持続可能な学校運営体制の構築を図ります。また、教育DXの進展を活かし、校務の効率化や教育の質の向上を支援します。一方、児童生徒の安全・安心を守るため、安全教育の充実、通学区域の見直し、地域との連携による安全な環境整備を進め、誰もが安心して学べる学校づくりを推進します。

《令和8年度の指標の目標》

学級経営や生徒指導、指導法等について（埼玉県学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙）
61.7%（←令和7年度 59.7%） 【定義】小4～中3の学級経営や生徒指導、指導法等に関する項目のうち、県平均と同等（±0.5ポイント）が県平均を上回っている項目数の割合
一月当たりの時間外在校時間（勤怠管理）
63.0%（←令和6年度 53.7%） 【定義】1年間の時間外在校時間が360時間以内かつ1か月の時間外在校時間が45時間を超える月が6か月以内の人数の割合

主な取組

施策1 教職員の資質・能力の向上

- (1) キャリアステージに応じた研修の充実と実践共有
- (2) 大学や専門機関との連携による専門性向上
- (3) 衛生推進委員会等、よりよい職場づくりへの協議の実施
- (4) 教育公務員としての自覚と責任を育む不祥事防止研修の実施

施策2 働き方改革を踏まえた学校の組織運営の改善

- (1) 働き方改革の新たな基本方針を志向した負担軽減等の実施
- (2) 学校評価の手引きを活用した学校評価の改善
- (3) 保護者や地域の方々における学校の働き方改革への理解促進

施策3 学習環境等の整備・充実

- (1) 校内ネットワークの環境改善、児童生徒のニーズに応じた図書資料の購入等、ICT環境や教材、図書資料等教育環境の整備
- (1)(2) 校務支援システムの更新（現状使用しているシステムの成果と課題を把握・整理、解消に向けたシステムの構築）

施策4 児童生徒の安心・安全の確保

- (1) 発達段階に応じた体験型安全教室の実施等、安全教育の充実
- (2) 通学路安全点検の計画的な実施等、保護者や地域と連携したこどもの安全な環境の構築
- (3) PDCAサイクルに基づく、危機管理マニュアルの見直し等、各学校の実情や現代的な課題等に応じた危機管理体制の整備

基本施策４ 多様なニーズに対応した教育の推進

共生社会の実現に向けて、特別な教育的支援を必要とする児童生徒一人一人の状況に応じた指導・支援を充実させ、切れ目のない支援体制の構築を図ります。多様な課題に対応できる学校づくりのために、教職員の専門性の向上を図るとともに、学校全体で対応できる組織体制を整備し、家庭や地域との連携を深めながら、包摂的で安心できる教育環境の充実を推進します。特に、不登校児童生徒やその保護者への支援、居場所づくりなど、誰もがつながりを感じられる仕組みづくりにも取り組みます。

《令和８年度の指標の目標》

特別支援学校教諭免許状等の取得率
62.0% (←令和７年度 60.0%) 【定 義】特別支援学級を担当する本務教員の特別支援学校教諭免許状等の取得率
長期欠席者等における状態の変化（支援状況資料）
35.8% (←令和７年度 39.7%) 【定 義】埼玉県「児童生徒支援ガイドブック」にある、長期欠席者の状態において、全長期欠席者等のうち、状態６～８に該当する児童生徒の割合（※割合が減る方が状況改善）

主な取組

施策１ 特別支援教育の充実

- (1) 市内全校における特別支援学級の拡充や通級指導教室の運営や体制等の改善
(県特別支援教育推進専門員派遣の活用、県立特別支援学校センター的機能活用の推進、朝霞地区四市通級指導教室連絡会の充実)
- (2) 教育支援センター・適応指導教室の体制整備
(教育支援センター移設・拡充、就学相談等の体制整備、出張適応指導教室の継続)
- (3) 医療的ケア児受入れの理解促進のための研修の実施
(学校支援部会の実施、研修会参加の推進)

施策２ 経済的な支援を必要とするこどもへの支援

- (1) 就学援助等による経済的支援
- (2) 福祉部の「アスナル教室」との連携

施策３ 不登校児童生徒への支援

- (1) 教育支援センターの拡充による不登校児童生徒と保護者支援の強化
- (2) 各学校における不登校児童生徒と保護者支援体制の見直しと居場所づくりの推進
(県実施のメタバース空間の活用)
- (3) フリースクールなど、学校外の組織や関係機関との連携強化

施策4 外国人児童生徒など一人一人の状況に応じた支援

- (1) 日本語指導体制の見直しや教育委員会における窓口対応の強化（外国語対応等）
- (2) 児童生徒が抱える個別の問題の複雑化への対応強化のための関係機関との連携

基本施策5 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進

各学校のPTAや保護者の会、学校応援団※、コミュニティ・スクール等学校を支援する組織及び関係機関等との連携及び協働により、家庭や地域社会とともに歩む学校づくりを進めていくとともに、学校を核とし、地区社会福祉協議会や自治会など地域を支える組織と連携及び協働した地域学校協働活動の実現を目指します。

≪令和8年度の指標の目標≫

コミュニティ・スクールの理解度（アンケート ※保護者対象）
22.7% （←令和7年度 14.4%）
【定義】小5、中2の保護者アンケートにおけるコミュニティ・スクールの理解について「よく理解している」「理解している」の割合
コミュニティ・スクールの理解度（アンケート ※教職員対象）
65.0% （←令和7年度 61.3%）
【定義】教職員に対するアンケートで、コミュニティ・スクールの理解について「よく理解している」「理解している」を選択した割合

主な取組

施策1	コミュニティ・スクールの推進
	(1) ホームページ更新やリーフレット作成など、保護者や地域への周知 (2) 各学校における学校運営協議会の在り方等の改善 (3) 市教委指導主事による学校運営協議会の会議への参加
施策2	各学校におけるPTAや保護者の会、学校応援団等、学校を支える組織等との連携・協働
	(1) 家庭教育アドバイザーの活用等、各学校における家庭教育支援の充実 (2) 各学校の地域連携教育計画の作成と保護者・地域への周知 (3) 新しい学校評価の実施による保護者・地域の方々の学校への参画促進
施策3	地域を支える組織や関係機関等との連携・協働
	(1) 学校教育課指導主事による地域・関係機関とのつながり強化 (2) 部活動地域展開の推進（実証事業の実施・指導者や受入団体等の確保） (3) 地域学校協働本部による「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の推進

基本施策 6 安全安心な学校施設の整備

児童生徒が日常の大半を過ごす学校教育環境の安全性を確保し、安心して学校生活が送れるように学校施設を整備します。

《令和 8 年度の指標の目標》

普通教室・特別教室・体育館・卓球場・格技場の照明器具の LED 化
40% (←令和 7 年度 38%) 【定義】小中学校の施設内にある室場のうち、照明器具を全て LED 機器に更新した室場の割合
校舎内トイレの洋式化
85% (←令和 7 年度 83%) 【定義】小中学校の校舎内の全トイレ大便器のうち、洋式便器の割合

主な取組

施策 1 学校施設及び設備の整備と適正な維持管理

- (1) 和光市小中学校個別施設計画に基づいた改築工事や長寿命化改修工事などの着実な実施
- (2) 令和 9 年末に生産終了となる蛍光灯の LED 化
- (3) 児童生徒が日常使用するトイレの老朽化対応・洋式化
- (4) 早期に設置した空調機器の更新
- (5) 学校施設に係る、適切な維持管理と状況の変化に応じた防災・防犯等対策の実施

基本施策7 こども・若者の居場所づくり

(本施策中における「こども」は0歳からおおむね30歳未満とし、「若者」は中学生からおおむね30歳未満を対象としています。)

こどもが身近な地域の大人や友だちと触れ合いながら安心して過ごすことができ、社会の責任ある一員として成長できるようにします。

《令和8年度の指標の目標》

わこうっこクラブを利用している児童の満足度
80% (←令和7年度 未実施)
【定 義】わこうっこクラブを利用している児童のうち、「わこうっこクラブが楽しい」と回答した児童の割合
青少年育成団体主催のイベント参加者数
800人 (←令和6年度 602人)
【定 義】こども・若者が地域と関わる機会が減少しているため、地域との関わりのきっかけとなる、青少年育成団体主催イベントの参加者数を設定

主な取組

施策1	学童クラブとわこうっこクラブの一体型運営等によるこどもの居場所づくりの推進
	(1) わこうっこクラブを学童クラブとの一体型事業として全校において開設し、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう推進する。 (2) わこうっこクラブに子ども教室を包含し、地域の協力の下、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう充実を図る。
施策2	こども・若者の居場所づくり
	(1) こども・若者の生活リズムを踏まえながら、総合体育館や図書館・公民館、児童センター(館)・公園、コミュニティ施設で、運動や体験学習、地域活動などの催しを展開する。 (2) 充実した居場所づくりに向け、関連施設や所管等と情報共有・連携を図って周知する。
施策3	青少年健全育成活動の支援
	(1) 青少年育成関連団体や保護者に対する情報提供を充実させるため、広報誌やホームページなど各種広報媒体を活用して周知を図る。 (2) 青少年団体による多世代が交流できるイベントを支援する。

基本施策 8 社会教育・生涯学習の振興

市民の多様なニーズに対応した学習機会を提供し、市民が自主的な学習活動を行い、学んだことを地域で生かせるようにします。

《令和8年度の指標の目標》

地域課題に関する講座の数
58回 (←令和7年度 55回) (R8.1月末現在 予定含む) 【定義】防災や健康、子育てなど地域の課題をテーマとして実施した講座の件数
生涯学習指導者活動件数
21件 (←令和7年度 21件) (R8.1月末現在 予定含む) 【定義】生涯学習指導者として登録されている地域の方を活用して実施した講座の件数

主な取組

施策1 市民の主体的・自主的な学習活動の支援

- (1) 市民の生涯学習・社会教育活動への支援
- (2) 学びの成果を還元する仕組みの充実と、地域で活動する個人、団体、大学や企業など様々な分野と連携し地域課題を担う人材の育成・活用
- (3) 社会教育と学校教育の連携推進
- (4) 多世代間の交流推進

施策2 社会教育施設の充実

- (1) 安全安心して快適に利用できる施設設備の充実
- (2) ユニバーサルデザインや社会情勢に対応した施設の更新

施策3 生涯学習に関するネットワークの構築と活用

- (1) 学校や地域、社会教育団体、国の研究機関等との連携強化
- (2) 生涯学習に関する情報の収集、共有、発信
- (3) 保護者に地域学校協働活動を知ってもらうための施策の検討
- (4) ボランティアやリーダーを育成するための定期的な研修やワークショップ開催の検討
- (5) 公民館を拠点とした地域学校協働活動の継続

施策4 多様な市民ニーズに対応した講座の企画・開催

- (1) 市民の学習ニーズに対応した、学びがいのある講座・教室の開催
- (2) 障害の有無にかかわらず共に学べる場の提供
- (3) 地域のつながり、交流となる地域特性を生かした事業の開催
- (4) 地域の人材を活用し、地域課題解決につながる講座の企画・開催

施策5 図書館機能の充実

- (1) 適切な蔵書管理
- (2) 学校図書館と連携し読書活動、調べ学習等を支援
- (3) 中高生向け講座やアクティブシニア向けサービスの充実
- (4) 図書館講座や読み聞かせなど、市民や他の公共機関等と連携した図書館事業の充実

基本施策 9 歴史的文化資源の保存・活用と創造的な文化の振興

市民の貴重な財産である文化財や郷土の歴史を後世に伝えていくとともに、市民が郷土に愛着を持てるようにします。また、文化活動を行う市民の自主性が尊重され、創造的な文化活動を活性化します。

《令和 8 年度の指標の目標》

文化財関係講座・見学会等件数（出前講座等含む）
8 回 （←令和 7 年度 8 回）（R8. 1 月末現在 予定含む） 【定 義】発掘現場公開や、文化財に関する講座の実施件数
国・県・市指定文化財件数
2 1 件 （←令和 7 年度 2 1 件）（R8. 1 月末現在） 【定 義】保護・保存が必要な文化財として理解されている実数
新倉ふるさと民家園の来園者数
1 2, 0 0 0 人 （←令和 6 年度 9, 9 6 5 人） 【定 義】新倉ふるさと民家園の来園者の総数

主な取組

施策 1	歴史的文化資源の保存・活用 (1) 史跡午王山遺跡の保存、活用及び整備の推進 (2) 歴史資料室・文化財保存庫の整理と活用
施策 2	歴史的文化資源の魅力発信と学ぶ機会の充実 (1) デジタルミュージアムの運営 (2) フィールドワーク等体験型講座の実施
施策 3	地域における伝統文化の継承 (1) 伝統文化団体への助成 (2) 新倉ふるさと民家園の維持・修繕、和光市古民家愛好会との協働
施策 4	自主的で創造的な文化活動の支援 (1) 文化活動に関する相談支援の充実 (2) 文化活動、発表、創作の場の提供 (3) イベントにおける文化団体間交流の推進

基本施策 10 スポーツ・レクリエーション活動の推進

市民が身近な場所でスポーツ・レクリエーションに親しみ、自主的に取り組めるようにします。

《令和 8 年度の指標の目標》

スポーツ施設の延べ利用人数
599,659名 (←令和 6 年度 595,659名)
【定 義】市内のスポーツ施設の延べ利用人数

主な取組

施策 1	スポーツ・レクリエーション活動の充実 指定管理者やスポーツ関連団体による幅広い世代を対象としたスポーツイベントの実施
施策 2	スポーツ施設の維持管理 (1) 指定管理者制度を活用した適切な維持管理 (2) 公共施設マネジメント実行計画に基づく修繕
施策 3	スポーツ施設の利便性向上 スポーツ関連団体とのヒアリングに基づいたスポーツ施設の利便性向上
施策 4	参加しやすいイベントの企画・開催 わこうスポーツ祭りの実施
施策 5	スポーツ・レクリエーション活動に関する情報発信 市ホームページや LINE を活用したスポーツ関連情報の広報
施策 6	スポーツを支える人材の育成支援 (1) 支える人材の育成に関する情報提供 (2) スポーツイベントにおけるボランティア募集

※国のスポーツの定義・・・競技・余暇活動・体力増強のために行う身体活動の全般

令和８年度 学校教育指導の重点

(1)学校経営

◇ 創意工夫を生かし、特色ある教育活動の充実を目指す。

- ① 児童生徒が生き生きと学校生活を送ることができるために、学校経営方針及び学校教育目標を具現化する。
- ② 児童生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、特色ある教育課程を編成・実施する。
- ③ 学校、学年、学級で一貫した経営を行い、全教職員が学校運営に参画する。
- ④ 学校の教育課題を明確にした校内研修の実施及び教職員による不祥事防止に取り組む。
- ⑤ 家庭や地域社会、異校種との連携や交流を推進して、特色ある教育活動を展開する。
- ⑥ 学校を安全・安心な居場所として保障し、様々な事情抱える多様な児童生徒が、誰一人取り残されないように取り組む。

(2)学級経営

◇ 児童生徒一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する様々な活動に自主的・実践的に取り組む。

- ① 日々、一人一人の児童生徒理解を深め、児童生徒と教師、児童生徒相互の信頼関係を育む。
- ② ガイダンスとカウンセリングを充実させ、個々の学校生活への適応を図るとともに、よりよい人間関係の形成を実現する。
- ③ 学級の児童生徒一人一人が認められ、よさや可能性を発揮できる、また、他者の失敗や短所に寛容で共感的な学級の雰囲気醸成していく。
- ④ 児童生徒の規範意識を高めるため、学級のルールについて児童生徒が話し合ったり、意味を考えたりする機会を設ける。
- ⑤ 学級活動を充実させ、多様な考えに折り合いをつけながら、自分もよくみんなもよい解決方法を考えられるようにする。
- ⑥ ノーマライゼーションの理念に基づき、個に応じた指導や支援の充実に努める。
- ⑦ 丁寧な児童生徒理解、肯定的な関わり方、教職員間での情報共有等に努めるとともに、二次的な障害を招かないような対応や自己肯定感を高めさせるような働きかけを行う。

(3)学習指導

◇ 生きる力を育む授業の創造を目指す。

- ① ICT機器を効果的に活用した授業の実施を推進する。
- ② 新しい観点に基づいた児童生徒の資質・能力を育むため、児童生徒の発達段階や地域資源の活用等を十分に踏まえたカリキュラム・マネジメントを展開する。
- ③ 児童生徒一人一人が内発的な学習意欲を高め、自ら気づき、自ら考える学習が展開できるように、問題解決学習や探究学習等、学習過程や指導方法等の工夫・改善を図る。
- ④ 児童生徒一人一人の理解の程度や興味・関心に応じた学習が進められるよう、少人数学級編制やティームティーチングの実施、教科担任制の推進などにより、個に応じたよりきめ細かな指導を行い、学習形態や指導体制等の一層の工夫・改善を図る。
- ⑤ 児童生徒の適切な言語活動を促すように、言語環境の整備に努める。

(4)生徒指導・教育相談

◇ 児童生徒が抱える悩みや不安の解決を図り、心豊かな児童生徒の育成を目指す。

- ① 一人一人の発達段階や性格的な特徴等、児童生徒理解を深め、カウンセリングマインドを生かした共感的理解に基づく指導と援助に努めるとともに、児童生徒と教師、児童生徒相互の信頼関係を育む。
- ② いじめや不登校などの兆候については、早期発見・早期対応の取組の充実を図り、児童生徒が安心でき、自己存在感を感じられる授業や集団づくりを行う。

- ③ 基本的な生活習慣を確立させ、児童生徒自らが規範意識に基づいた行動ができるよう指導の工夫を図る。
- ④ 全教職員の共通理解と教職員一人一人役割を明確にし、管理職のリーダーシップの下、生徒指導主任や教育相談主任等を中心に、担任や養護教諭等、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員等と連携を図り、校内指導・支援体制を確立する。
- ⑤ 地域や学校の実態に応じた全体計画・年間計画を作成し、計画に基づく積極的な生徒指導・教育相談を推進する。
- ⑥ 家庭や地域社会、関係機関等と密接に連携し、地域ぐるみの健全育成活動を推進するとともに、相互に連携しながら児童生徒を支援する。
- ⑦ 全教職員で各学校のいじめ防止基本方針の共通理解を図り、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、児童生徒間のトラブルを特定の教職員で抱え込むことなく組織として具体的に対応する。
- ⑧ 不登校児童生徒の学習状況や心身の状況等を継続的に把握するとともに、学校と家庭、関係機関等が相互に協力しながら児童生徒を支援する。

(5)進路指導・キャリア教育

◇ 自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、進路指導・キャリア教育の充実を図る。

- ① 全教職員による協力的な指導体制を整備し、児童生徒の実態に応じた指導計画の作成とその実施に努める。また、進路指導・キャリア教育の意義や推進方法などについて共通理解を深める。
- ② 児童生徒一人一人が進路に対する目的意識を高めるとともに、発達段階に応じて望ましい勤労観や職業観を身に付け、児童生徒理解を基盤とした指導・援助を計画的、組織的、継続的に行う。
- ③ 進路選択の指導に当たっては、単なる職業選択や学校選択に終わることなく、児童生徒自らの意思と責任で進路を選択決定できるよう、啓発的な経験を充実させ、キャリア教育の意義を踏まえた指導・援助に努める。
- ④ 児童生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としてつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図る。
- ⑤ 小・中・高等学校及び特別支援学校との連携を図るとともに、児童生徒が、自分自身の将来への変容や成長を自己評価できるよう、キャリア・パスポートの活用をする。

(6)道徳教育

◇ 人間としてのよりよい生き方を考え、実践できる児童生徒の育成を目指す。

- ① 自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ② 児童生徒の道徳性の実態を的確に把握するとともに、道徳教育推進教師を中心に、全教職員の参加と協力によって全体計画、年間指導計画、学級における指導計画の見直しを図る。
- ③ 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習指導を充実する。
- ④ 児童生徒の成長を認め、励ます評価を行うとともに、自らの指導を評価し改善する。
- ⑤ 道徳科の授業を積極的に公開するほか、保護者参加型の授業や地域教材の開発・活用などに家庭や地域社会の参加や協力を得るなど、相互の連携を密にする。また、「考え、議論する道徳」への質的転換に向け、多様な指導方法を取り入れた授業展開を図る。
- ⑥ 障害の有無などに関わらず、互いのよさを認め合って協働していく態度を育てるとともに、授業においては、役割演技や動作化など指導を工夫する。

(7)体 育

◇ 健やかな体と豊かな心を持った児童生徒を育成する。

- ① 心と体を一体としてとらえ、児童生徒一人一人に運動の楽しさや喜びを味わわせる授業を
実践し、自ら運動する意欲を培い、生涯にわたり積極的に運動に親しむ資質や能力、基礎的
な体力を育成する。
- ② たくましく生きるための健康や体力を育成するため、体育・健康に関する指導を学校の教育
活動全体を通じ計画的・継続的に指導するとともに、運動しやすい環境の整備・充実に努める。
- ③ 体育・健康に関する指導の充実のため、安全教育と安全管理に学校全体で取り組み、児童
生徒の健康・安全に関する態度を育成する。
- ④ 学習指導要領の趣旨を生かし、体育科・保健体育科の体育的活動に関する指導と評価を効
果的に進めるため、研修の充実に努める。

(8)健康教育

◇ 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる児童生徒を育成する。

- ① 生涯にわたって心身の健康を保持増進していくための資質・能力を育成することを目指し、
健康に関心を持てるようにするとともに、健康の大切さを認識し、健康課題をよりよく解決
する学習活動を積極的に行うなど、保健教育の充実に努める。
- ② 自他の生命を尊重し、生涯にわたり自ら安全な生活を営むとともに、他の人々の安全にも
配慮し、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できる資質や能力を育てる。
- ③ 家庭・地域社会との連携を図り、学校保健・学校安全・感染症予防や具体的な対応策・学
校における食育の充実に努める。
- ④ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣や、給食活動を通じた好ましい人間関係を育て、
健やかに生きるための基礎を培う。

(9)人権教育

◇ 人権問題を正しく理解し、豊かな人権感覚を身に付け、様々な人権課題を解決しようとする 児童生徒を育成する。

- ① 教育活動全体を通して人権教育を推進し、児童生徒の発達段階に応じて人権問題の正しい
理解を図り、解決に向けて自ら主体的に行動できる児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒や地域の実態を把握し、目標や視点を明確にした人権教育の全体計画及び年間指
導計画の改善を図り、全教職員の協力体制の下で、計画的・総合的な実践に努める。
- ③ 一人一人の児童生徒が発達の段階に応じ、人権の意義や内容や重要性について理解し、
「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようにするとともに、多様
な他者と協働するため、人権への配慮が様々な場面や状況に応じて、態度や行動に現れるよ
うにするなど、人権感覚の育成に努める。
- ④ 家庭・地域社会と連携し、体験的活動や多くの人々との交流活動を通して自他の人権を尊
重し、他者の痛みを共有できる豊かな人間性を醸成する。

(10)特別支援教育

◇ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を推進する。

- ① 特別支援教育全体計画を活用し、学校全体の教育活動における特別支援教育の位置付けを
明確にするとともに、特別支援教育コーディネーターを中心とした、校内委員会を計画的に
開催し、組織的な校内支援体制の整備に努める。
- ② 児童生徒一人一人の教育的ニーズの把握を十分に行い、必要に応じて関係機関と連携を図
り、個別の支援計画等の作成をして、適切な指導や支援に努める。
- ③ 特別支援学級及び通級による指導では、特別の教育課程を編成し、各教科等における配慮
事項なども含めた個別の指導計画を作成する。
- ④ 就学支援については、早期からの情報提供や相談会の実施、継続的な相談等に努めるとと
もに、就学先決定については、児童生徒一人一人の障害の状態や保護者・本人の意向を十分
聴取し、教育、福祉、医療等との連携に努め、専門家の意見を聞いた上で総合的かつ丁寧
に行う。

- ⑤ 共生社会の形成を目指した教育の推進のため、一人一人の障害の状態に即した年間指導計画の下に、支援籍学習、交流及び共同学習の充実を図るとともに、学校における医療的ケアの実施体制について整備していく。

(11)国際理解教育

◇ 国際社会に主体的に生きる児童生徒の育成と国際理解教育の充実を目指す。

- ① 教育課程や授業内容等を国際理解教育の視点に立って見直し、全体計画・年間指導計画に基づき、日本及び諸外国の文化・伝統等について理解を深め、国際社会の一員としての自覚をもった児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒の発達の段階や実態に即し、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等との連携を図り、効果的な指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒が豊かな国際性を身に付けるため、外国語指導助手（ALT）や地域の人材等を積極的に活用し、言語能力や異文化理解を図るための授業や研修会の充実に努める。

(12)情報教育

◇ 情報化社会に主体的に対応できる情報活用能力を育む教育を推進する。

- ① 全ての教科等でICT機器を適切に活用して情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報をわかりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存共有したりといった情報活用能力の育成を図る。
- ② 情報及び情報手段を主体的に選択し、効果的に活用していくための情報活用能力や態度を培う全体計画・年間指導計画を作成し、授業の工夫・改善に努める。
- ③ 児童生徒が情報を主体的に収集・選択・活用・発信できる創造性と応用力の育成に努めるとともに、情報モラル及びデジタルシティズンシップに基づいた教育の充実を図る。
- ④ 系統的に小・中学校を通じてプログラミング教育を充実させる。
- ⑤ 教育の情報化を推進し、ICT機器等を効果的に活用し、学習指導の充実を図る。また、校務の情報化を推進し、教職員の情報活用能力の向上を図る。

(13)環境教育

◇ 持続可能な社会の実現のため、環境問題に関心を持ち、環境を守ろうとする心と態度の育成に努める。

- ① 身近な環境への理解を深め、環境を守ろうとする心を育成する。また、持続可能な環境型社会の実現を目指して、主体的に行動できる実践的な態度や資質、能力の育成に努める。
- ② 環境教育等促進法を踏まえ、環境教育の重要性や生涯学習との関連について教職員の認識を深めるとともに、指導内容、指導方法についての共通理解を図る。
- ③ 地域や児童生徒の実態に応じた各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等相互の連携を図った全体計画を作成する。また、児童生徒の主体的な学習が行われるよう、指導方法の工夫・改善に努める。
- ④ 家庭・地域社会、NPO等との連携を深め、地域の自然や社会環境を生かした体験活動を通して感受性を豊かにし、環境問題をより身近な課題として捉え、よりよく解決しようとする能力や態度の育成に努める。

(14)ボランティア・福祉教育

◇ 児童生徒や地域の実態等を把握し、豊かな心や福祉の心を培い、発達の段階に応じたボランティア・福祉教育の実践を目指す。

- ① ボランティア・福祉教育の意義について教職員の共通理解を図り、全体計画・年間指導計画に基づき、組織的・計画的な教育活動の推進に努める。
- ② ボランティアに関わる体験的な活動を通して、望ましい勤労観、職業間の育成や社会奉仕の精神の涵養を図ったり、人権尊重の精神を基盤に、社会福祉への関心と理解を深めたりするため、発達の段階や学校・地域の実態に即して、指導方法・指導内容を創意工夫し、ボランティア活動や福祉体験の充実に努める。

- ③ 家庭や地域、社会福祉施設等の理解・協力を得ながら、ボランティア・福祉教育を推進する。

(15)学校図書館教育

◇ 学校図書館を活用した授業の充実に努めるとともに、児童生徒の読書に親しむ態度を育む。

- ① 各教科等においては、学校図書館を利活用した学習を通して、児童生徒の「思考力・判断力・表現力等」や「情報活用能力」等を育むとともに、児童生徒が利用方法の基礎的な知識やマナーを身に付ける。
- ② 司書教諭を中心とした全教職員の共通理解のもと、適切な蔵書管理に努めるとともに、授業での活用促進、子供の居場所づくりなど、学校図書館のよりよい運営に努める。
- ③ 発達段階に応じた読み聞かせや一斉読書等、各学校の工夫した取組を通して、児童生徒の継続的な読書習慣を確立する。

(16)男女平等教育

◇ 男女が共に一人の自立した人間として互いの人格や個性を尊重し合うとともに、一人一人の個性や能力を発揮して自らの意思によって行動しようとする態度を育む。

- ① 人権尊重を基盤とした男女平等の重要性、男女の相互理解と協力、家庭生活や職場における男女共同参画の大切さなど、男女共同参画の視点に立った教育を推進する。
- ② 教育活動全体を性別に基づく固定的な役割分担意識を見直し、男女平等の重要性、性別等にかかわらない個々人の相互理解と協力についての学習の充実を図る。
- ③ 男女平等教育のねらいや取組を明確にし、家庭・地域社会の理解と協力が得られるようにする。

(17)主権者教育

◇ よりよい社会の実現を視野に国家・社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育む。

- ① 児童生徒が現実の社会的事象に興味・関心をもつことや、実感をもって思考を働かせるように促すことを通して、児童生徒が社会の形成に参画する基礎を培う。
- ② 発達段階の応じた正解が一つに定まらない問いに取り組み、葛藤を抱く課題に対して、自ら根拠に基づいた主張を述べることと、自分とは異なる立場の主張の根拠を読み取ることができるよう指導する。

(18)消費者教育

◇ 児童生徒の消費者被害の発生を防ぐために、行政や関係機関と連携を図りながら消費者教育の推進を図る。

- ① 若年者の消費者被害が発生する背景及び被害を回避する方法や適切な対応の仕方を理解させ、将来を担う若年者が持続可能な社会の形成に積極的に参画するよう、自立した消費者の育成を目指し推進を図る。
- ② 主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図り、参加型授業、模擬体験等の手法を用いた消費者教育により、実践的な知識の習得を目指す。

7. 教育費予算

(1) 令和8年度和光市一般会計当初予算

(単位：千円)

議会費	228,490	0.7%
総務費	4,105,317	11.7%
民生費	16,706,001	47.7%
衛生費	2,837,728	8.1%
労働費	43,335	0.1%
農林水産業費	57,592	0.2%
商工費	84,397	0.2%
土木費	3,869,712	11.0%
消防費	1,100,841	3.1%
教育費	3,837,694	11.0%
公債費	2,079,084	5.9%
諸支出金	43,809	0.0%
予備費	40,000	0.1%
歳出合計	35,034,000	100.0%

(2) 教育費内訳

(単位：千円)

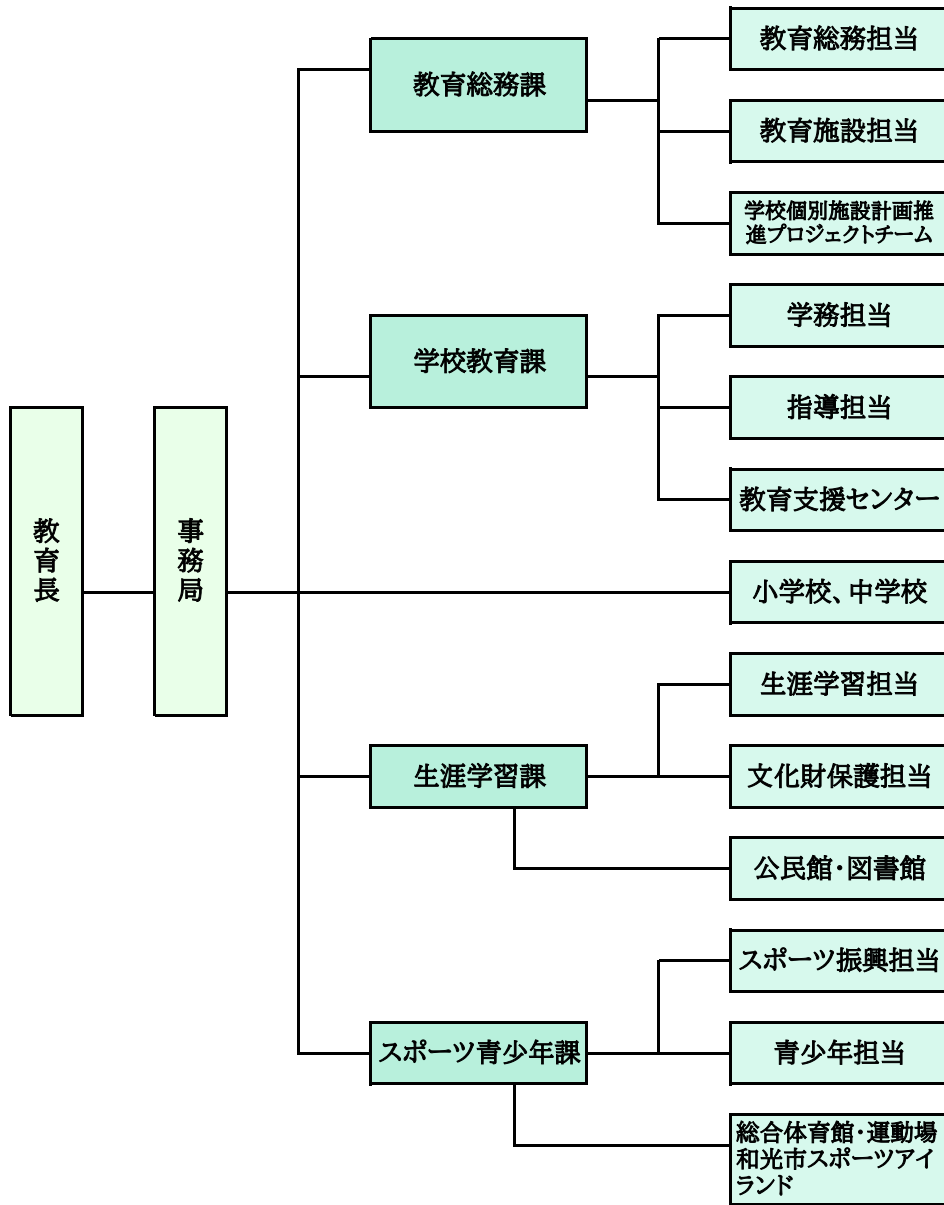
教育総務費	532,429	13.9%
小学校費	823,780	21.5%
中学校費	320,070	8.3%
社会教育費	994,016	25.9%
保健体育費	1,167,399	30.4%
教育費総額	3,837,694	100.0%

(3) 教育費当初予算前年比

単位：千円

10 教育費		令和8年度	令和7年度	比較	対前年比	全体割合
		3,837,694	3,297,827	539,867	16.4%	100.0%
1	教育総務費	532,429	492,174	40,255	8.2%	13.9%
	1 教育委員会費	2,463	6,808	△4,345	-63.8%	0.1%
	2 事務局費	213,733	207,406	6,327	3.1%	5.6%
	3 教育振興費	316,233	277,960	38,273	13.8%	8.2%
2	小学校費	823,780	839,091	△15,311	-1.8%	21.5%
	1 学校管理費	388,496	413,616	△25,120	-6.1%	10.1%
	2 教育振興費	435,284	425,475	9,809	2.3%	11.3%
3	中学校費	320,070	259,397	60,673	23.4%	8.3%
	1 学校管理費	142,696	135,349	7,347	5.4%	3.7%
	2 教育振興費	177,374	124,048	53,326	43.0%	4.6%
4	社会教育費	994,016	845,241	148,775	17.6%	25.9%
	1 社会教育総務費	709,433	573,439	135,994	23.7%	18.5%
	2 公民館費	68,387	66,630	1,757	2.6%	1.8%
	3 図書館費	209,227	198,252	10,975	5.5%	5.5%
	4 文化財調査費	4,181	4,066	115	2.8%	0.1%
	5 青少年育成費	2,788	2,854	△66	-2.3%	0.1%
5	保健体育費	1,167,399	861,924	305,475	35.4%	30.4%
	1 保健体育総務費	69,998	68,873	1,125	1.6%	1.8%
	2 体育施設費	229,768	209,390	20,378	9.7%	6.0%
	3 学校給食費	867,633	583,661	283,972	48.7%	22.6%

8. 教育委員会事務局・教育機関の組織図



9. 教育委員会事務局事務分掌

(令和8年4月1日現在)

【教育総務課】

教育総務担当

- (1) 教育委員会の会議に関すること。
- (2) 規則等の制定又は改廃の手続に関すること。
- (3) 予算の総括に関すること。
- (4) 職員(県費負担教職員並びに小学校及び中学校に置かれる職員を除く。)の人事に関すること。
- (5) 公印の管理に関すること。
- (6) 校用備品の整備及び管理に関すること。
- (7) 交通指導員に関すること。
- (8) 事業の共催又は後援の承認に関すること。

教育施設担当

- (1) 教育財産に関すること。
- (2) 学校の施設及び設備の整備並びに管理に関すること。

学校個別施設計画推進プロジェクトチーム

- (1) 小中学校個別施設計画に定める改修及び建替えに関すること。

【学校教育課】

学務担当

- (1) 児童生徒の入学、転学及び退学に関すること。
- (2) 通学区域に関すること。
- (3) 学級編制に関すること。
- (4) 児童生徒の災害共済に関すること。
- (5) 就学援助に関すること。
- (6) 入学準備金に関すること。
- (7) 県費負担教職員並びに小学校及び中学校に置かれる職員の人事及び給与事務に関すること。

指導担当

- (1) 学校教育の指導助言に関すること。
- (2) 教職員の研修に関すること。
- (3) 学校の保健及び安全に関すること。
- (4) 学校給食に関すること。
- (5) 教科用図書その他教材(教材備品を含む。)に関すること。
- (6) 教育相談に関すること。
- (7) 学校における人権教育に関すること。
- (8) 教育研究団体に関すること。

【生涯学習課】

生涯学習担当

- (1) 生涯学習の推進に関すること。
- (2) 社会教育施設の管理及び運営に関すること。
- (3) 社会教育委員に関すること。
- (4) 社会教育における人権教育に関すること。
- (5) 社会教育関係団体に関すること。
- (6) わこうこクラブの管理及び運営に関すること。

文化財保護担当

- (1) 文化財の調査及び保護に関すること。
- (2) 市指定文化財に関すること。
- (3) 文化財関係団体に関すること。
- (4) 文化財保護委員会に関すること。
- (5) 資料の収集及び整理に関すること。

【公民館】

- (1) 公印の管理及び文書処理に関する事。
- (2) 公民館運営審議会に関する事。
- (3) 施設及び庁用備品の維持管理に関する事。
- (4) 公民館の施設の利用に関する事。
- (5) 各種事業との企画実施に関する事。
- (6) 関係団体との連絡調整に関する事。
- (7) その他公民館の庶務に関する事。

【図書館】

- (1) 図書館運営の調査、研究及び企画に関する事。
- (2) 図書館資料の収集、整理、保存及び除籍に関する事。
- (3) 図書館資料の利用に関する事。
- (4) 視聴覚資料に関する事。
- (5) 図書館統計に関する事。
- (6) 図書館予算の経理に関する事。
- (7) 図書館施設の維持管理に関する事。
- (8) 図書館協議会に関する事。
- (9) 他の機関との連絡、協力に関する事。
- (10) 読書相談に関する事。
- (11) 読書会、研究会等の開催に関する事。
- (12) 地域の読書活動の援助に関する事。
- (13) 庶務に関する事。
- (14) その他図書館奉仕に関する事。

【スポーツ青少年課】

スポーツ振興担当

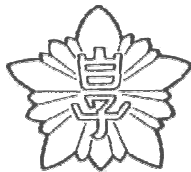
- (1) スポーツ及びレクリエーションの推進に関する事。
- (2) スポーツ及びレクリエーション団体に関する事。
- (3) スポーツ施設の管理及び運営に関する事。
- (4) 学校体育施設の開放に関する事。
- (5) スポーツ推進委員に関する事。

青少年担当

- (1) 青少年健全育成に関する事。
- (2) 青少年問題協議会に関する事。

Ⅱ 学 校 教 育

学 校 紹 介



和光市立白子小学校

校長 岡田 智彦

教頭 鈴木 美恵

電 話 048 (461) 2073

FAX 048 (461) 2240

HP <https://shirako.wako-city.ed.jp/>

E-mail: shirako-kyoutou@wako-city.ed.jp

住 所：和光市白子3-2-10 開校記念日 10月17日

児童数：526名 教職員数：47名 学級数：18 特別支援学級：3



白子小キャラクター
“しらりん”

(1) 学校教育目標

歴史を引き継ぎ 未来を拓く

(2) 目指す児童像

○主体的に学ぶ子 ○対話的・協働的に学ぶ子 ○生きる力にあふれる子

(3) 重点目標

○「やり抜く力を高める教育の推進」

・非認知能力、または社会情動的スキル(以下参照)

- | | | | |
|---------------|-----------|-------------|-----------|
| ・物事をやり抜く力 | ・自制心がある | ・共感力がある | ・自己肯定感がある |
| ・まじめで勤勉 | ・楽天的でめげない | ・意欲・やる気がある | ・協調性がある |
| ・目標を決めて計画を立てる | | ・失敗を糧にできる | ・創造力がある |
| ・問題を解決して前進できる | | ・リーダーシップがある | ・工夫できる |
| ・集中力がある | ・ルールを守れる | ・粘り強く諦めない | ・共感力がある |

白子小では「ものごとに対してあきらめることなく最後までやり抜く力」に焦点

○「白子学」の推進

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・白子小・白子宿の歴史と伝統を学ぶ授業の推進 | ・外部人材を活用した授業 |
| ・主体的・対話的で深い学びを推進する授業 | ・ICTを有効に活用した授業 |

○不登校解消といじめ撲滅

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ・関係機関・地域自治体・保護者との連携強化 | ・子どもたちの居場所づくり |
| ・個別教育のための仕組みづくり | ・子どもたち一人一人に寄り添った教育 |

(4) 本校の特色

白子小学校創立152年を迎えました。白子小学校は、多くの歴史的・文化的リソースを保有します。それらを活かした教育を推進するとともに、21世紀型の「新しい学び」、主体的・対話的で深い学び、ICTを活用したデジタル教育等、子どもたちの「未来を拓く」学びを推進していきます。

(5) 本年度の研究

【研究主題】

「未来を拓く子どもを育てる学びの創造 ～ 非認知能力を高める教育実践の工夫 ～」

和光市立新倉小学校

○ 概要



- ・校長名 佐野 一機 ・教頭名 新村 宏子
- ・電話 (4 6 1) 2 1 0 8 ・FAX (4 6 1) 2 1 4 4
- ・HP <https://niikura.wako-city.ed.jp/>
- ・E-mail niikura@wako-city.ed.jp
- ・住所 〒3 5 1 - 0 1 1 5 和光市新倉 2 - 2 - 3 9
- ・開校記念日 1 1 月 1 1 日 ・児童数 5 3 2 名
- ・教職員 3 1 名 ・学級数 1 8 特別支援学級 2

○ 学校経営計画のテーマ

【新倉 笑・楽・幸】

- ・子どもたちが楽しく安全に過ごせる新倉笑楽幸
- ・子どもたちが学習に意欲を持ち、自立的に学んでいく新倉笑楽幸
- ・子どもたちが共に高めあえる新倉笑楽幸



○ 本年度の指導の重点

- ・非認知的な能力育成についての先進校の視察と、指導者の要請
- ・新倉小学校の子どもたちに必要な非認知的能力の整理と育成計画の作成
- ・非認知的能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントと評価の在り方の研究

○ 本校の特色

開校152年目の歴史と伝統を持つ本校は、コミュニティ・スクールとして和光市教育委員会の指定を受けている。本校は児童の「豊かな心の育成」を中心に捉え、「自然を大切にする教育」「芸術と文化を大切にする教育」に関わる事業を地域とともに推進している。

児童にとって、学ぶ喜びと楽しさがある学校、保護者にとって信頼できる学校、地域にとって誇れる学校、教職員にとってお互いに高め合える学校を目指している。

児童一人ひとりを大切に、心豊かで生きる力を育む教育を推進するため、主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善や、総合的な学習の時間による体験学習、福祉教育、異年齢集団によるグループ活動を積極的に行っている。また、安心で安全な環境づくりのため、保護者と連携した教育環境の整備に努めている。

○ 本年度の研究

- ・研究主題 「非認知能力の育成」

和光市教育委員会委嘱研究

和光市立第三小学校



校長名 藤原 啓 教頭名 宇田川 隆行
電 話 (461)2322 F A X (461)2535
HP: <https://3sho.wako-city.ed.jp/>
E-mail: 3sho@wako-city.ed.jp
住 所 和光市中央 1-1-4 開校記念日 5 月 17 日
児童数 517 名 教職員数 61 名 学級数 20 内特別支援学級数 3

1 学校教育目標

「えがおいっぱい まなびいっぱい
やさしさいっぱい たくましさいっぱい」

2 目指す学校像

「地域とのつながりを大切にする あたたかい学校」

3 指導の重点

- (1) 児童が主体的に学ぶ授業作りを進め、学習内容の確実な定着を図る。
- (2) 児童理解を深め、一人一人のよさや可能性の伸長を図る。
- (3) 道徳教育の充実を図り、豊かな人間性や規範意識をはぐくむ。
- (4) 体力の向上と健康教育の推進を図る。
- (5) 一人一人の教育的ニーズに適切に対応する特別支援教育の充実を図る。
- (6) 学年・学級経営や生徒指導の充実を図り、信頼関係や好ましい人間関係をはぐくむ。
- (7) 教職員の授業力や資質向上のための研修の充実を図る。
- (8) 安全教育と安全管理の徹底を図り、安全・安心な教育環境を整える。
- (9) 情報化・国際化等、社会の変化に対応した教育の充実を図る。
- (10) 家庭や地域の教育力を効果的に生かし、教育活動の質の向上を図る。



第三小キャラクター
「三太郎」

4 本校の特色

本校は本年度開校67年目を迎える。東武東上線と和光市駅から近く、東京メトロ有楽町線、副都心線の利ともあいまって、目ざましく発展変貌を続ける地域が学区となっている。保護者をはじめとする地域の方々の協力や、ボランティア活動に携わる方々の教育力は児童の多様な学習を支える力となっている。また、毎年開催される「三小まつり・花火大会」は、児童のみならず地域の年中行事として、あたたかみのある市民交流の場となっている。令和 6 年度には「生誕祭」として実施し、保護者・地域の皆様と盆踊りをしながら開校65周年を一緒にお祝した。このような地域と人に支えられ、児童たちは明るくのびのびとした学校生活を送っている。その児童のよさを更に伸長させるため、児童が他者と豊かにかかわることのできるコミュニケーション能力をはぐくむことを目指し、あめんぼの会による読み聞かせやおやじの会によるイベント開催等を通して教育活動の充実を図っている。

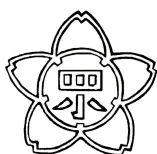
また、学校運営協議会、地域学校協働本部において、家庭・地域と共に歩み、特色ある学校づくりを推進していく。

5 本年度の研究

研究主題(図画工作科)「自分の表したいことを追求し、つくりだす喜びを味わう児童の育成」

和光市立第四小学校

○学校の概要



【校長名】 渡邊 丈裕
 【教頭名】 高橋 郁美
 【住 所】 和光市諏訪3-20
 【電 話】 048(461)4855
 【F A X】 048(461)4895
 【E mail】 4sho@wako-city.ed.jp
 【H P】 http://4sho.wako-city.ed.jp
 【学級数】 19（特別支援学級：3）
 【児童数】 420名
 【職員数】 65名

○学校の特色

青々と生い茂った櫟に囲まれた市内随一の広い校庭。西側の一角に子どもたちの健やかな成長を見守りつづける蒸気機関車。この恵まれた教育環境の中で、明るく健康な子どもたちの育成を目指して、教職員の協働精神のもと教育活動を展開している。理化学研究所が隣接していることから、様々な国から来日する研究者の児童が在籍しているため、日常的に外国の方と接する機会が多い環境にある。

○学校教育目標

○かがやく子	【知：判断力・実践力の育成】
○ゆたかな子	【徳：人間尊重・社会性の育成】
○げんきな子	【体：健全な心身の育成】



イメージキャラクター
「わこポップくん」

○指導の重点

（１）目指す学校像

「生き生き四小！家庭・地域と連携・協働して元気のある学校」

～ **け**：けんこう **や**：やさしさ **き**：きらきら **の**：のびのび **こ**：こつこつ ～
 （健 康） （優しさ） （自己肯定感） （表現力） （努 力）

「生き生き四小！家庭・地域と連携・協働して元気のある学校」とは・・・

- ☐ 元気、笑顔、夢があふれる学校
- ☐ 学習の基礎・基本の定着が図れ、確かな学力が身につく学校
- ☐ 豊かな心と健やかな体を育成し、心身の調和の取れた成長を促す学校
- ☐ 学校の教育活動全体を通した生徒指導と学習、生活規律が確立された学校
- ☐ 学校、家庭、地域が連携・協働し、児童の学びや成長を支える学校
- ☐ 教職員に関する業務量と健康確保に努める学校



（２）目指す児童像 ■「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子ども」

＜健康（たくましく）＞
 ☆進んで運動する元気な子
 ☆最後までがんばる子
 ☆何でもおいしく食べる子

＜共生（なかよく）＞
 ☆友達と進んで関わる子
 ☆思いやりの心が持てる子
 ☆みんなのために働く子

＜自立（ひとりで）＞
 ☆自ら進んで学べる子
 ☆自ら進んで解決できる子
 ☆よく考えて行動できる子

（３）目指す教師像 ■「チーム四小」として

- ①学び続ける教師
- ②学ぶ喜び、わかる喜びを味わわせ、指導できる教師
- ③人間性豊かな教師
- ④範を示す教師
- ⑤保護者や地域とのかかわりを大切に、共に学ぶ教師

○本年度の研究主題

『数量の関係に着目した個別最適・協働的な学びの充実による、主体的な学びの実現』



和光市立第五小学校

校長名 對馬 秀樹 教頭名 渡邊 淳
住 所 和光市南1丁目5番10号
児童数 554名 教職員数 32名
学級数 21 通級指導教室 1 電 話 048(463)3100
開校記念日 9月29日 FAX 048(463)3101
H P : <http://5sho.wako-city.ed.jp/> E-mail : 5sho@wako-city.ed.jp



1 学校教育目標 心豊かな子ども 進んで学ぶ子ども たくましい子ども 地域を愛する子ども

2 目指す学校像 「心がほっとする、みんなにやさしい学校」
～ 元気いっぱい、挑戦いっぱい、やってみたいが広がる学校へ ～

児童像 自立（ひとりで） 共生（なかよく） 健康（たくましく）

(1) 自立（ひとりで）

- ☆自ら進んで学ぶ子 ☆自ら考え判断し、正しい行動ができる子
- ☆自ら考え、課題が解決できる子

(2) 共生（なかよく）

- ☆誰にでも思いやりの心をもって接する子
- ☆みんなで学び合い、みんなのために働く子
- ☆いじめは絶対しない子

(3) 健康（たくましく）

- ☆進んで運動し、体力をつける子
- ☆最後まで粘り強く取り組む子
- ☆早寝・早起き・朝ご飯を守って、健康な子

4 生徒指導の重点《さつきの子運動》

- さわやかなあいさつ(笑顔であいさつができる子)
- つよい心とからだ(心身ともに健康で、体力がある子)
- きれいなこうしゃ(学校をきれいに掃除できる子)
- のばそう学ぶ力(自ら学び、考え、発表できる子)
- こころをこめたことば(思いやる言葉が、かけられる子)

教師像

- ☆研究と修養に励み、児童のよさや可能性を伸ばし、子供たちに夢を語る教師
- ☆温かさと厳しさを持ち合わせ、児童への愛情を表現できる人間性豊かな教師
- ☆互いに切磋琢磨し、自身の働き方を振り返り、組織の一員として協働する教師
- ☆児童や保護者、地域の期待に応える教師

3 学校経営方針

- (1) 確かな学力の育成を図る学習指導の充実
- (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- (3) 教職員の資質能力の向上と教職員組織の活性化
- (4) 教育環境の整備と充実
- (5) 学校・家庭・地域と一体となって子育ての楽しさを分かち合う地域づくり

5 D A I G O (5) プラン (重点・努力点)

- (1) プラン1：学力・体力の向上 → 居心地の良い学級づくりと基礎・基本の定着
- (2) プラン2：読書活動の推進 → 読書好きな子を増やす
- (3) プラン3：教育相談・生徒指導の推進 → モデリング・コーチング・フィードバックでより良い人間関係をつくる
- (4) プラン4：道徳・芸術（音楽・図工）・特別活動の充実 → 思いやり・表現力・自主性の育成
- (5) プラン5：安心・安全、開かれた学校づくりの推進 → 保護者・地域との連携

6 本校の特色

白子川沿いの緑の木々に囲まれた校庭、子供たちの夢を育むために、PTA・学校応援団（さつき応援団）を中心とした、地域・保護者の方々が今まで整備されてきた「ごぼう山」「さつき池」などがあり、児童の情操を培う教育環境となっている。本校の特色である異年齢集団活動や「さつきの子運動」とおし、教育目標の具現化に努めている。高学年が手本となり、笑顔あふれ、歌声響く学校となってきている。子供たちも教職員も元気で、安心・安全な教育活動を進め、共に学び合い、共に高め合う学校を目指している。



7 本年度の研究

研究主題 「自分の思いや考えを豊かに表現できる児童の育成」
～主体的な学びを引き出す指導方法の工夫～

ホームページ・QRコード

笑顔あふれ
歌声響き
学び合う学校

Let's 5!! School!

学校教育目標

心豊かな子ども

進んで学ぶ子ども

たくましい子ども

地域を愛する子ども

和光市立第五小学校

和光市立広沢小学校



HP ▶ <https://hirosawa.wako-city.ed.jp/>
MAIL ▶ hirosawa@wako-city.ed.jp
住所 ▶ 351-0106 和光市広沢1-5
電話 ▶ 048-464-1149 FAX ▶ 048-464-1235
校長 渡邊 肇 教頭 政所 宏真
開校記念日▶5月22日 児童数▶344名 教職員数▶55名
学級数▶17 (普通学級12 特別支援学級5)

1 本校の特色

昭和50年4月1日に開校、本年度52年目を迎えた。和光自衛隊官舎と西大和団地五街区等が学区。官舎から通学する児童が70%以上を占めており、毎年自衛隊の定期異動に伴い春季及び夏季の転入が多い。校庭の端に広がる芝生、中庭等恵まれた環境を生かし、校内にある畑において、花や野菜を栽培する等体験活動を通した環境教育の充実を児童、教職員そして保護者とともに図っている。図書室や絵本ワールドには、児童が自由に本を読むことができるスペースを複数確保し、本校読書活動の一層の充実を図っている。また、タブレット端末等 ICT 機器を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実践している。

2 学校教育目標 「未来を拓く児童が育つ」

輝かしい伝統と校風を受け継ぎ、これまで培われてきた「ひろい心でさわやかに」を校訓とし引き続き継承・発展させていく。そのために、児童の実態を的確に把握するとともに、保護者や地域の願いを踏まえ、これからの先行き不透明な未来を生き抜くために、自分のよさ・能力・可能性を生かして、自分自身や社会の未来を拓く思いやりの心をもった児童の育成を目指す。

3 目指す学校像・児童像・教師像

(1) 目指す学校像

「笑顔があふれ、自分の未来を創造できる学校」

- 日々の楽しい学びの中で、自分の夢や希望を持てる学校
- 仕事にメリハリがあり、児童のために働きがいがある学校
- 安心して通わせたい、見通しと魅力のある学校

(2) 目指す児童像

- 主体的にやりぬく子「挑戦・責任」
- みんなを大切にする子「協働・対話」
- より深く考える子「深化・創造」
- 心と体をきたえる子「勇気・躍動」

(3) 目指す教師像

- ① 教師としての指導力、授業実践力を鍛える。
- ② 手本を示して強く元気な生き方の指針を示す。
- ③ 子供を原点に、子供が安心できる環境づくりをする。



イメージキャラクター
「よつひろ」

4 本校の研究

- (1) 研究領域 全領域
- (2) 研究主題 未来に拓く学び

5 指導の重点

(1) 教育活動

- ① 育成すべき資質能力を意識した新たな教育活動の創造
- ② 一人一人に寄り添った生徒指導・教育相談体制等の充実
- ③ 児童自らが目標に向かって取り組む体力づくり・健康づくり

(2) 学校づくり

- ① 家庭や地域社会とともに進める新しい学校づくりの推進
- ② 新たなことに積極的に挑戦する意欲が持てる研修・研究の実現
- ③ 教育効果を高め、働き方改革を推進する学校の組織等体制整備



和光市立北原小学校

校 長 岩崎 洋 教 頭 中野 貴順

住 所 和光市新倉 1-5-27

電 話 048 (461) 3374 F A X 048 (461) 3393

H P <http://kitahara.wako-city.ed.jp/>

E-mail kitahara@wako-city.ed.jp

開校記念日 11 月 15 日

児童数 458 名 学級数 18(内特別学級数 3) 教職員数 54 名

○学校教育目標

知	…かしこさ	よく考え行動する子	徳	…やさしさ	仲よく助け合う子
体	…たくましさ	健康でたくましい子	絆	…つながり	地域を大切にする子

○学校経営の基本理念 《 きたはらっ子の育成 》

「問いが立ち、学びの翼を鍛え、共に拓く力を育む」

き 気持ちのよいあいさつ・言葉遣いをします

た 互いを思いやり、相手を大切にします

は 励まし高め合う仲間をつくります

ら 「らしさ」を大切に相手へのリスペクトを表します

きたはラッコ



○目指す学校像 ～ 問いを立て、学びの翼で未来を拓く北原小学校 ～

(1) 子供一人一人に問いが立つ授業を行う学校（主体的・対話的で深い学びの実現）

(2) 思考を深める対話が日常にある学校（思考力・判断力・表現力の育成）

(3) 挑戦とやり抜きの経験が保障される学校（体力・学びに向かう力・レジリエンスの育成）

(4) 多様性を尊重し、ウェルビーイングを高める学校

（個別最適な学び・包括的教育・自己肯定感）

(5) 地域と協働し、社会に開かれた学校（社会に開かれた教育課程の推進）

○重点目標

(1) 思考力を鍛える授業改革（探求力×自己決定）

(2) 胆力を育む挑戦の場づくり（挑戦回復力×協働）

(3) ウェルビーイングを支える関係づくり（自己理解×関係性）

(4) 地域と共に未来を拓く教育活動（社会参画×関係性）

○本校の特色

本校は、校歌に「さざんかの北原小学校」と歌われているように、さざんかをはじめ四季折々の花や樹木に囲まれた自然

豊かな学校である。昭和 51 年に開校し、本年度 51 年目を迎える。今年度は、企業と連携し、児童が主体となって商品開発に取り組むなど、体験的な学習を取り入れながら教育課程全体を通して「学びの翼」を鍛え、「共に拓く力」を育成している。

保護者や地域の方々の協力も厚く、コミュニティスクールの委嘱も受け、学校応援団、さざんかの会、青少年を育てる会、地区社協北原ふれあいの会等とともに地域に開かれた学校の実現を目指し、子供たちのために日々特色ある学校づくりを進めている。



50 周年記念行事（ハルソリリス）

○本年度の研究

研究主題 学ぶ楽しさを実感し、学び続ける児童の育成

～ 知的好奇心を喚起し、学びを深める国語科の授業づくりの工夫を通して～



和光市立本町小学校

校長名 木村 美香
教頭名 土橋 賢典
電話 048(466)0855
FAX 048(466)0894

HP: <https://honcho.wako-city.ed.jp>
E-mail: honcho@wako-city.ed.jp
住所 和光市本町 31-17
開校記念日 11月22日
児童数 315名 教職員数 23名
学級数 13 通級指導教室 1

○学校教育目標

・かがやく子 ・ゆたかな子 ・たくましい子

○目指す学校像

「自ら動き、共につくる ～未来を拓く『本町プライド』の育成～」

目指す 学校像	・豊かな体験活動を通して生き生きと学ぶ ・ICTを活用して主体的に学びを深める ・子供に寄り添い一人ひとりの思いを大切にする ・教師が切磋琢磨して協働する ・地域に開かれた地域から愛される学校
目指す 児童像	・自分の好きなこと、得意なことを見つけて生き生きと活動できる子 ・思いやりの心を持ち、互いの良さを認め合える子 ・失敗してもくじけず何度でも挑戦できる子 ・地域の人々、環境、文化を大切にする子
目指す 教師像	・学び続ける教師(向上心) ・学ぶ喜び、わかる喜びを味わわせ、指導できる教師(指導力) ・子供の心に寄り添う教師(人権意識) ・範を示す教師(時を守り・場を清め・礼を正す) ・保護者や地域とのかかわりを大切にし、共に学ぶ教師(協力・連携)

○指導の重点

- (1)「自ら学びを拓く」(学力育成)
 - ・主体的な学びへの転換
 - ・探究的な学びの推進
- (2)「自ら心を繋ぐ」(豊かな心)
 - ・「進んであいさつ」の日常化
 - ・地域社会に学び、未来を描く
- (3)「自ら健やかを創る」(心身の健康)
 - ・「進んで運動・外遊び」の習慣化
 - ・「健康マネジメント能力」の育成とウェルビーイングの向上
- (4)「共に育む」地域協働・学校経営(社会に開かれた教育課程)
 - ・コミュニティ・スクールの深化
 - ・教職員の協働的マネジメント

○本校の特色

昭和58年4月1日、和光市立第三小学校より分離し、市内8番目の小学校として開設された、創立44年目の学校である。校地は、高層住宅群の傍らにあり、静かな教育環境である。保護者の海外勤務の関係により、帰国子女が多いという実態から、文部省(当時)より昭和62年度より4回、帰国子女教育研究協力校の指定を受け、研究を推進してきた。

平成19年度には、校内に和光市教育支援センターが開設され、通級指導教室(発達・情緒)も設置された。各小・中学校との連携を図り、教育相談や特別支援教育の充実に努めている。

これまで、保護者の会である「どんぐりの会」や「おやじおふくろの会」、地域の方々による「学校応援団」との連携を図ってきたが、平成30年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、「本町小学校区地区社会福祉協議会」と連携を深めながら、開かれた学校づくりを推進してきた。

平成30年度には、難聴特別支援学級「つばさ学級」が新設され、聴覚障害の児童のための指導を行っている。

○本年度の研究

研究主題 主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成
～読む力を高める国語科の授業づくりを通して～



和光市立下新倉小学校

校長名 船越 一英

教頭名 菊地 雅和

住 所 和光市下新倉5丁目21番1号

電 話 048 (464) 0500

児童数 473名 教職員数 31名

FAX 048 (464) 1313

学級数 19 内特別支援学級数 3

開校記念日 4月26日

H P : <https://shimoniikura.wako-city.ed.jp>

E-mail : shimoniikura@wako-city.ed.jp

1 学校教育目標 かしく やさしく たくましく

2 目指す学校像 えがおいっぱいのにっこにっこを育む学校

児童像

- ・進んで学び合い、夢に向かって進んでいく子
- ・仲よく助け合い、思いやりをもって接する子
- ・互いに鍛え合い、最後まで粘り強く頑張る子

学校像

- ・(え) えんを大切に、周りを思いやる言動をとります
- ・(か) がんばりを認め合い、高め合える友達をつくります
- ・(お) おおきな夢をもち、学習に進んで取り組みます

教師像

- ・研究と修養に励み、児童のよさや可能性を伸ばす教師
- ・児童に愛情を注ぐ、人間性豊かな教師
- ・互いに切磋琢磨し、組織の一員として協働する教師
- ・児童や保護者、地域の期待に応える教師



3 取組目標達成に向けた重点方針

(1) 多様性を認め、ウェルビーイングを高め合える、豊かな人間性の育成

- ・児童理解を深め、生徒指導、教育相談の充実を図る。
- ・一人一人の教育的ニーズに対応した特別支援教育の充実を図る。

(2) 目標に向かって忍耐強く取り組み、学校や地域が好きと言える児童の育成

- ・食育を推進するとともに、心身ともに健康に過ごすために必要な自己調整力の向上を図る。
- ・家庭や地域の教育力を活用し、教育活動の充実を図る。

(3) 持続可能な社会の創り手として必要なエージェンシーの育成

- ・ともに学び合う授業への転換や教科担任制を生かし、主体的な学習者の育成と学習活動の質的向上を図る。
- ・教育DXを推進し、学習活動の深化を図る。

4 本校の特色

平成28年4月1日、市内9番目の小学校として開校した。市内初の複合型公共施設として、図書館分館や児童館、保育クラブを併設している。

日本の伝統的な切妻風の屋根、埼玉県産の木材をふんだんに使用した3階まで吹き抜けの森のホール、明るく木のぬくもりのあるオープンルーム、市民の利用にも配慮した最新の特別教室、ミニバスコート2面が使用できるアリーナ、天窓から光が差し込む室内プールなどを備え、楽しさや夢のある学校、安全で安心、やさしく快適な学校、地域の生涯学習やまちづくりの拠点にもなる学校をめざしている。

地域は学校教育にたいへん協力的で、PTAや学校運営協議会、地域の関係機関等と緊密な連携を図り、最新の施設を生かした教育活動を進め、子どもたちの夢と希望を育む学校づくりに取り組んでいる。

5 本年度の研究

研究主題 互いを大切にし、自己肯定感を高め合う児童の育成

～一人ひとりが自分の良さを発揮できる授業づくり、学級づくり～



和光市立大和中学校

校長名 近藤 克代
教頭名 尾田 賢一・深井 祐樹
電 話 048 (461) 2143 F A X 048 (461) 2237
HP: <http://yamato.wako-city.ed.jp>
E-mail: yamato@wako-city.ed.jp

住 所 〒351-0112 和光市丸山台2-8-8 開校記念日 5月29日
生徒数 887名 教職員数 68名 通常学級数 24 特別支援学級数 3

1 校訓・学校教育目標

〈校訓〉美しい心 考える力 逞しい体

〈学校教育目標〉自主・自立への路 共に学び躍動し挑戦する力を育む大和中

2 学校教育目標の具現化に向けて

(1) 目指す学校像『生徒が通いたくなる学校 保護者が通わせたい学校 地域が応援したくなる学校』

(2) 目指す生徒像

- ① 自分で考え、自分で選択し、自ら挑戦し一生懸命に取り組む生徒
- ② 互いに尊重し、思いやりと感謝の心を大切にする生徒
- ③ 時を守り、場を清め、礼を正す生徒



(3) 目指す教師像『教育に情熱と学び続ける意志を持ち、生徒と自分自身を大切にする教師』

- ① 教職員としての人間性や専門性の向上に努める教師
- ② 同僚性を持ち、チームで考え、学校運営に積極的に参画する教師
- ③ 教育公務員としての自覚を持ち、誰からも信頼される教師
- ④ お互いの気持ちと、感謝の気持ちを持ち続け心身共に健康に努める教師

3 学校経営の基本方針

- (1) 新しい時代に求められる資質・能力を身に付けさせる学習活動の推進・充実
- (2) 豊かな心の醸成と、人間関係を築く力や社会性を育み、思いやりの心と感謝の気持ちを大切にさせ、相互理解と寛容な心を育ませる活動の充実
- (3) 持続可能な社会の創り手として、主体的に社会参画する態度の育成と、ウェルビーイングの向上を目指した教育活動の推進・実施
- (4) 多様な教育的ニーズに基づく適切な対応・支援の充実と、生徒の可能性を引き出す学習活動の推進・充実
- (5) 社会に開かれた教育課程の周知と、学校・家庭・地域の連携・協働によるコミュニティ・スクールの推進・充実
- (6) 自らの職責と学び続ける教職員として、能力を発揮できる組織づくりの推進・充実

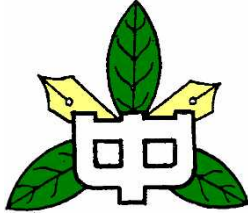
4 本校の特色

本校は80年の歴史を持つ学校である。和光市で活躍されている方の中には本校の卒業生が多く地域とともに歩んできた伝統のある学校である。生徒は明るく、よく挨拶ができる。また、学級活動・学校行事・生徒会活動・美化活動・部活動など積極的に取り組んでいる。教職員のまとまりもよく、学校運営協議会、PTA・おやじの会・学校応援団など、学校・保護者・地域との連携が図られ、大変協力的である。

5 本年度の研究

研究主題 「わかる・できる・つながる」を実現し、人間力を高めることができる生徒の育成
～言語化能力の向上を意識した授業づくりを通して～(1年目)

和光市立第二中学校



校長 島崎 秀 電話 048(462)1793
教頭 中島 正晴 FAX 048(462)1890
HP:2chu.wako-city.ed.jp/E-mail:2chu@wako-city.ed.jp
住所 〒351-0106 和光市広沢1-4 開校記念日 9月28日
生徒数 510名 教職員数 44名 学級数 14 特別支援学級数 2

校訓 「正しく」「強く」「美しく」

学校教育目標

- 物事を正しく判断し、進んで学習する生徒
- 粘り強い気力を持ち、体力の向上に取り組む生徒
- 奉仕の心と感謝の気持ちを持ち、礼儀正しく思いやりのある生徒

目指す学校像 「生徒一人ひとりの夢や希望をはぐくみ、生徒・保護者・地域・教職員の誇りとなる学校」

- 明るく元気なあいさつと歌声が響き、生徒が自主的・実践的に活動する学校
- 保護者や地域社会との連携を深め、地域とともにある信頼される開かれた学校
- 教職員が一枚岩となって生徒第一に教育活動を進める学校
- きれいで教育環境が整い、誰もが安心・安全に生活できる学校
- 生徒及び教職員にとって充実した居心地の良い学校

目指す生徒像 ～当たり前のことが当たり前にできる生徒～

- 進んで学習する生徒
- 体力の向上に取り組む生徒
- 礼儀正しく思いやりのある生徒

目指す教師像 ～当たり前のことが当たり前にできる教師 教師が手本を示す～

- 教育に対する情熱と使命感のある教師
- 専門職としての誇りをもち、授業で勝負する教師
- 生徒理解を基盤とし、生徒に愛情を注ぎ、生徒に関わる教師
- 生徒や保護者、地域の期待に応える教師
- ウェルビーイングを意識した働き方ができる教師



二中イメージキャラクター「もちお」



人権キャラクター「はりお」「おはり」

学校経営の重点

- 確かな学力と自立する力の育成
 - ・学習指導の充実 ・資質・能力(3つの柱)の育成 ・情報活用能力の育成
- 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・生徒指導・教育相談の充実 ・道徳教育・人権教育の充実 ・健康の増進と体育的活動の充実 ・進路指導・キャリア教育の充実
- 質の高い学校教育のための教育基盤の整備・充実
 - ・生徒の安心・安全の確保(環境の整備・美化、安全管理の徹底) ・教職員の資質・能力向上
- 多様なニーズに対応した教育の推進
 - ・特別支援教育の推進 ・関係機関との連携
- 家庭や地域社会との連携・協働による教育の推進
 - ・開かれた学校づくりの推進 ・コミュニティスクールの効果的な活用

学校の特徴

本校は開校60年の歴史をもち、和光市の中心にある学校である。生徒は、意欲をもって活動する子が多く、自主的・主体的に活動ができるよう取り組んでいる。コミュニティスクールの指定や第二中学校区地域学校協働本部と連携して保護者・地域・学校が一丸となって、生徒一人一人の夢や希望をはぐくみ、皆の誇りとなる学校づくりに取り組んでいる。

本年度の研究(令和8年度)

- 『デジタルツールを効果的に活用した課題解決能力の育成』



和光市立第三中学校

校長名 鈴木 冬樹 教頭名 中村 光江
住所 和光市南 2-2-1
電話 048(461) 3306 F A X 048(461) 3222
H P <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
E-mail 3chu@wako-city.ed.jp 開校記念日 5月27日
生徒数 512名 学級数 16 教職員数 35名



(1) 本校の特色

本校は、昭和 51 年に開校し、今年で 51 年目を迎えた。緑が豊かで、小鳥の飛び交う環境のよい学校である。落ち着いた環境の中で過ごす生徒は、明るく元気で、勉学やスポーツ、様々な行事に意欲的に取り組んでいる。コミュニティ・スクールの指定を受け、保護者・地域・教職員が一丸となって、地域に開かれた地域の核となる学校づくりに取り組んでいる。

(2) 目指す学校像

- ◎生徒が意欲を持ち、自主的・主体的に活動をする学校 ◎保護者や地域から信頼される開かれた学校
- ◎教職員がチームになって教育活動を進める学校 ◎落ち着きのあるきれいな学校

(3) 学校教育目標 「気づき・考え・挑戦する」 ～新時代を生きる力を創造する～

(4) 重点目標

①新時代を生き抜くための知識・技能の充実・向上

- ・生徒の実態に基づき、学習意欲と学力を確実に伸ばす取組
- ・自立する力の育成を目指したキャリア教育の推進

②豊かな心の醸成を図り、生徒の自主性と社会性を育み、ウィルビーングの向上を目指した教育活動の推進・充実

- ・全教育活動を通じて、豊かな心の育成を目指した道徳教育の充実
- ・生徒の自主的、自律的な態度の育成を目指した学年・学級経営を推進
- ・教育環境の充実と健康や体力づくりの推進

③多様な教育的ニーズに基づく適切な対応・支援と、生徒一人一人の可能性を引き出す活動の構築と充実

- ・障害等に関わらずあらゆる立場の生徒の必要に応じた教育支援と、インクルーシブ教育の積極的な推進
- ・小学校と連携し、いじめの早期発見・早期対応、不登校の未然防止等の対策に積極的に取り組む 等

④社会に開かれた教育課程の周知と、学校・家庭・地域の連携・協働によるコミュニティ・スクールの充実

- ・学校運営協議会を中心に家庭や地域社会との連携を深める
- ・地域人材活用を積極的に推進し学校・地域・家庭をつなぐ基盤の構築
- ・関係機関と連携した教育活動(防災教育、福祉教育、国際理解教育)の充実 等

⑤教職員の資質・能力の向上を目指した研修等の充実と働き方改革の推進

- ・一人一人が教育の質の向上のため、働き方改革を推進し、心身ともに健康で職務を遂行し、子どもと向き合う教職員集団を形成する
- ・校内研修の計画と積極的な実践により、常に学び続ける教職員を目指し積極的に自己研鑽ができる環境をつくる 等

和光市教育支援センター

【所 在】 和光市本町31-17 和光市立本町小学校内 2階
 【電 話】 スタッフルーム専用 048-466-8349 (ヤサシク) (FAXも同様)
 電話相談専用 048-466-8341 (ヤサシイ)

【スタッフ】 *センター長 隅 田 浩 文
 *センター長補佐 金 澤 勇 一
 *教育相談専門員 (副センター長) 高 木 和 広 <公認心理師> <臨床心理士>
 *教育相談専門員 長 沼 千 夏 <公認心理師> <臨床心理士>
 *教育相談担当専門委員 (適応担当) 瀬 野 真 紀
 *教育相談担当専門委員 (適応担当) 内 田 友 子
 *教育相談担当専門委員 (適応担当) 高 原 悠 以
 *教育相談担当専門委員 (適応担当) 小 玉 卓 巳
 *スクールソーシャルワーカー 内 田 友 子
 *センター担当指導主事 柳 沼 雅 義
 *顧問 呂 曉 彤 <帝京科学大学教育人間科学部教授
 教育学博士 中日教育研究学会会長>
 *非常勤嘱託医 海老島 宏 <埼玉県立精神医療センター 医師>

和光市教育支援センターは、平成19年4月より和光市立本町小学校内に開設されている。教育支援センターでは、専門の心理士がさまざまな相談に応じている。また、併設されている適応指導教室では、学校に通えない児童生徒のため、学習支援や体験活動等を行っている。

さらに、市内小・中学校に和光市さわやか相談員や教育相談員等を派遣し、教職員と連携・分担をしながら、児童生徒及び保護者の相談支援をしている。

【教育支援センターの主な役割】

- * 教育・就学・発達に関する悩みや心配事の相談に応じる。
- * 不登校児童生徒の社会的自立や学校復帰を支援する。
- * 相談員を派遣し、小・中学校の相談活動を支援する。
- * 各学校と連携し、不登校状況の改善に向けた支援をする。
- * 学校教職員の教育相談に係る資質・能力の向上を図る研修を支援する。

【相談対象】 和光市内の児童生徒及び保護者と教員
 【相談日】 毎週月曜日 ~ 金曜日 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)
 【相談時間】 午前9時00分 ~ 午後5時00分 (午後4時開始)
 【申込方法】 電話または直接訪問
 【相談方法】 * 面接相談：臨床心理士の資格を持つ教育相談専門員が対応する。
 * 電話相談：教育支援センターに来所できない方のための電話による相談を行う。

【あすなろ教室 (適応指導教室)】

さまざまな理由により登校できない児童生徒に対して、社会的自立や学校への復帰を目指した適応指導教室を開設している。

適応指導教室では、本人の興味関心を踏まえた学習支援や人や社会、自然等に係る体験活動を行い、自立心を高め、集団生活への適応力を養っている。

【開 室 日】 月曜日 ~ 金曜日
 【時 間】 午前9時30分 ~ 午後3時00分
 【内 容】 個別学習、体験活動、個人面談 等



- ~ 基本的な活動の流れ ~
- ① その日のめあて・スケジュールを立てる
 - ② 個別学習・体験活動等を行う
 - ③ 学習、活動のまとめ

《予約教育相談の実施》

- 毎学期1~2回程度、児童精神科の嘱託専門員による教育相談を実施している。
- 相談は、保護者・児童生徒・教職員等が対象で、事前申し込みにより実施。

【出張適応指導教室 (あすなろ4)】

○ 支援センターの他、中央公民館、坂下公民館、南公民館でも開室している。

※支援センターは、令和9年1月より、和光市水道庁舎2階に移転予定

和光市内県立高等学校・特別支援学校

学校名 和光高等学校

令和8年3月31日、和光国際高等学校との統合により閉校

学校名	和光国際高等学校	住 所	和光市広沢4-1
校 長	佐藤 忠好	生徒数	5月26日
教 頭	高辻 正明・野口 幸男	生徒数	945名
電 話	(467)1311	学級数	24
F A X	(460)1018	職員数	98名

学校名	和光特別支援学校	住 所	和光市広沢4-3
校 長	小池 八重子	開校記念日	9月16日
教 頭	田澤 雄一・戸塚 祐美子	生徒数	159名
電 話	(465)9770	学級数	61
F A X	(460)1017	職員数	154名

学校名	和光南特別支援学校	住 所	和光市広沢4-5
校 長	岡島 卓也	開校記念日	9月16日
教 頭	田村 浩紀・橋本 昌一郎	生徒数	376名
電 話	(465)9780	学級数	87
F A X	(460)1016	職員数	176名

2. 小中学校一覧

(1) 面積

令和8年5月1日現在
(単位㎡)

区分	学校名	所在地	校地面積	校舎	体育館	創立年月日
小学校	白子小学校	和光市白子3-2-10	11,880	5,994	922	明治7年8月15日
	新倉小学校	和光市新倉2-2-39	11,138	6,163	703	明治7年8月15日
	第三小学校	和光市中央1-1-4	14,072	4,418	752	昭和35年4月1日
	第四小学校	和光市諏訪3-20	19,331	3,996	940	昭和40年4月1日
	第五小学校	和光市南1-5-10	13,240	4,517	838	昭和45年4月1日
	広沢小学校	和光市広沢1-5	17,639	5,801	905	昭和50年4月1日
	北原小学校	和光市新倉1-5-27	16,449	4,907	922	昭和51年4月1日
	本町小学校	和光市本町31-17	12,489	5,125	784	昭和58年4月1日
	下新倉小学校	和光市下新倉5-21-1	13,155	6,377	928	平成28年4月1日
中学校	大和中学校	和光市丸山台2-8-8	20,176	8,674	1,224	昭和22年4月1日
	第二中学校	和光市広沢1-4	19,032	6,734	1,242	昭和42年4月1日
	第三中学校	和光市南2-2-1	23,963	5,945	1,171	昭和51年4月1日

(2) 児童生徒数・学級数

令和8年5月1日現在

学校名	児童生徒数 (人)							学級数 (学級)							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	計
白子小	99	98	94	99	79	81	550	3	3	3	3	3	3	3	21
新倉小	77	79	107	72	105	92	532	3	3	4	2	3	3	2	20
第三小	98	80	89	101	79	70	517	3	3	3	3	3	2	3	20
第四小	75	77	55	75	62	76	420	3	3	2	3	2	3	3	19
第五小	88	84	99	86	91	106	554	3	3	3	3	3	4	2	21
広沢小	50	59	56	60	61	58	344	2	2	2	2	2	2	5	17
北原小	66	70	68	91	81	82	458	2	2	2	3	3	3	3	18
本町小	46	45	41	57	57	69	315	2	2	2	2	2	2	1	13
下新倉小	75	74	79	72	90	83	473	3	2	3	2	3	3	3	19
小計	674	666	688	713	705	717	4163	24	23	24	23	24	25	25	168
大和中	311	261	315				887	9	7	8				3	27
第二中	175	185	150				510	5	5	4				2	16
第三中	168	159	185				512	5	4	5				2	16
小計	654	605	650				1909	19	16	17				7	59
合計							6072							32	227

(3) 児童・生徒の体位

区 分		身 長 (cm)			体 重 (kg)		
		市 平 均 (令和7年度)	県 平 均 (令和6年度)	全国平均 (令和6年度)	市 平 均 (令和7年度)	県 平 均 (令和6年度)	全国平均 (令和6年度)
小1	男	116.4	117.2	116.7	21.1	21.6	21.4
	女	116.2	116.2	115.8	20.9	21.1	21.0
小2	男	122.4	122.7	122.6	23.6	24.4	24.1
	女	121.8	121.9	121.8	23.4	23.8	23.7
小3	男	128.3	128.7	128.5	27.0	27.8	27.6
	女	127.5	127.9	127.7	26.7	27.1	26.9
小4	男	134.3	134.4	134.0	30.7	31.7	31.2
	女	134.0	134.3	134.1	30.0	30.6	30.5
小5	男	140.3	139.9	139.7	35.0	35.3	35.2
	女	140.6	141.5	141.1	34.3	35.3	35.0
小6	男	145.8	146.1	146.0	38.5	39.7	39.6
	女	148.2	148.6	147.8	39.6	40.8	40.1
中1	男	153.7	153.7	154.0	44.7	44.7	45.3
	女	153.3	152.4	152.3	44.5	44.5	44.4
中2	男	160.6	161.0	161.1	49.3	49.7	50.5
	女	155.6	155.2	155.0	47.8	47.7	47.5
中3	男	166.3	166.3	166.1	55.8	55.5	55.0
	女	157.1	156.6	156.4	50.1	49.9	49.6

資料 埼玉県総務部統計課『令和6年度学校保健統計調査』

(4) 令和7年度児童生徒の疾病状況

① 結核検診

区分	精密検査者数 (人)	精 密 検 査 結 果 (人)		
		要 医 療	要化学療法	異常なし
小学校	7	0	0	7
中学校	1	0	0	1
合 計	8	0	0	8

② 心臓検診 (小学校1年生、中学校1年生及び経過観察者)

区分	一次検査結果 (人)			
	実施者	異常なし	管中・経嚥部・管梗	二次検査者
小学校	672	641	23	8
中学校	613	579	26	8
合 計	1285	1220	49	16

③ 脊柱側弯症検診 (小学校6年生、中学校2年生及び経過観察者)

区分	一次検査結果 (人)		
	実施者	異常なし	側弯疑
小学校	1434	1289	145
中学校	630	557	73
合 計	2064	1846	218

④ 尿検査 (全校児童・生徒)

区分	一次検査結果 (人)		二次検査結果 (人)		
	実施者	一次陽性者	糖	蛋白	潜血
小学校	4225	33	0	8	5
中学校	1828	49	1	12	6
合 計	6053	82	1	20	11

(5) 令和7年度新体力テスト(県・市平均値)

(男子)

学校種別 学年 項 目		小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握 力 (kg)	市平均	8.12	9.66	11.75	14.51	15.90	18.29	22.79	29.63	34.36
	県平均	8.82	10.47	12.09	13.98	15.97	18.85	23.55	29.57	34.64
	比 較	×	×	×	○	—	×	×	—	—
上体起こし (回)	市平均	12.00	15.92	18.10	19.70	22.55	23.42	23.78	27.94	29.95
	県平均	12.38	15.62	17.82	19.67	21.39	22.94	24.81	28.39	30.54
	比 較	—	—	—	—	○	—	×	—	—
長座体前屈 (cm)	市平均	26.65	29.80	29.80	33.60	36.41	38.09	41.43	49.13	50.55
	県平均	27.18	29.12	31.26	33.22	35.50	37.99	43.55	49.28	53.08
	比 較	—	—	×	—	○	—	×	—	×
反復横とび (点)	市平均	29.24	33.22	35.50	40.28	45.41	47.20	47.31	53.54	54.94
	県平均	28.09	32.25	35.73	39.83	43.40	46.22	48.37	52.47	55.19
	比 較	○	○	—	—	○	○	×	○	—
持 久 走 (秒)	市平均							426.47	395.41	378.67
	県平均							427.21	392.77	377.60
	比 較							—	—	—
20mシャトルラン (回)	市平均	21.99	33.96	41.77	46.62	57.59	60.35			
	県平均	21.04	31.12	39.00	45.99	52.38	58.81	68.40	80.86	86.33
	比 較	—	○	○	—	○	—			
50m走 (秒)	市平均	11.80	10.73	10.14	9.64	9.14	8.88	8.49	7.83	7.50
	県平均	11.60	10.76	10.21	9.78	9.40	8.96	8.59	7.91	7.51
	比 較	×	—	—	○	○	—	—	—	—
立ち幅とび (cm)	市平均	113.75	129.86	138.67	144.45	155.66	165.63	175.49	200.71	210.06
	県平均	115.44	127.13	137.29	146.06	154.62	165.61	182.65	202.31	216.49
	比 較	—	○	—	—	—	—	×	—	×
ボール投げ (m)	市平均	7.95	11.41	14.97	17.86	20.47	24.27	16.85	21.13	23.61
	県平均	8.11	11.03	14.14	17.17	20.03	23.34	17.83	21.49	24.25
	比 較	—	—	○	—	—	○	×	—	—

○: 県平均値を上回っているもの ×: 県平均値を下回っているもの —: 県平均値と有意差がないもの(統計学的検定による)

(女子)

学校種別 学年 項 目		小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
握 力 (kg)	市平均	7.98	9.12	11.36	13.36	15.96	18.63	20.82	24.72	25.48
	県平均	8.35	9.90	11.51	13.38	15.85	18.77	21.42	24.09	25.54
	比 較	×	×	—	—	—	—	×	○	—
上体起こし (回)	市平均	12.13	14.31	17.65	18.66	21.31	21.68	21.49	24.19	24.86
	県平均	11.77	14.92	17.05	18.86	20.59	21.66	22.15	24.67	25.76
	比 較	—	×	—	—	○	—	×	—	×
長座体前屈 (cm)	市平均	29.26	33.16	33.54	38.15	41.20	42.65	44.74	50.74	50.86
	県平均	29.69	32.27	34.80	37.29	40.41	43.40	47.15	51.50	53.63
	比 較	—	○	×	—	—	—	×	—	×
反復横とび (点)	市平均	28.10	30.44	32.80	37.71	42.23	44.58	44.37	47.31	46.96
	県平均	26.67	30.34	33.69	37.69	41.36	43.78	44.67	46.84	47.31
	比 較	○	—	×	—	○	○	—	—	—
持 久 走 (秒)	市平均							310.72	297.22	299.91
	県平均							310.16	295.68	295.91
	比 較							—	—	—
20mシャトルラン (回)	市平均	18.34	24.82	30.17	34.93	42.75	46.49			
	県平均	17.57	24.30	29.78	35.81	42.18	46.65	50.69	56.92	56.11
	比 較	—	—	—	—	—	—			
50m走 (秒)	市平均	11.95	11.19	10.57	10.01	9.54	9.17	8.99	8.68	8.65
	県平均	11.92	11.14	10.58	10.10	9.65	9.26	9.11	8.78	8.70
	比 較	—	—	—	—	○	○	○	○	—
立ち幅とび (cm)	市平均	109.98	119.24	130.15	137.28	148.36	157.28	161.64	172.39	173.58
	県平均	107.86	118.36	128.80	138.31	147.48	156.33	165.39	173.47	175.23
	比 較	○	—	—	—	—	—	×	—	—
ボール投げ (m)	市平均	5.52	6.90	8.89	10.86	13.21	15.13	11.22	13.03	13.79
	県平均	5.70	7.32	9.29	11.18	13.18	15.04	11.68	13.58	14.55
	比 較	—	×	×	—	—	—	—	×	×

○:県平均値を上回っているもの ×:県平均値を下回っているもの —:県平均値と有意差がないもの(統計学的検定による)

(6) 学校給食

年度	学校給食の変遷	給食費(月額)の変遷	
		小学校	中学校
昭和36	白子小、新倉小、第三小、12月から完全給食開始	400円	
37	給食費改定	500円	
38	大和中、9月からミルク給食開始	〃	ミルクのみ 100円
39	大和中、完全給食開始 / 給食費改定	600円	600円
40	第四小、9月から完全給食開始 / 給食費改定(中学校のみ)	〃	750円
41	4月 脱脂粉乳から牛乳に切り替わる / 給食費改定	700円	850円
42	第二中、完全給食開始(大和中で共同調理をし配送) / 給食費改定	850円	1,000円
45	第五小、完全給食開始 第二中自校完全給食開始 / 給食費改定	1,000円	1,200円
47	給食費改定	1,300円	1,500円
49	給食費改定	1,700円	2,000円
50	広沢小、完全給食開始 / 給食費改定	2,100円	2,500円
51	北原小、第三中、完全給食開始 α化米による米飯給食開始	〃	〃
52	給食費改定	2,600円	3,100円
55	第三小、北原小、6月から学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
57	給食費改定	3,000円	3,600円
58	本町小、完全給食開始 広沢小、本町小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
62	第三中、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
平成2	市内全校に地場産野菜導入 ジャがいも、人参、玉ねぎ	〃	〃
4	給食費改定	3,400円	4,000円
5	9月から先割スプーンにかえてフォークスプーンを導入	〃	〃
6	北原小、第三中3学期よりEM菌による残菜処理実施	〃	〃
8	新倉小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
10	12月からはしを全校に導入 / 給食費改定	3,800円	4,400円
11	第五小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
12	第三小給食室ドライシステム施設に改築 広沢小・第二中生ゴミ処理機による残菜処理開始	〃	〃
14	第四小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
15	広沢小給食室ドライシステム施設に改修	〃	〃
16	第五小給食室ドライシステムに改修 白子小、学校給食協会による調理業務開始	〃	〃
18	大和中、学校給食協会による調理業務開始 新倉小給食室改築工事着工	〃	〃
19	第二中、学校給食協会による調理業務開始 9月から強化磁器食器導入(第四小・第三中)	〃	〃
20	新倉小学校、ドライシステム施設にて調理開始 白子小・大和中施設改築工事着工 9月から強化磁器食器導入(第三小)	〃	〃
21	白子小4月、大和中9月からドライシステム施設にて調理開始	〃	〃
23	食物アレルギー対応給食開始 給食開設50周年記念誌の発行 和光市学校給食のあゆみ展の開催	〃	〃
26	給食費改定	4,000円	4,600円
28	下新倉小開校、民間事業者による調理業務開始	〃	〃
29	第二中給食室ドライシステム施設にて調理開始	〃	〃
30	第五小4月、北原小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入	〃	〃
31	牛乳がビンから紙パックに変更、全校で紙パックリサイクル開始 広沢小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入 給食費改定(10月から施行)	4,300円	4,900円
令和2	本町小8月からPEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入	〃	〃
4	学校給食食材費補助及び学校給食費補助事業実施	〃	〃
5	学校給食費食材支援事業補助及び学校給食飲用牛乳代補助実施	〃	〃
6	学校施設包括管理業務開始 / 給食費改定 学校給食費食材支援事業補助及び学校給食米飯補助実施	4,800円	5,900円
7	学校給食費食材支援事業補助及び学校給食費補助事業実施 第四小PEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入 大和中PEN食器(ポリエチレンナフタレート食器)導入	〃	〃

(学校給食実施状況)

	給食実施形態	調理方式	児童生徒給食数 (令和8年5月1日現在)	年間給食 実施回数	給食費	
					月額	1食あたり
小学校	完全給食	単独調理	4,258人	182回	5,650円	336円
中学校	完全給食	単独調理	1,909人	181回	7,000円	416円

2022年サッカーワールドカップ応援給食

2022年サッカーワールドカップ開催をきっかけに、関連する国の料理を給食で提供することによって、世界の国々に興味をもつことができました。

下新倉小



対戦国スペインの料理

- ・チキンパエリア
- ・スープアヒージョ
- ・鰯のエスカベッシュ
- ・牛乳

新倉小



世界の食文化を学ぶ

対戦国の料理を通して世界の食文化について学びました。

III 生涯学習

1. 社会教育施設

(1) 和光市中央公民館 和光市中央1-7-27 TEL (464) 1123 FAX (464) 0560

敷地面積 … 2,207.92㎡ 建物延べ面積 … 2,837.46㎡

総工費 … 1,052,173,000 円 開設年月日 … 平成8年3月15日

施設規模 () 内は定員数

会議室1 (120) 講義室1 (30) 視聴覚室 (75)

会議室2 (18) 講義室2 (30) 音楽室 (30)

会議室3 (18) 美術工作室 (32) 和室 (30)

調理実習室 (24) 体育室 (65) 子供室

団体交流室 図書室 ロビー



和光市中央公民館

(2) 和光市坂下公民館 和光市新倉3-4-18 TEL (464) 5230 FAX (461) 3429

敷地面積 … 518.37㎡ 建物延べ面積 … 813.40㎡

総工費 … 51,000,000 円 (本館)

84,158,000 円 (別館)

開設年月日 … 昭和49年6月20日 (本館)

平成13年4月1日 (別館)

施設規模 () 内は定員数

本館 会議室1 (20) 和室 (30)

調理実習室 (20) 講堂 (80) 図書室

別館 会議室2 (20) 会議室3 (24)

視聴覚室 (48)



和光市坂下公民館

(3) 和光市南公民館 和光市南2-3-1 TEL (463) 7621 FAX (461) 1257

敷地面積 … 4,000.04㎡ 建物延べ面積 … 1,501.16㎡

総工費 … 315,000,000 円 開設年月日 … 昭和58年4月1日

施設規模 () 内は定員数

和室1 (20) 和室2 (30) 調理実習室 (30)

視聴覚室 (36) 美術工作室 (24) 会議室 (42)

体育室兼講堂 (250) 図書室 ロビー

レクリエーション広場



和光市南公民館

(4) 和光市図書館 和光市本町31-1 TEL (463) 8723 FAX (463) 8682

土地共有持分 … 941.51㎡ 建物延べ面積 … 1,694.87㎡

購入価格 … 490,000,000円 開設年月日 … 昭和58年4月1日

施設規模

室内	面積	室内	面積
一般書コーナー	243.00㎡	会議室	91.80㎡
ブラウジングコーナー	127.80㎡	受付カウンター	126.00㎡
参考図書コーナー	115.20㎡	書庫	71.50㎡
児童書コーナー	209.25㎡	事務室	81.00㎡
郷土行政・情報ビジネス	56.7㎡	その他	572.62㎡



和光市図書館

- (5) **和光市図書館下新倉分館** 和光市下新倉5-21-1 TEL (452) 6011 FAX (452) 6012
 (和光市立下新倉小学校・下新倉児童館・下新倉学童クラブと併設)
 図書館下新倉分館専用面積 … 581.35㎡
 開設年月日 平成28年11月3日

名称	面積	名称	面積
一般開架 (雑誌ブラウジングコーナー等含む)	450.15㎡	児童開架 (キッズコーナー含む)	83.8㎡
書庫	17.4㎡	事務室	30㎡



和光市図書館下新倉分館

2. 文化財

旧富岡家住宅 (新倉ふるさと民家園)
 和光市下新倉2-33-1 TEL (467) 7575
 <市指定文化財> 平成15年11月3日 指定
 施設面積 … 2,000㎡ 建物延べ面積 … 151.98㎡
 構造形式 … 茅葺寄棟造



旧富岡家住宅

3. その他の施設

和光市文化財保存庫
 和光市諏訪3-20 TEL (424) 9119 FAX (464) 7901
 敷地面積 … 600.7698㎡ 建物延べ面積 … 295.33㎡
 総工費 … 47,300,000円 開設年月日 … 昭和59年11月

収納物	田舟 千歯こき 唐蓑 古文書 行燈 板碑 等1,500点 他 市内遺跡出土品
-----	--



和光市文化財保存庫

4. 令和7年度生涯学習事業報告

事業対象・事業名	回数	延べ参加人数	開催時期	学 習 内 容
生涯学習メールマガジン「なびいネット」	12	106	4月～3月	市の様々な生涯学習情報をメールで配信し、講座・イベント等への参加を促進した。
わこう市政学習おとどけ講座	33	640	4月～3月	市民の生涯学習意欲にこたえ、市政への理解を深めてもらうために、市職員等が講師として出向き、講座を実施した。
生涯学習だより「なびい」の発行	2	—	4月・10月	地域の特色を生かした独自性のある講座等のさまざまな学習機会を提供するために、広報紙の特集として掲載した。
生涯学習指導者紹介事業	—	—	4月～3月	豊かな経験や知識技能を有する市民を生涯学習指導者として登録し、学習ニーズに応じた情報提供活動を行うことにより、生涯学習の更なる推進を図った。
生涯学習指導者プロデュース講座	1	8	9月29日	生涯学習指導者紹介事業の活性化を図るため、指導者が自ら講座を企画し、開催できるように指導機会を提供した。
生涯学習指導者研修会	1	15	10月28日	生涯学習指導者としての資質向上を目指し、人権尊重の理念に関するDVDを視聴した。また、ワークショップを行い、地域課題の理解と指導者同士のネットワーク構築を図った。
子ども教室	160	2,955	6月、7月、9月～3月	月に2回程度、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動・地域住民との交流活動等の機会を提供する。わこうっこクラブのなかで指定管理者が実施した。
わこうっこクラブ	2,050	59,388	4月～3月	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を提供する。令和3年度より、学童クラブとの一体型運営とするため指定管理者制度を導入し事業者による運営に移行。長期休業中は、9:00～17:00開室。子ども教室もわこうっこクラブ内の事業として指定管理者が実施した。
学校開放講座	1	—	【中止】 3月3日	学校が有する教育機能を地域に開放し、学校と地域の連携を深め、地域から信頼される学校づくりを推進するため市民を対象に天体観望会を計画したが、悪天候のため中止となった。
子ども大学わこう	4	80	8月19日～22日	市内にある国の研究機関や大学・地域の専門家による「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の講義を実施した。
県民の日記念子ども大学わこう	1	20	11月14日	地域の民間事業者の協力を得て、子どもたちの知的好奇心を刺激する学びの場を提供した。キャリア教育の一環となったとともに、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに寄与した。
和光市民大学	11	213	10月～12月	市内にある研究機関などから講師を招き、司法・税・保健・科学・医学などをテーマに講座を開講した。また、家庭教育支援の講座を開催した。
和光市民まつり 舞台発表・美術作品展・将棋大会	—	—	11月1日～9日	文化の振興と日ごろの活動の成果として、市民まつり開催期間にサンアゼリアにて発表を行った。
菊の育て方講習会	5	52	6月～10月	和光市菊花会の協力による大菊苗配布と、菊の生育状況に合わせた育て方講習会を6月から毎月1回実施した。
和光市菊花展	—	—	11月1日～9日	和光市菊花会の会員と菊の育て方講習会受講者が育てあげた菊の展示を行い情操教育の促進に寄与した。
理化学研究所子ども科学教室	1	18	12月23日	理化学研究所が保有する最先端の科学技術や施設に触れる機会を提供し、科学に対する興味や関心を深めた。
人権講演会	1	93	2月16日	人権教育の推進を図るため、また広く人権問題に対する理解と認識を深めるため、講演会を開催した。
成人式～二十歳を祝う会～	1	489	1月11日	新成人で構成する成人式実行委員会の企画・運営による式典を開催した。
地域学校協働活動	31	—	4月～3月	学校運営協議会やコミュニティ・スクール推進協議会と連携し、学校支援を中心とした地域学校協働活動を実施した。また、活動の目標や取組の共有のため各学区毎に地域学校協働本部推進会議を開催した。
旧富岡家住宅の公開・活用	—	9,444	4月～3月	和光市指定文化財「旧富岡家住宅」を公開・活用した。
文化財調査	—	—	4月～3月	市内埋蔵文化財の確認調査・発掘調査の実施。発掘調査報告書を発行した。
デジタルミュージアム	—	17,967	4月～3月	インターネット上で和光市の歴史文化財を公開した。
午王山遺跡跡立整備	—	—	4月～3月	午王山遺跡は令和2年3月に国史跡の指定を受け、令和3年3月26日・令和4年11月10日・令和6年10月11日に追加指定を受けている。『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき各種事業を実施した。
展示会・講座等	—	—	4月～3月	<午王山遺跡> ○県文化財保護協会「午王山遺跡について～史跡の概要と保存・活用を中心に～」令和7年8月1日(金)55人参加 ○おとどけ講座「午王山遺跡について」令和7年11月19日(金)15人参加 <市職員向け講座> ○新規採用職員研修「和光の歴史」 ○親の職場見学「和光市の歴史～むかしのうちってどんなもの～?」(新倉ふるさと民家園について) <教職員向け講座> ○おとどけ講座「博学連携について」令和7年8月6日(水)9人参加 <文化財報告会> 令和8年3月15日(日)36人参加 <その他文化財関係講座> ○「和光市の中世を歩く」全2回 [座学]令和7年11月29日(土)17人参加・[フィールド]12月6日(土)13人参加 ○おとどけ講座「勾玉づくり」令和8年3月27日(金)15人参加
文化財パトロール	—	—	4月～3月	埋蔵文化財包蔵地内で埋蔵文化財発掘届を未届のまま土木工事等を行っていないかを随時パトロールした。また、市指定文化財及び国指定史跡午王山遺跡の状況を確認するパトロールを適宜実施した。

5. 令和8年度生涯学習事業計画

事業対象・事業名	開催時期	学 習 内 容
生涯学習メールマガジン「なびいネット」	4月～3月	市の様々な生涯学習情報をメールで配信し、講座・イベント等への参加を促進する。
わこう市政学習おとどけ講座	4月～3月	市民の生涯学習意欲にこたえ、市政への理解を深めてもらうために、市職員等が講師として出向き、講座を実施する。
生涯学習だより「なびい」の発行	4月・10月	地域の特色を生かした独自性のある講座等のさまざまな学習機会を提供するために、広報紙の特集として掲載する。
生涯学習指導者紹介事業	4月～3月	豊かな経験や知識技能を有する市民を生涯学習指導者として登録し、学習ニーズに応じた情報提供活動を行うことにより、生涯学習の更なる推進を図る。
生涯学習指導者プロデュース講座	5月	生涯学習指導者紹介事業の活性化を図るため、指導者が自ら講座を企画し、開催できるよう指導機会を提供する。
生涯学習指導者研修会	9月	生涯学習指導者としての資質向上を目指し、人権尊重の理念に関する講義を実施する。今年度は、一般参加者を受け入れ、「聴き上手（傾聴力）」をテーマとした講演会を開催する。
子ども教室	6月、7月、9月～3月	月に2回程度、子どもたちに勉強・スポーツ・文化芸術活動・地域住民との交流活動等の機会を提供する。わこうっクラブのなかで指定管理者が実施する。
わこうっクラブ	4月～3月	放課後に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を提供する。学童クラブとの一体型運営とするため指定管理者制度を導入し事業者による運営を進める。子ども教室もわこうっクラブ内の事業として指定管理者が実施する。
学校開放講座	5月～11月	学校が有する教育機能を地域に開放し、学校と地域の連携を深め、地域から信頼される学校づくりを推進するために、小学生から市民一般を対象に、多岐にわたる講座を実施する。
子ども大学わこう	8月18日～21日	大学や県、民間企業の協力を得て、専門家が「はてな学」「ふるさと学」「生き方学」の講義や体験を提供し、子どもの知的好奇心を刺激・充足する。
県民の日記念子ども大学わこう	11月14日	地域の民間事業者の協力を得て、子どもたちの知的好奇心を刺激する学びの場を提供する。キャリア教育の一環として実施するとともに、県民の日に子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを目指す。
和光市民大学	10月～12月	市内にある研究機関などから講師を招き、司法・税・保健・科学・医学などをテーマに講座を開講する。また、家庭教育支援の講座を開講する。
和光市民まつり 舞台発表・美術作品展・将棋大会	10月31日～11月8日	文化の振興と日ごろの活動の成果として、市民まつり開催期間にサンアゼリアにて発表を行う。
菊の育て方講習会	6月～10月	和光市菊花会の協力による大菊苗配布と、菊の生育状況に合わせた育て方講習会を6月から毎月1回実施する。
和光市菊花展	10月31日～11月8日	和光市菊花会の会員と菊の育て方講習会受講者が育てあげた菊の展示を行い、情操教育を促進する。
理化学研究所子ども科学教室	12月	理化学研究所が保有する最先端の科学技術や施設に触れる機会を提供し、科学に対する興味や関心を深める。
人権講演会	2月	人権教育の推進を図るため、広く人権問題に対する理解と認識を深めるため、講演会を開催する。
成人式～二十歳を祝う会～	1月10日	新成人で構成する成人式実行委員会の企画・運営による式典を開催する。
地域学校協働活動	4月～3月	学校運営協議会やコミュニティ・スクール推進協議会と連携し、学校支援を中心とした地域学校協働活動を実施する。
県立高校地域連携学習の受入れ	7月～10月	市が抱える現実的な行政課題をテーマに、高校生が「総合的な探究の時間」を活用して地域の未来をデザインする探究学習を実施する。探究的な思考プロセスや課題解決スキルの習得を支援するとともに、次代の地域共同体を担う人材の育成を目指し、全庁的な連携体制のもと受入れを行う。
旧富岡家住宅の公開・活用	4月～3月	和光市指定文化財「旧富岡家住宅」を公開・活用する。
文化財調査	4月～3月	市内埋蔵文化財の確認調査・発掘調査の実施。発掘調査報告書を発行する。
デジタルミュージアム	4月～3月	インターネット上で和光市の歴史文化財を公開する。
午王山遺跡史跡整備	4月～3月	『史跡午王山遺跡保存活用計画』に基づき、史跡の追加指定や有償譲渡による公有地化により史跡の適切な保護を図るほか、維持管理等を行う。また、午王山遺跡の一部地点に対し保存を目的とした調査等を実施する。
文化財パトロール	4月～3月	随時実施する。

6. 文 化 財 保 護

文化財は我々の祖先が営々として築いてきた文化の遺産であり、一旦破壊されればもはや再現することは不可能なものである。そして、現在の文化は、祖先の築いてきた文化遺産を基礎として成立している。従って、将来の文化の創造のためにこれを保存し、更に引き継いでいくことは、現代に生きる我々の責務であるといえる。

文化財の保護に関する法律は、文化財保護法である。

同法によれば、文化財保護の基本理念として、次のように記されている。

① 政府及び地方公共団体は、文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもつてこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない。（同法第3条）

② 一般国民は、政府及び地方公共団体がこの法律の目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない。（同法第4条第1項）

③ 文化財の所有者その他の関係者は、文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、できるだけこれを公開する等その文化的活用に努めなければならない。（同法第4条第2項）

以下、指定文化財、市史編さん刊行物、文化財関係刊行物、埋蔵文化財について紹介する。

(1) 国指定文化財

令和7年3月現在

名 称	種 別	所 有 者	所 在	指定年月日
午 王 山 遺 跡	史 跡	和 光 市 他	新倉3丁目2831番1外	令和2年3月10日



名 称 午王山遺跡

種 別 記念物（史跡）

所有者 和光市 他

指定年月日

令和2年 3月10日（当初指定）

令和3年 3月26日（追加指定）

令和4年11月10日（追加指定）

令和6年10月11日（追加指定）

午王山遺跡は、旧石器時代から中世までの各時代における遺構・遺物が存在する複合遺跡であるが、主に弥生時代の遺構・遺物が多数出土している。荒川右岸の独立丘に立地し、中央平坦部の居住域と、東側縁辺部に位置する墓域からなる集落遺跡である。関東では例の少ない多重環濠を持ち、また遠隔地との交流が示される土器や銅鐸型土製品、銅釧などが出土したことから、関東有数の弥生時代後期の環濠集落と評価された。

(2) 埼玉県指定文化財

名 称	種 別	所 有 者	所 在	指定年月日
午 王 山 遺 跡 出 土 品	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	平成30年2月27日



名 称 午王山遺跡出土品

種 別 考古資料

所有者 和光市

指定年月日

平成30年2月27日

出土した遺物は、中部高地地域や東海地域からの影響を受けており、和光市にとって貴重な考古資料となっている。住居跡と環濠から出土した弥生時代遺物において、時期区分の要素、地域間交流を示す要素、その他祭祀遺物などで、文様・器形等の特徴を示す遺物、合計121点が、埼玉県指定有形文化財に指定された。

(3) 和光市指定文化財

名 称	種 別	所 有 者	所在（住所又は地番）	指定年月日
弥 生 式 つ ぼ	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	昭和33年11月27日
鰐 口	工 芸 品	東 明 寺	白子3丁目14-13	昭和34年7月13日
具 足（鎧兜）	工 芸 品	柳 下 氏		昭和34年7月13日
富 澤 家 地 方 文 書	古 文 書	富 澤 氏		昭和34年7月13日
地 方 文 書	古 文 書	和 光 市	諏訪3-20	昭和34年7月13日

大 い ち ょ う	天 然 記 念 物	長 照 寺	新倉3丁目3-35	昭和34年7月13日
さ さ ら 獅 子 舞	民 俗 芸 能	ささら獅子舞保存会		昭和39年4月13日
太 鼓	有 形 民 俗 文 化 財	ささら獅子舞保存会		昭和39年4月13日
五 輪 塔	歴 史 資 料	吉 鑑 寺	下新倉4丁目19-45	昭和44年10月4日
吹 上 観 音 百 庚 申	有 形 民 俗 文 化 財	東 明 寺	白子3丁目14-13	昭和44年10月4日
白 子 囃 子	民 俗 芸 能	白 子 囃 子 保 存 会		昭和56年10月1日
旧 富 岡 家 住 宅	建 造 物	和 光 市	下新倉2丁目33-1	平成15年11月3日
午 王 山 遺 跡 第 一 次 調 査 出 土 板 碑 群	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	平成19年7月1日
漆台遺跡第1号住居跡出土須恵器円面硯及び伴出遺物	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	平成23年4月28日
下新倉氷川八幡神社富士塚	民 俗 文 化 財	宗教法人氷川八幡神社	下新倉3丁目4499-1	令和5年9月21日
白子熊野神社富士塚	民 俗 文 化 財	宗教法人熊野神社	白子2丁目1134	令和5年9月21日
浅久保浅間神社富士塚	民 俗 文 化 財	宗教法人氷川八幡神社	中央1丁目4758-13	令和5年9月21日
越 後 山 遺 跡 出 土 ヒ ス イ 大 珠	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	令和6年4月18日
越 後 山 遺 跡 出 土 種 子 庄 痕 土 器	考 古 資 料	和 光 市	諏訪3-20	令和6年4月18日



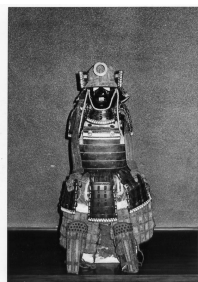
名 称 弥生式つぼ
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
昭和33年11月27日

西暦1922年（大正11年）5月27日、現在の白子小学校より敷地整理のため畑地掘削中、地下1.2mの土中に2個並んでいるのが発見された。



名 称 鰐口
種 別 工芸品
所有者 東明寺
指定年月日
昭和34年7月13日

和光市に現存する金工芸品として最も古いもので、1571年（元亀2年）河村弥二郎より福田山東明寺へ寄進され、観音堂に長く用いられてきたもの。



名 称 具足（鎧兜）
種 別 工芸品
所有者 柳下 氏
指定年月日
昭和34年7月13日

資材は、鉄、黒皮、綿布、小鉄板、鎖、座金等を使い、頬当、のど鎧、そで鎧、大腿鎧、腕当、腰当からなっている。8枚張りの鎧は、梵字が打刻され腕当に、鉄板と細目の鎖が継いだる精彩な工芸品である。室町時代末期の作といわれている。



名 称 富澤家地方文書
種 別 古文書
所有者 富澤 氏
指定年月日
昭和34年7月13日

江戸時代、白子村の名主の家に伝わる古文書。水帳、検地帳など、当時の石高の様子が分かる史料である。「永代地方目録覚」には、江戸時代の白子村が徳川家康に従って伊賀から移り住んだ伊賀衆の領地であったことが記されており、貴重な資料である。



名 称 地方文書
種 別 古文書
所有者 和光市
指定年月日
昭和34年7月13日

寛永・寛文年間の水帳・検地帳。
検地帳は、村の総地籍・総石高が記されている、当時のもっとも基本的な土地台帳の一つだった。
宗門人別帳は、江戸時代のキリスト教禁止と関連して、住民の宗旨を記したものである。



名 称 大いちょう
種 別 天然記念物
所有者 長照寺
指定年月日
昭和34年7月13日

長照寺の境内にある大いちょうで、幹廻り7.53m、樹高29m、樹齢推定700年という県下有数の大木である。秋の黄葉は一段と見ごたえがある。
令和3年3月3日付けで、景観法第28条第1項の規定に基づき景観重要樹木に指定された。



名 称 ささら獅子舞
種 別 民俗芸能
所有者 ささら獅子舞保存会
指定年月日
昭和34年7月13日

江戸中期（享保年間）下新倉地区の農民の間で豊年祝い、厄除け、安全祈願など、当時の素朴な生活から生まれ、強い信仰心によって支えられて今日まで伝承されている郷土芸能である。
(10月の第3日曜に下新倉氷川八幡神社にて奉納されている)



名 称 太鼓
種 別 有形民俗文化財
所有者 ささら獅子舞保存会
指定年月日
昭和39年4月13日

ささら獅子舞のおり、使用する太鼓である。太鼓の皮を張り替えたとき、1735年（享保20年）の年号を確認している。左から大獅子、中獅子、女獅子の太鼓。



名 称 五輪塔
種 別 歴史資料
所有者 壱鑑寺
指定年月日
昭和44年10月4日

江戸時代の下新倉村領主（旗本）酒井壱岐守忠重夫妻の墓で、川越仙波より移された。五輪塔の高さは3.85m、礎石1.70m下段より方形、宝珠形等の五形を積み重ね、地・水・火・風・空の五文字が、宇宙五大部を意味している。



名 称 吹上観音百庚申
種 別 有形民俗文化財
所有者 東明寺
指定年月日
昭和44年10月4日

江戸中期から、明治中期にかけての庚申塔で、地元や近郷信者より寄せられ、135基ある。立派な百庚申も同時に建立、当時の東明禅寺第16代貞州和尚の指導で集められた。当時の庚申信仰の隆盛がしのばれる。



名 称 白子囃子
種 別 民俗芸能
所有者 白子囃子保存会
指定年月日
昭和56年10月1日

天保時代の初期、健全な青年の育成のために、当時江戸一番の笛の名手三喜を師匠に迎え、弘化・安政・文久年間と隆盛し現在へと引き継がれている。
(7月26日の諏訪神社祭り、10月第1日曜日の熊野神社祭りで奉納されている)



名 称 旧富岡家住宅
種 別 建造物
所有者 和光市
指定年月日
平成15年11月3日

旧富岡家住宅は、江戸中期（17世紀後半）に建設されたと考えられ、規模も当時の民家のなかで大きい。東京外環道建設にともない解体され、新倉から下新倉2丁目へ移築復元。埼玉県下で最古の部類に入る民家といわれている。



名 称 午王山遺跡第一次調査出土板碑群
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
平成19年7月1日

昭和54年に行われた午王山遺跡第一次調査の時に出土した板碑群。和光市において板碑が一括して出土した例は初めてであり、人為的な投棄・廃棄ではなく、出土状態から板碑の造立位置が推測できることから、中世の板碑研究における重要な考古資料である。



名 称 漆台遺跡第1号住居跡出土
須恵器円面硯及び伴出遺物
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
平成23年4月28日

遺物は、須恵器円面硯をはじめ須恵器坏蓋・須恵器椀・須恵器壺・須恵器甕計14点（破片を含む）。平安時代の9世紀第2四半期末～9世紀第3四半期と考えられる住居跡から出土。付近の花ノ木遺跡から「花ノ木遺跡住居跡出土遺物」、須恵器を主体とする多量の土器や火熨斗、倉庫の鍵等の道具類が出土しており、それと関連して平安時代新羅郡の官人の居住を示す考古学的成果と捉えられる。



名 称 下新倉氷川八幡神社富士塚
種 別 民俗文化財
所有者 宗教法人氷川八幡神社
指定年月日
令和5年9月21日

石碑の銘文から明治3年（1870）に丸吉講下新倉講社によって築造されたと考えられる富士塚。山頂の神名碑や参道部の築山碑には、かつて築造された富士塚が嘉永元年（1848）に再建され、さらに明治3年に現在の富士塚が位置をずらして築造されたことが記され、さらにこの富士信仰の起源が慶長19年（1614）に遡る可能性があることが記される。



名 称 白子熊野神社富士塚
種 別 民俗文化財
所有者 宗教法人熊野神社
指定年月日
令和5年9月21日

石碑の銘文から明治3年（1870）に丸瀧講白子講社によって築造されたと考えられる富士塚。塚は、一辺約30メートルの正方形で、舌状台地の末端部を成型して構築したと考えられる。高さはおよそ10メートルを測り、県内でも最大級である。また、丸瀧講白子講社以外の講社によって造立された石造物が19基もあることから、他地域との文化交流がうかがえる事例となっている。



名 称 浅久保浅間神社富士塚
種 別 民俗文化財
所有者 宗教法人氷川八幡神社
指定年月日
令和5年9月21日

明治6年（1873）に丸吉講によって築造されたと考えられ、その後移転ないしは移築された富士塚。当初のものが現存していないが、多数の石造物が残り、当時の富士信仰を窺い知れる、非常に貴重な資料といえる。また、下新倉氷川八幡神社富士塚と同様に、この富士信仰の起源が慶長19年（1614）に遡る可能性があり、現富士塚の前史が想定されることから、当市の歴史、民俗の貴重な事例となるものである。



名 称
越後山遺跡出土
ヒスイ大珠
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
令和6年4月18日

越後山遺跡出土ヒスイ大珠は、発掘調査による出土であることから原位置や帰属時期が明らかであることに加え、ヒスイ製の優品であると考えられる。また、副葬品と考えられることから、当該地域の縄文時代中期の実態を解明するための重要な資料であると捉えられる。



名 称
越後山遺跡出土
種子圧痕土器
種 別 考古資料
所有者 和光市
指定年月日
令和6年4月18日

越後山遺跡出土種子圧痕土器は、発掘調査による出土であることから原位置や帰属時期が明らかである。また、当該資料の特徴である種子圧痕については、県内でも類例が少ない事例であるだけでなく、縄文時代のマメ類のドメスティケーション化（栽培種化）を解明するための基礎的データを提供する重要な資料であると捉えられる。

(4) 市史編さん刊行物

名	称	発行年度
和光市史	通史編上巻	昭和 61
	通史編下巻	62
	民俗編	57
	史料編1(自然、原始、古代、中世、近世)	56
	史料編2(近世)	57
	史料編3(近代、現代)	59
	史料編別集(地福寺日並記)	60
市史編さん資料	1(文書目録1)	54
	2(上新倉の民俗)	54
	3(文書目録2)	55
	4(下新倉の民俗)	55
	5(白子の民俗)	56
	6(榎堂遺跡発掘調査報告書)	57
	7(白子川流域調査報告書)	62
図説 和光の歴史		55
和光市史 平成版		令和 4

(5) 文化財関係刊行物

名	称	発行年度
大和町のむかし		
1	城山遺跡	昭和33
2	吹上横穴墳	33
3	吹上貝塚	34
4	ささら獅子舞と囃子	37
5	石仏	43
6	白子宿上遺跡	46
和光市のむかし		
7	和光の仏像	53
8	新倉河岸地域総合調査報告書	54
9	白子ばやし調査報告書	55
10	和光の農作と農具	62
11	古民家復元考察	63
12	和光市建造物 長泉酒造・長屋門・代官屋敷調査報告書	平成15
13	和光市指定文化財 富岡家住宅復元工事報告書	19
にいくらさかした	くらしのあゆみ	昭和57
上之郷・半三池	くらしのあゆみ	63
西本村・東本村	くらしのあゆみ	平成5
新倉午王山遺跡発掘調査概要		昭和54
新倉午王山遺跡第2次発掘調査概要		56
文化財をたずねて		平成2
丸山台遺跡群(パンフレット・絵はがき)		4
花ごよみ(和光の植物ガイド再版)		5
和光市ふるさと・歴史散歩マップ		9
遺跡分布地図		9
和光市ふるさとガイドマップ		19
史跡 午王山遺跡保存活用計画		令和3
和光市文化財調査報告書		
第1集 和光市の富士塚		令和 4
和光市埋蔵文化財調査報告書		
第1集 新倉午王山遺跡		昭和55
第2集 吹上原横穴墓群		60
第3集 市場上遺跡		平成元
第4集 吹上遺跡A地区		2
第5集 丸山台遺跡群Ⅰ		3
第6集 丸山台遺跡群Ⅱ		4
第7集 市場上遺跡(第2次)・市場峡横穴墓		4
第8集 四ツ木遺跡		4
第9集 午王山遺跡		4
第10集 柿ノ木坂遺跡		5
第11集 白子宿上遺跡		5
第12集 峯遺跡・峯前遺跡		5

第13集	午王山遺跡(第3、4次)	5
第14集	城山南遺跡(第1、2次)	6
第15集	越之上遺跡・水久保遺跡	6
第16集	市場峽・市場上遺跡(第3、4次)西越後山遺跡	7
第17集	白子宿上遺跡(第2、3次)	7
第18集	午王山遺跡(第5次)	7
第19集	四ツ木遺跡(第2次)・仏ノ木遺跡	8
第20集	市内遺跡発掘調査報告書1	9
第21集	花ノ木遺跡・城山遺跡発掘調査報告書	10
第22集	市内遺跡発掘調査報告書2	10
第23集	市内遺跡発掘調査報告書3	11
第24集	市内遺跡発掘調査報告書4	12
第25集	城山南遺跡(第3次)白子宿上遺跡(第4次)	13
第26集	四ツ木遺跡(第3次)妙典寺遺跡(第1次)	13
第27集	市内遺跡発掘調査報告書5	13
第28集	市場峽・市場上遺跡(第6、7、8次)	14
第29集	市内遺跡発掘調査報告書6	14
第30集	吹上遺跡(第3次)	15
第31集	峯遺跡(第2次)上之郷遺跡(第1次)峯前遺跡(第2次遺跡) 松山遺跡(第1次)花ノ木遺跡(第5次)午王山遺跡(第7次)	15
第32集	谷中地区遺跡群1 庚塚遺跡・妙蓮寺遺跡	15
第33集	市内遺跡発掘調査報告書7	15
第34集	四ツ木遺跡(第4次)	16
第35集	市内遺跡発掘調査報告書8	16
第36集	市内遺跡発掘調査報告書9	17
第37集	花ノ木遺跡(第7・8次)・越後山遺跡(第3次)	18
第38集	市内遺跡発掘調査報告書10	18
第39集	市内遺跡発掘調査報告書11	19
第40集	市内遺跡発掘調査報告書12	20
第41集	下里遺跡(第1次)・市場峽・市場上遺跡(第9次)	21
第42集	市内遺跡発掘調査報告書13	21
第43集	花ノ木遺跡(第10次)	22
第44集	市内遺跡発掘調査報告書14	22
第45集	谷中地区遺跡群2	23
第46集	市内遺跡発掘調査報告書15	23
第47集	市場峽・市場上遺跡(14、15、16次)	24
第48集	吹上原遺跡(2次 B区・C区)	24
第49集	市場峽・市場上遺跡(17次)	24
第50集	越後山遺跡(2次・6次)	25
第51集	市場峽・市場上遺跡(18、19次)	24
第52集	市内遺跡発掘調査報告書16	24
第53集	市場峽・市場上遺跡(第20、21、22次)	25
第54集	市場峽・市場上遺跡(第23次)	25
第55集	市内遺跡発掘調査報告書17	25
第56集	市場峽・市場上遺跡(第12次)仏ノ木遺跡(第5次)半三池遺跡(第1次)	26
第57集	午王山遺跡(第10次)妙典寺遺跡(第5・6次)峯前遺跡(第6次)	26
第58集	市場峽・市場上遺跡(第24次)	26
第59集	吹上原遺跡(第2次A区～第6次調査)	26
第60集	白子宿上遺跡(第7・8次)城山南遺跡(第4次)越之上遺跡(第2次)	26
第61集	市内遺跡発掘調査報告書18	26
第62集	市内遺跡発掘調査報告書19	27
第63集	市内遺跡発掘調査報告書20	28
第64集	市内遺跡発掘調査報告書21	29
第65集	市内遺跡発掘調査報告書22	30
第66集	午王山遺跡総括報告書	令和元
第67集	市内遺跡発掘調査報告書23	元
第68集	市内遺跡発掘調査報告書24	2
第69集	市内遺跡発掘調査報告書25	3
第70集	市内遺跡発掘調査報告書26	4
第71集	市内遺跡発掘調査報告書27	5
第72集	市内遺跡発掘調査報告書28	6
第73集	市内遺跡発掘調査報告書29	7

7. 公 民 館

(1) 令和7年度 公民館事業報告

◎ 中央・坂下・南公民館共催事業

事業対象・事業名	回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 一般対象事業					
1 地域課題講座					
チャレンジ！スマホ講座	6	各6	39	33	12月17日、1月20日、 2月20日
2 人権講座					
講演コンサート「どんなことがあっても幸せになると決めた～難病・障害があっても～」	1	－	－	50	12月6日
合 計	7	36	39	83	
2 自習室開放	3	－	－	403	春期、夏期、冬期休業期間中

◎ 中央公民館

事業対象・事業名	回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 少年・親子対象事業					
1 好奇心・探求心醸成講座					
親子でクッキング「クリスマスランチを作ろう」	1	20	50 (19組)	20 (8組)	12月20日
親子でクッキング「ひな祭りパーティーへようこそ」	1	20	11 (4組)	11 (4組)	2月21日
未来のエンジニアになろう！Scratchとドローン、スフィロで学ぶ3日間	3	15	15	38	7月31日、8月1日、7日
ビックルボール体験講座	4	18	43	39	7月5日、13日
夏休み子ども電気教室「レモン電池を作ろう」	1	20	13	11	7月25日
2 夏フェス2025IN中央公民館	1	300	－	200	8月8日
3 冬休み書初め教室	2	50	31	22	12月26日
合 計	13	443	163	341	
2 一般対象事業					
1 一般ロビー講座 「水墨画と音の響き～和墨会とオカリナ・ギターギャラリーコンサート～」	1	－	－	50	9月6日
2 相続セミナー「相続は争続」	1	20	11	11	2月28日
合 計	2	20	11	61	
3 高齢者対象事業					
1 誰でもできる脳トレ＆簡単運動	1	20	11	11	11月27日
4 国際理解事業					
1 ドイツ人の目から見た現代日本～ベルリン出身・在住の元ジャーナリストが語る、日・独文化～	1	40	46	44	5月5日
5 公民館文化祭	1	－	－	4,500	10月24日～10月26日
6 スプリング・コンサート	1	－	－	350	3月15日
7 人権週間・障害者週間イベント ～ごちゃまぜまつり～	1	－	－	250	12月6日
総 合 計	20	523	231	5,557	

◎ 坂下公民館

事業対象・事業名		回数	定員	申込人数	参加総数	実施日
1 少年・親子対象事業						
1	子ども卓球教室	12	15	177	165	4月20日～3月15日
2	子育てサロン	11	—	—	56組117	4月15日～3月17日
3	親子で収穫体験	1	20組40	20組64	16組49	6月28日
4	子ども料理教室					
	チョコレートムースとサンドイッチ	1	12	17	12	8月1日
	手作りウィンナーにチャレンジ	1	15	6	5	8月27日
5	将棋教室	2	20	18	17	8月19日、20日
6	和楽器教室	5	10	35	28	7月24日、7月31日、 8月7日、24日、25日
7	書初め教室	2	15	49	37	12月25日
8	地域文化教室	1	10組20	5組15	5組15	3月1日
合 計		36	147	381	445	
2 一般対象事業						
1	将棋の集い	11	15	28	24	4月12日～3月14日
2	料理教室					
	クリスマス料理をつくりましょう	1	6	7	5	12月5日
	ひな祭りデコレーションケーキ作り	1	10	13	10	2月28日
3	生活教養講座					
	ウクレレ体験教室	3	10	42	37	9月8日、22日、 10月6日
4	ものづくり教室					
	羊毛フェルトで作る午年の干支飾り	1	10	8	8	12月11日
	石けんで鏡餅をつくりましょう	1	10	8	8	12月23日
	ポーセラーツでマグカップづくり	1	10	7	6	3月6日
5	健康づくり教室	3	15	8	7	10月29日、 11月5日、12日
6	ケーキ作り教室	2	10	20	20	11月18日、19日
合 計		24	96	141	125	

3 高齢者対象事業						
1 若返り学級						
	フレイル予防	1	30	25	24	6月10日
	軽運動と脳トレ	1	30	16	16	9月9日
	羊毛フェルト刺繍で可愛いフクロウをつくろう	1	30	15	15	10月14日
	免疫力を高めよう！	1	30	19	17	11月11日
	クリスマスコンサート	1	30	19	19	12月9日
	運動とレクリエーションで健康リフレッシュ！	1	30	22	18	1月13日
	笑ってたのしくリトミック	1	30	17	17	2月10日
合 計		7	210	133	126	
4 国際理解事業						
1	外国文化講座 「リズム英語で楽しくスピーキング」	2	16	10	10	12月6日、13日
5 公民館まつり		1	3,000	—	2,900	6月6日～8日
総 合 計		70	3,469	665	3,606	

◎ 南公民館

事業対象・事業名	回 数	定員	申込人数	参加 総数	実施日
1 少年・親子対象事業					
1 和文化教室					
こども硬筆教室	1	20	11	10	4月4日
こども将棋体験教室	3	15	13	36	7月28日、29日、30日
和太鼓体験教室	15	20	18	261	11月1日～3月28日
こども書初め教室	2	50	59	46	12月25日、26日
合 計	21	105	101	353	
2 健康づくり教室					
HIP POP初心者講座	2	10	6	15	2月3日、17日
3 生活教養講座					
「夏休みこども電気工作教室」レモンで電池をつくろう	1	20	24	25	7月25日
夏休み紙のリサイクル体験～オリジナルうちわを作ってみよう!～	1	20	20	15	8月5日
紫外線講座	1	20	23	13	8月6日
白子川わくわく体験ツアー	2	20	46	38	8月16日、9月27日
親子でトライ防災ご飯を作ろう＆ゲーム教室	1	5組	5組 10	2組 5	10月26日
クリスマス＆お正月飾りをつくろう	1	10	8	8	12月20日
合 計	7	5組 90	5組 131	2組 104	
合 計	30	5組 205	5組 238	2組 472	
2 一般対象事業					
1 健康づくり教室					
エンジョイ♪モルック体験会	1	24	21	20	1月31日
健康ディスコ教室	2	-	-	23	2月12日、26日
合 計	3	24	21	43	
2 生活教養講座					
写真体験教室	2	20	14	20	9月23日、10月18日
手工芸講座「来年の干支」『午』の小物入れ作り	1	10	6	6	12月15日
”表現力”に磨きをかけるステップアップ朗読講座	2	20	21	37	2月5日、3月5日
アロマdeセルフリンパケア	1	10	13	12	1月24日
勾玉ハンドメイド～越後山遺跡のロマンに触れて～	1	20	18	15	3月27日
合 計	7	80	72	90	

3 料理教室						
	プロ直伝!だしの取り方&そば試食	1	12	11	10	3月26日
4 交流事業						
	クリスマスコンサート	1	-	-	130	12月17日
	合 計	12	116	104	273	
3 高齢者対象事業						
1 かがやき学級						
	自宅で出来る簡単トレーニング講座	1	10	7	7	2月25日
4 国際理解事業						
1 国際理解講座						
	南アフリカ共和国の家庭料理作り	1	12	12	11	3月23日
5	南公民館まつり	1	-	-	3,000	10月17日～19日
6 公民館認知度向上事業						
1	夕涼みコンサート&公民館de花火	1	-	-	300	8月30日
2	公民館カフェ (クリスマスコンサート+公民館まつりで実施)	1	-	-	-	12月17日、10月19日
3	スーパー公民館ディスコ2026	1	-	-	800	3月1日
	合 計	3	0	0	1,100	
	総 合 計	48	5組 343	5組 361	2組 4,863	

(2) 令和8年度 公民館事業計画

◎ 中央・坂下・南公民館共催事業

事業対象・事業名	回数	定員・見込人数	開催時期	学習内容
1 地域課題講座	1	30	6月～3月	住民が抱える現代的課題解決に向け、自ら行動できることを目的とする。
2 人権講座	1	30	12月	12月の人権週間に併せて、人権問題について学ぶ。
3 自習室開放	3	—	春期 夏期 冬期	春期、夏期、冬期休業期間中に公民館の空き部屋を開放し、小・中学生等の居場所づくりを進める。
合 計	5	60		

※ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 中央公民館

事業対象・事業名	回数	定員	開催時期	学習内容
1 少年・親子対象事業				
1 好奇心・探求心醸成講座				
生成AIツール学習 【民間企業連携】	3	20	7月～8月	生成AIツール等の操作を通じ、安心・安全に使用方法を学習し、活用方法を学ぶ。
親子でクッキング 【学びの地域還元】	2	20	7月～3月	『食』を通じ、家族との絆、他の参加者との交流を深める。
電気教室「ハンディファン・プロペラカーを作ろう」 【民間企業連携】	1	20	7月～8月	想像力を養うこと、科学への興味を持たせる。
2 夏フェスIn中央公民館 【地域連携事業】	1	300	8月	小学生、中学生、高校生、大学生、地域住民、利用団体等の多世代間交流および公民館認知度の向上を目的とする。
3 書道・書初め教室 【学びの地域還元】	2	30	12月	日本古来の筆文化を書道を通じて学ぶ。
合 計	9	390		
2 一般対象事業				
1 利用団体講師講座 【学びの地域還元】	2	20	6月～3月	公民館利用者が講師となり、公民館で学んだ成果を地域住民に還元するとともに、公民館利用団体の活性化につなげる。
2 相続のあれこれ 【NPO法人との連携】	1	20	6月～3月	相続に関わる様々な問題解決に向けた知識を学ぶ。
3 歴史講座 【生涯学習・図書館連携】	1	20	6月～3月	和光市の歴史について知識を深め、郷土への愛着意識の醸成や公的財産を知る機会を得ることを目的とする。
4 一般公開ロビー講座 【地域交流事業】	1	100	6月～3月	公民館登録団体と連携し、ロビーを活用した事業(展示や活動披露等)を開催し、地域住民との交流を深める。
合 計	5	160		

3 高齢者対象事業					
1	きらめき学級 【現代的課題解決】	2	20	9月～3月	現代的課題を学び解決に導くヒントを得ることで、日常生活を安心・安全に過ごせるようにする。(防犯・防災・スマホ・フレイル予防)
4 不登校支援事業					
1	IT World 【社会教育と学校教育の連携】	5	10	4月～3月	学校教育課、教育支援センター、地域学校協働本部、公民館利用団体、企業、地域住民等が連携・協働し、社会の繋がりがりや自己肯定感を醸成することを目的とする。
5 国際理解事業					
1	多文化共生講座 【多文化共生】	1	20	5月～3月	外国の文化や風習、歴史等を学び、多文化共生の見識を深め、外国籍の方との交流も同時に図る。
6	公民館文化祭 【地域交流事業】	1	4500	10月	利用団体・サークルの1年間の活動成果を発表するとともに、地域住民と利用者との交流の場とする。
7	スプリングコンサート 【地域交流事業】	1	350	3月	学校と公民館利用団体、地域住民が連携し、音楽を通じた地域の交流を図る。
8	ごちゃまぜまつり 【障害者との共生事業】	1	250	12月	日頃の活動の成果の発表の場と障害について共に考える時間を共有する。
9	【新】Let`sサンパヘギ 【地域活動団体との連携】	4	20	5月～10月	ブラジル生まれのサンパとレゲエをミックスした太鼓中心の音楽をきっかけとして、地域で活躍の場を広げること、誰もが気軽に音楽を通してつながることを目的とする。
10	【新】MY定期講座 【民間企業・健康増進センター連携】	3	20	10月～3月	講座を受講するだけでなく、講座から自身の健康や生活につながる学びへと誘導し、地域住民が安心して生活できることを目的とする。
11	【新】ロビーイベント	5	10	通年	健康チェックやスマホ相談などの定期的なミニイベント(毎月第〇、〇曜日等)を開催し、『公民館に行けば何かある』をコンセプトにした交流事業。
総 合 計		37	5,750		

◎ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 坂下公民館

事業対象・事業名		回数	定員・ 見込人数	開催時期	学 習 内 容
1 少年・親子対象事業					
1	子ども卓球教室	12	15	通年	卓球の技術及び体力の向上を図るとともに、他校・他学年との交流を深める。
2	子育てサロン	11	—	通年 (8月を除く)	地域の子育て支援団体と連携し、子育て家庭に居場所を提供するとともに、子育てにまつわる悩み相談や情報交換を通じた交流を図り、孤立を防止する。
3	親子で収穫体験	1	40	6月～7月	地域農家による指導のもと農業を体験し、土に触れる楽しさや食について学ぶとともに、都市農業について理解を得る。
4	子ども料理教室	2	6	7月～8月	料理の楽しさを知り、食育について学ぶ。また、保護者と離れて受講することで自主性・自立性を学ぶ。
5	将棋教室	2	15	7月～8月	初心者的小中学生を対象に将棋の基本を学び、技術の向上を図る。
6	音楽（和楽器）教室	5	10	7月～8月	日本の伝統芸能である「箏」を学び、日本古来の文化を継承する。
7	書初め教室	2	20	12月	学校の冬休み課題の支援を通じ、日本の伝統行事を継承する。
8	地域文化教室	1	20	1月～3月	地域の伝統継承を通じ、地域の人々や世代間の交流を図る。
9	【新】子育てサポーター養成講座	2	10	6月～10月	「子育てサロン」の担い手育成を目標に、子育てサポーターに必要な知識・技術を学ぶ。
合 計		38	136		
2 一般対象事業					
1	将棋の集い	11	10	通年 (8月を除く)	将棋の基礎を学び、対局を通じて世代間の交流を図る。
2	料理教室	3	9	6月～3月	地産の食材を生かした料理を学び、技術の向上を目指すとともに都市農業について理解を得る。
3	生活教養講座	3	10	6月～3月	日常生活の様々な問題事例や新たな知識、体験を習得することで充実した生活を送ることを目的とする。
4	ものづくり講座	3	10	6月～3月	物作りの楽しさを学び、暮らしを豊かにする。
5	健康づくり教室	3	10	6月～3月	健康的な日常生活を送るための基礎体力向上を目指す。
6	ケーキ作り教室	2	10	10月～3月	地域で活躍する専門家を講師として招き本格的なケーキ作りを学ぶことで、技術の向上を目指す。
7	【新】そば打ち教室	2	8	6月～10月	そば打ち体験を通じて伝統技術を継承するとともに、地域とのつながりをつくるきっかけとする。
合 計		27	67		

3 高齢者対象事業					
1	若返り学級	8	30	6月～2月 (8月を除く)	高齢者が安全で健康的な生きがいある生活をおくれるよう、運動や文化活動、地域課題解決につながる講座を開催する。また、講座を通じて参加者相互の交流を図り、地域のつながりを強化する。
2	【新】健康麻雀講座	2	12	6月～3月	脳の活性化に好影響があるとされる麻雀の基礎を学び、麻雀を通じた交流の輪を作る。
合 計		10	42		
4 国際理解事業					
1	外国文化講座	2	10	10月～12月	外国の語学や文化を学ぶことで、新たな学びのきっかけとするほか、地域に住む外国人等への理解を深める。
5	公民館まつり	1	3,000 (見込)	5月中旬	公民館で活動する団体の日ごろの成果発表の場とし、活動意欲の向上を図る。また、多くの市民に来ていただくことで公民館の認知を広げる。
総 合 計		78	3,255		

※ 講座名、回数、定員については予定です。

◎ 南公民館

事業対象・事業名		回数	定員・見込人数	開催時期	学習内容
1 少年・親子対象事業					
1	硬筆教室	1	20	4月	鉛筆を正しく持ち、正しい姿勢で美しい文字を書くことを学ぶ。(対象:新1年生・新2年生)
2	将棋体験教室	3	15	7月～8月	初心者対象。礼儀作法、駒の動かし方を学び、対局を通じ、「思考力」、「判断力」を養う。
3	電気工作教室	2	20	7月～8月	ものづくりを通じて「想像力」を養い、ひとつのものが出来上がる過程を学ぶ。
4	白子川探索ツアー	1	20	7月～8月	白子川に住む生き物や植物等について川の中に入り実際に触れ、生態系について学びを深める。
5	環境を考える教室	1	20	7月～8月	夏休みに近隣の大学に協力を仰ぎ、ワークショップを通して環境の大切さについて学ぶ。
6	スポーツ入門教室	2	20	9月～11月	新しいスポーツに触れ、幅広い興味・関心を持ってもらうきっかけをつくることを目的とする。
7	野外調理・工作教室	1	20	10月	不便・不自由の中から体験を通して創意工夫や乗り越える力を親子で学ぶ。
8	書初め教室	1	80	12月	日本の伝統行事を学び、日本文化に触れる機会を設ける。
9	お正月飾りづくり教室	1	10	12月	正月の伝統的な習わしに関する座学及び正月飾りづくりを行う。
合 計		13	225	—	
2 一般対象事業					
1	だしの取り方	2	20	7月～3月	日本食の基本である「だし」を通じて、日本の食文化を学ぶ。 (池田屋:和光ブランド認定企業)
2	アロマ入門教室	3	10	10月～12月	自然の恵みや大切さについての興味・関心を持ってもらうことを目的として、アロマや自然素材について学ぶ。
3	和太鼓体験教室	12	20	10月～3月	伝統芸能である『和光太鼓』を体験することで、地域文化醸成を図ることを目的とする。
4	手工芸教室	1	10	12月	来年の干支である『未』を製作する。
5	ストレッチ教室	4	20	12月	簡単なストレッチを学び、日々の生活を健康に過ごすことを目的とする。
6	健康ディスコ教室	4	40	1月～3月	体力向上と健康な体づくりを目的として、音に合わせて体を動かしてダンスする。
7	歴史講座	1	15	3月	和光市の歴史について知識を深め、郷土への愛着意識の醸成と地域の財産を知る機会を得る。
合 計		27	135	—	
3 高齢者対象事業					
1	かがやき学級	5	15	6月～3月	多様な主体との連携(市内企業・生涯学習指導者・NPO法人、警察署等)し、地域に存在する様々な課題や時事問題等を学び、学んだことを地域に還元できる内容とする。
4 国際理解事業					
1	国際理解講座	1	15	12月～3月	海外の様々な文化・風習への理解を深め、多様な文化について見識を高める。
5 公民館認知度向上事業					
1	公民館de花火	1	300	7月～8月	気軽に楽しむことが難しくなった花火を家族で満喫してもらい、地域住民同士の交流を深める。
2	公民館まつり	1	3,000	10月	利用団体・サークルの1年間の活動成果を発表するとともに、地域住民との交流を深める。
3	公民館カフェ	3	—	10月～3月	地域住民が気軽に交流し、人と人とのつながりを深める。 (南公民館利用団体協議会、生涯学習指導者等と協働)
4	クリスマスコンサート	1	100	12月	南公民館利用登録団体や地域の保育園等が歌や演奏を通じ、地域住民と交流を図り、人と人とのつながりを深める。
5	スーパー公民館ディスコ	1	800	3月	公民館をダンスホールに見立て、外国籍の方、障がいを持った方、高齢者、子ども達がダンスや歌を通じ交流を深める。
合 計		7	4,200	—	
総 合 計		53	4,590	—	

※講座名、回数、定員については予定

(3) 令和7年度 公民館利用状況

公 民 館	公 共 ・ 公 共 的 団 体	社会教育団体	公民館事業	一 般	合 計
	上段(件数)・下段(人数)				
中 央	1,501	4,583	190	1420	7,694
	22,630	50,620	6,840	22,671	102,761
坂 下	725	1,637	116	87	2,565
	9,930	16,763	4,303	733	31,729
南	461	2,537	72	87	3,157
	7,678	28,257	623	658	37,216
合 計	2,687	8,757	378	1,594	13,416
	40,238	95,640	11,766	24,062	171,706

公 共 ・ 公 共 的 団 体 ……市役所関係・教育委員会関係・社会福祉協議会・自治会・社会教育活動推進団体等

社 会 教 育 団 体 ……社会教育活動を計画的に行っている自主団体

公 民 館 事 業 ……公民館主催の講座・会議等

一 般 ……一般登録団体

(4) 社会教育団体の主な活動拠点

団体数	
中央公民館	112
坂下公民館	42
南公民館	82
合 計	236

8. 図 書 館

(1) 図書館活動の概要

○ 和光市図書館

所在 本町31-1 TEL 048-463-8723 FAX 048-463-8682
昭和58年8月2日開館
地域の課題解決を支援する情報拠点、市民の生涯学習拠点として図書館機能の充実を図る。
使いやすい図書館を目指し、レファレンスサービス(資料相談業務)の向上を図る。

利用時間

○平日 午前9時30分～午後8時まで
○土曜日・日曜日・祝日 午前9時30分～午後6時まで

休 館 日

○毎月の第2・第4木曜日 (1月の第2木曜日及び12月の第4木曜日を除く)
※祝日の場合は開館し、その翌日を休館日とする。
○1月1日～4日及び12月28日～31日
○特別図書整理期間

○ 和光市図書館下新倉分館

所在 下新倉5-21-1 TEL 048-452-6011 FAX 048-452-6012
平成28年11月3日開館

利用時間

○午前9時30分～午後6時まで

休 館 日

○毎週月曜日・第4木曜日 (12月の第4木曜日を除く)
※祝日の場合は開館し、その翌日を休館日とする。
○1月1日～4日及び12月28日～31日
○特別図書整理期間

○ 移動図書館「やまびこ号」

平成15年3月31日 廃止

○ 図書館資料の館外配置

平日 9:00～17:00
土曜日 13:00～17:00
(ただし予約資料の受け取りは毎日9:00～21:00)

中央公民館図書室

所在 中央1-7-27
TEL 048-464-1123
開設 昭和46年6月2日(平成8年3月15日新築)
所蔵数 7,153冊(令和8年3月31日現在)

坂下公民館図書室

所在 新倉3-4-18
TEL 048-464-5230
開設 昭和49年9月17日
平成9年1月図書室改修
所蔵数 7,794冊(令和8年3月31日現在)

南公民館図書室

所在 南2-3-1
TEL 048-463-7621
開設 昭和58年5月1日
所蔵数 6,255冊(令和8年3月31日現在)

(2) 令和7年度利用状況

1 登録者延べ数(登録年月日は平成4年6月1日より令和8年3月31日)

年齢別	和光市	朝霞市	志木市	新座市	その他の埼玉県	板橋区	練馬区	東京都	その他	戸田市	合 計
6歳以下	1,041	15	1	1	0	4	3	0	0	0	1,065
7-9歳	1,410	34	5	3	1	6	7	0	0	0	1,466
10-12歳	1,809	54	1	5	0	10	11	0	0	0	1,890
13-15歳	1,708	49	3	6	0	18	19	0	0	0	1,803
16-18歳	1,804	77	3	13	8	6	31	3	1	2	1,948
19-22歳	2,508	131	14	31	24	26	57	3	3	1	2,798
23-29歳	5,513	498	48	85	68	66	154	22	7	9	6,470
30-39歳	11,960	1,101	109	218	265	149	278	42	34	15	14,171
40-49歳	14,477	1,417	177	349	380	214	420	118	77	18	17,647
50-59歳	12,654	1,558	183	395	280	244	460	166	94	17	16,051
60-69歳	6,292	1,080	120	296	172	177	305	117	46	4	8,609
70歳以上	8,064	1,076	193	314	227	159	266	95	51	7	10,452
登録なし	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16
合 計	69,254	7,092	857	1,716	1,425	1,079	2,011	566	313	73	84,386

和光市の過去の登録者延べ数の推移

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
62,489	64,190	66,052	67,647	69,254

2 資料貸出冊(点)数(団体含む)

	本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合 計
一 般 書	137,455	25,301	1,273	2,787	2,256	169,072
児 童 書	123,839	37,604	441	2,127	1,629	165,640
紙 芝 居	754	484	5	4	10	1,257
郷土資料	194	264	2	11	3	474
雑 誌	12,434	2,679	80	359	542	16,094
視聴覚資料	C D	6,180	117	193	24	6,536
	カセット	0	0	0	0	0
	V T R	1	0	0	0	1
	D V D	3,239	16	5	18	3,286
デイズ	2	0	0	0	0	2
洋 書	1,469	456	0	9	4	1,938
付属品他	138	26	0	6	0	170
相互貸借 ^{注1}	2,031	104	61	53	47	2,296
合 計	287,736	67,051	2,060	5,398	4,521	366,766

注1…館内利用を除く

3 相互貸借数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸出数	2,245冊	2,196冊	2,184冊	2,207冊	2,051冊
借受数	4,135冊	4,116冊	3,820冊	3,586冊	3,231冊

4 団体貸出

258団体 31,122冊

5 開館日数

本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館
331	293	101	102	102

6 入館者数(公民館図書室は含まない)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本 館	176,106人	181,554人	198,893人	198,358人	201,405人
分 館	38,653人	38,690人	40,493人	44,968人	46,761人
合 計	214,759人	220,244人	239,386人	243,326人	248,166人

7 リクエスト件数(購入希望、来館による予約、インターネット・メールによる予約の合計)

	本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合計
本・雑誌	70,694	1,477	0	25	36	72,232
視聴覚資料	49	9	0	0	0	58
合計	70,743	1,486	0	25	36	72,290

8 リクエスト件数の推移(公民館図書室は含まない)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本館	本・雑誌	64,394	60,160	67,790	68,451	70,694
	視聴覚資料	105	60	42	54	49
分館	本・雑誌	354	367	1,542	1,512	1,477
	視聴覚資料	1	4	2	3	9
合計		64,854	60,591	69,376	70,020	72,229

9 レファレンス件数

本館	分館	中央公民館	坂下公民館	南公民館	合計
5,987	2,429	88	99	115	8,718

10 レファレンス件数の推移(公民館図書室は含まない)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本館	8,107	5,570	6,282	6,367	5,987
分館	1,813	2,005	2,074	2,105	2,429
合計	9,920	7,575	8,356	8,472	8,416

11 インターネットからの利用状況

	予約冊数		未所蔵資料のリクエスト		レファレンス	
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
4月	4,871	5,207	283	229	0	0
5月	4,997	5,142	281	221	0	0
6月	5,358	4,831	290	208	1	0
7月	4,655	5,196	248	211	0	3
8月	4,833	5,162	264	249	0	0
9月	5,034	5,210	235	243	0	0
10月	4,772	5,306	274	207	1	0
11月	5,126	4,983	319	293	0	0
12月	4,741	5,138	220	225	1	1
1月	3,860	5,771	222	191	0	1
2月	5,136	4,974	293	228	0	0
3月	5,306	5,470	288	208	2	0
計	58,689	62,390	3,217	2,713	5	5

12 コピー枚数

本館	3,806 枚
分館	216 枚

13 所蔵資料数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	本館	分館	本館	分館	本館	分館	本館	分館	本館	分館	本館	分館
一般書	97,977	29,145	99,444	31,955	99,839	34,488	99,011	36,644	99,754	37,864	100,697	40,529
児童書※紙芝居含む	70,361	15,213	71,015	16,406	70,801	17,868	69,348	18,825	68,290	20,018	68,442	21,441
雑誌	3,036	1,753	3,018	1,756	2,901	1,767	2,821	1,790	2,770	1,643	2,613	1,588
郷土行政資料	4,932	781	5,028	869	4,955	957	4,827	1,059	4,912	1,095	5,096	1,373
視聴覚資料	9,199	0	9,300	6	9,230	6	9,151	6	9,017	6	8,850	6
洋書	1,214	376	1,269	398	1,316	420	1,393	489	1,447	563	1,498	623
付属品他	393	120	400	127	379	134	377	137	380	138	373	139
録音図書	156	25	171	41	183	56	197	73	208	89	220	105
館合計	187,268	47,413	189,645	51,558	189,604	55,696	187,125	59,023	186,778	61,416	187,789	65,804
合計	234,681		241,203		245,300		246,148		248,194		253,593	

(3) 各種指標から見た令和7年度実績(人口は令和8年4月1日現在)

85,450 人

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1 人口一人あたりの市内個人貸出資料数(冊)	4.57	4.29	4.16	3.93
2 登録率(市内)(%)	82.07	82.10	82.08	82.07
3 登録者一人あたりの貸出資料数(冊) ※市外登録者含む	5.28	5.07	4.67	4.35
4 人口一人あたりの資料数(冊)	2.93	2.92	2.93	2.97
5 資料の回転率(貸出数÷蔵書数)(回)	1.68	1.66	1.55	1.45

(4) 集会行事

1 令和7年度図書館集会事業報告(本館)

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
1 絵本とおはなしの会	2・3歳から 4・5歳から	大人211名 子ども237名	第1～第3土曜日 (8月を除く)	和光絵本とお話の会による絵本の読み聞かせ、パネルシアター等。キッズルームにて1日2回開催した。 (11時～2・3歳くらいから。14時～4・5歳くらいから)
2 七夕おはなし会	幼児から	40名	7月5日(土)	七夕にちなんだお話や笹飾りを楽しんだ。
3 世界おはなしめぐり	子どもから 大人	7名 4名	5月17日(土) 10月4日(土)	世界の昔話や民話を素話で紹介。
4 クリスマスおはなし会	幼児から	36名	12月20日(土)	クリスマス気分を盛り上げるお話や歌遊び等。
5 子どもの科学 第1回「高分子化合物ってなんだ？～ふくらむスライムとスーパーボールをつくろう～」	小学生	20名	6月14日(土)	市内在住の小学生を対象にした科学あそびの講座。おもしろい実験や工作を通じて、子どもたちが科学に興味を持つことを目的とする。また、本や図書館に親しみを持つよう、講座の最後には優れた科学読み物を紹介し、貸し出した。
第3回「おなかのひみつ～ウンチくらべとおなかエプロンをつくろう～」	小学生	19名	2月14日(土)	講師：坂口美佳子(科学読物研究会)
6 夏休み子どものつどい	子どもから 大人	大人42名 子ども46名	8月2日(土)	長年、当館に協力していただいているボランティア団体である和光絵本とお話の会、影絵サークルペンギん、ひまわり倶楽部による大型絵本の読み聞かせやすばなし、ペープサートや紙芝居、影絵の上映などを催し、子どもたちが夏休みに楽しめる企画を用意した。
7 ぶつくわーど 第1回「水の旅」	小学生	子ども17名	10月18日(土)	本の紹介とお話 講師：渡部美帆(科学読物研究会) 水の中で浮き沈みする浮沈子を作成するため、水を入れたペットボトルに色塗りをしたたれびんを沈める工作を行った。講師によるブックトークや読み聞かせの他、参加者にブックリストを配布した。
第3回「不思議がいっぱい」	小学生	子ども10名	3月7日(土)	本の紹介とお話 講師：加嶋智恵子(市内教諭) 講師による「錯覚」や「トリックアート」等に関する本の紹介や絵本の読み聞かせを行った他、おにぎりの折り紙を実施した。
8 図書館まつり	子どもから 大人	840名	10月25日(土) 10月26日(日)	大石真の生誕百周年記念講演会として、児童文学研究者の藤田のぼる氏を招き、「百年の時を超えて、心に響く大石真の世界」また、朗読の会あめんぼによる「大石真作品朗読会」を開催した。他にも、大石真作品の資料展示を行った。 東京メトロ迷路、写真展示、絵本の読み聞かせ、英語絵本の読み聞かせ・うた、影絵づくり、布のカードケース作り、ぼんぼりプレスレットの配布、本のリサイクル、雑誌の付録くじ、軽食販売等、図書館で楽しんでいただく催しを行った。
9 市民図書館講座 第1回「自分の好きを伝えたい！ほんのPOPづくり」	中学生から 高校生	6名	7月27日(日)	POPを作るときのポイント、目を惹くPOPの実例などを学んだ後、参加者が事前に用意してきた本のPOP作りを行った。作成後は、講師から1枚ずつ講評をいただいた。その後9月～10月に館内で開催された「中高生ほんのPOPコンテスト」を案内した。 講師：内田剛(NPO法人本屋大賞実行委員会理事、ポプラ社「全国学校図書館POPコンテスト」アドバイザー)
第2回「今日から始める終活・エンディングノート」	大人	22名	11月7日(木)	団塊世代を対象に、自身の人生を振り返り今後の生き方や最後をどのように迎えたいかを考える機会を提供し、エンディングノートの重要性や書き方を学ぶ講義をしていただき、図書館の利用につなげた。 講師：もりたれいこ(エンディングノートナビゲーター)
10 Wonder Club	子どもから 大人	大人17名 子ども22名 大人10名 子ども13名 大人11名 子ども10名 大人4名 子ども2名	5月25日(日) 7月13日(日) 12月21日(日) 3月22日(日)	ボランティアグループによる英語絵本の読み聞かせや英語の歌をとおりて、国際理解や英語への親しみを深めた。令和6年度より年間3回から4回へ変更し、より幅広いジャンルの絵本の読み聞かせを行うようにした。 *30年度の図書館まつりを機に再開。名称をWonderful TaleからWonder Clubに変更。
11 小学生風作り講座	親子	5組10名	12月7日(日)	郷土作家 新坂和男氏にちなんだ創作風を作成し、図書館のテラスで風上げを行った。

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
12 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子	20名 16名 24名 18名 40名 22名 19名 14名 26名 22名 17名	4月18日(金) 5月16日(金) 6月20日(金) 7月11日(金) 9月19日(金) 10月17日(金) 11月21日(金) 12月19日(金) 1月16日(金) 2月20日(金) 3月13日(金)	ボランティアによるわらべうたや、絵本の読み聞かせ等を行った。
13 図書館シネマ	大人 子ども	13名 14名 7名 8名	6月8日(日) 8月3日(日) 11月24日(月・祝) 3月8日(日)	『アルジャーノンに花束を』 『赤毛のアン』 『立川談慶の昭和見聞録昭和35年～昭和39年』 『ミッフィーとどうぶつえん』
14 大人のための朗読劇場 「Part29 谷川俊太郎の やなせたかし詩とメルヘン の世界」	中学生 以上	29名	6月29日(日)	ボランティアサークル「朗読の会あめんぼ」による朗読劇。朗読劇を通じて参加者には朗読の面白さと本への関心を高めてもらった。
「Part30 星新一 シュールな世界 第5弾」		27名	11月30日(日)	
15 ブックスタート	親子	46名 48名 51名 4名 18名 34名 24名 33名 13名 42名 38名 33名 42名 41名 16名 35名 17名 24名 42名 50名 24名 34名 24名 26名 16名 28名 32名 23名 23名	4月21日(月) 5月12日(月) 6月2日(月) 6月9日(月) 6月23日(月) 7月7日(月) 9月8日(月) 9月22日(月) 9月29日(月) 10月6日(月) 10月20日(月) 11月17日(月) 12月1日(月) 2月9日(月) 2月16日(月) 3月9日(月) 3月23日(月) 4月11日(金) 5月16日(金) 6月13日(金) 7月11日(金) 8月8日(金) 9月12日(金) 10月10日(金) 11月14日(金) 12月12日(金) 1月16日(金) 2月6日(金) 3月6日(金)	絵本、語りかけの大切さを伝え、絵本のプレゼントを実施した。 総合児童センター 南子育て世代包括支援センター 北第二世代包括支援センター(もくれんハウス) 南子育て世代包括支援センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター 健康増進センター
16 夏休み宿題教室	小学生	16名	7月29日(火)	夏休みの宿題を、図書館と学校の教員が支援した。
17 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人		随時実施	除籍した本や雑誌を無料で提供した。 図書館まつりでは、参考調査閲覧席にて除籍した本及びCDを無料で提供した。
18 音訳者養成講座 (上級)	大人	4名 4名 4名 4名 4名	5月13日(火) 7月8日(火) 9月9日(火) 10月14日(火) 11月11日(火) 2月10日(火)	図書館内の資料の利用が困難な方に、対面朗読を行うための音訳者を養成した。 講師：齊藤禮子(音訳講師・DAISY編集者)
19 あかちゃんタイム	乳幼児親子	大人67名 子ども64名	毎月原則 第1木曜日	保護者が、乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるようにし、絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行い施設利用を促した。

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
20 土曜えほんタイム	2・3歳から 4・5歳から	大人14名、子ども14名 大人13名、子ども16名 大人5名、子ども6名 大人6名、子ども9名 大人5名、子ども12名 大人7名、子ども8名 大人7名、子ども8名 大人5名、子ども6名 大人10名、子ども12名 大人8名、子ども11名 大人2名、子ども3名 大人3名、子ども4名	4月26日(土) 5月24日(金) 5月31日(土) 6月28日(土) 7月26日(土) 9月27日(土) 11月22日(土) 11月29日(土) 1月24日(土) 1月31日(土) 2月28日(土) 3月28日(土)	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を実施した。
21 読み聞かせ ボランティア交流会	大人	13名	2月15日(日)	市内で活動している読み聞かせボランティアを集め、日ごろの活動の情報交換を兼ねた交流会を行った。
22 図書館のおしごと 体験講座	小学4～6 年生	6名	7月31日(木)	図書館についての関心を高めるため、カウンター業務や本の修理等を体験してもらった。
23 検索講座 「図書館の本をスマホで らくらく予約しよう」	大人	4名 1名 4名	6月27日(金) 9月26日(金) 1月23日(金)	図書館ホームページの使い方を知りたい利用者に、図書館職員が利用方法を個別に教えた。
24 読み聞かせボランティア ステップアップ講座	大人	12名 12名 12名	9月20日(土) 9月28日(日) 10月2日(木)	市内小中学校でボランティア活動をしている方を対象に、読み聞かせ技術のステップアップのための講義と、絵本の読み聞かせの実践を行った。 講師：大井むつみ(日本子どもの本研究会)
25 ピブリオバトル	市内高校生	13名 (うちバトラー2名)	7月20日(日)	市内中学生がバトラー(発表者)となってピブリオバトルを実施した。
26 本の福袋	子どもから 大人	30名	1月5日(日)～ 1月8日(水)	テーマで選んだ2冊の本を包装して中身がわからないようにし、「本の福袋」として貸し出した。YA～大人向け14袋、児童向け8袋、幼児向け8袋を用意した。
27 職員研修 図書館職員専門講座 「読み聞かせとは何かを 考える」	市内小中学校 教職員、 学校図書館 アドバイザー及び図 書館職員	47名	11月27日(木)	市内小中学校の教職員、学校図書館アドバイザー及び図書館職員を対象に、読み聞かせ指導に実績と定評のある講師を招き、講義を行った。読み聞かせを行う意義や選書の基準等の、読み聞かせの知識を深めることができた。また、講師及び職員による読み聞かせの実践も行った。 講師：大井むつみ(「日本子どもの本研究会」会員)
28 中高生ほんのPOPコン テスト@和光市図書館	中学生から 高校生	45名	募集期間 7月1日(火) ～8月31日(日) 投票期間 9月13日(土) ～10月8日(水) 展示期間 10月25日(土) ～11月26日(水)	中高生が本に親しむきっかけ作りや、図書館の利用を促進するため、市内在住・在学の中高生を対象に、本のPOPを募集し、館内に展示・投票を行った。また図書館まつりにて、投票結果を発表した。

2 令和8年度図書館集會事業計画(本館)

集 会 行 事 名	対 象	募集人数	開催日	ね ら い
1 絵本とおはなしの会	2・3歳から 4・5歳から	各回10名 各回10名	第1～第3土曜日	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等。本や物語への関心を高める。子どもたちの想像力と感性を養う。
2 七夕おはなし会	幼児から小学生	15名	7月4日(土)	季節感のある日本の伝統行事を大切にするため。七夕にちなんだ絵本の読み聞かせや紙芝居を行う。
3 世界おはなしめぐり	子どもから大人	各回10名	第1回 5月16日(土) 第2回 10月3日(土)	世界の昔話や民話を素話で紹介する。絵がないので、参加者は自分の経験や想像力で物語を楽しむことができる。
4 クリスマスおはなし会	幼児から小学生	15名	12月19日(土)	飾りつけをしたクリスマスツリーのそばで読み聞かせや歌遊びをする。季節感を演出することで、親しみやすく、安心できる図書館であることを伝える。
5 子どもの科学	小学生	各回20名	第1回 6月20日(土) 第3回 2月13日(土)	科学や科学読み物についての興味や関心を高める。実験や工作を通じて、科学の本の面白さを伝える。
6 夏休み子どものつどい	子どもから大人	1日のうち3団体が各1回 ずつ公演各回上限40名	8月1日(土)	子どもたちと図書館の結びつきを深める。普段のおはなし会では行わない影絵やパネルシアター、ペープサート等の上演を通じ、普段はあまり図書館にこない子どもたちにもこの夏休みの機会に図書館に来てもらって、図書館に親しみを持ってもらう。
7 ぶっくわーど	小学生	各回20名	第2回 10月17日(土) 第3回 3月13日(土)	子どもたちの読書活動を支援する。講師がおすすめの本をテーマに沿って紹介。読み聞かせや本に載っている工作も交えて、子どもたちに読書の楽しさを教える。
8 図書館まつり	子どもから大人		10月24日(土) 10月25日(日)	図書館と市民とのふれあいの場を提供する。利用者の拡大を図る。
9 市民図書館講座	子どもから大人	各回30名	2回開催	市民のための図書館講座 生涯学習の拠点として、市民の多様なニーズに合わせた講師を選定し、市民の学習に役立てる。
10 Wonder Club	子どもから大人		5月24日(日) 7月12日(日) 12月20日(日) 3月21日(日)	英語絵本の読み聞かせや、英語の手遊び歌等のコミュニケーションを通じて英語の本の紹介や、英語の文化にふれる機会を提供する。
11 小学生風作り講座	親子	6組	12月6日(日)	和光市ゆかりの郷土作家であり、風研究家である新坂和男氏の創作風作成し、市内で行われる風上げ大会に参加を促す。
12 あかちゃんを楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子		毎月実施	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれあいや言葉かけの大切さを知ってもらう。(1日2回実施)
13 図書館シネマ	中学生～大人 子ども	各回30名	6月7日(日) 11月23日(月・祝) 3月7日(日)	DVD上映を通して 図書館との結びつきを深め、利用者の拡大を図る。 『コット、はじまりの夏』『九十歳。何がめでたい』 『えいがくまのがっこう』
14 大人のための朗読劇場	中学生以上	各回30名	6月29日(日) 11月30日(日)	実際に「朗読劇」を見てもらうことで朗読を楽しみ、本と朗読に親しみと興味を持ってもらう。
15 ブックスタート	親子	毎月出生数	13回実施 【本館】 4回実施 【子育て世代包括支援センター】 【総合児童センター】 毎月実施 【健康増進センター】	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え絵本の読み聞かせ、絵本を1冊プレゼントする。図書館会場以外に出張ブックスタートとして、南・北第二子育て世代包括支援センター(もくれんハウス)と総合児童センターで実施し、対象日に参加できなかった方へのブックスタートフォローを10か月健診日に健康増進センターで実施予定。
16 夏休み宿題教室	小学生		7月28日(火)	夏休みの宿題を、図書館と学校の教員が支援する。
17 本・雑誌のリサイクル	子どもから大人		随時実施	除籍した本や雑誌を無料で提供する。図書館まつりでは、テラスにて除籍した本及びCDを無料で提供する。
18 音訳者養成講座 (上級)	大人	各回4名	6回実施	音訳講師を招き、図書館内の資料の利用が困難な方に、対面朗読を行うための音訳者を養成する。
19 あかちゃんタイム	乳幼児親子		毎月原則 第1木曜日	保護者の方が乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるよう、「あかちゃんタイム」を設けて図書館の利用を促す。

集 会 行 事 名	対 象	募集人数	開催日	ね ら い
20 土曜えほんタイム	2・3歳から 4・5歳から		第4・第5土曜日	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等。 本や物語への関心を高める。 子どもたちの想像力と感性を養う。
21 読み聞かせボランティア 交流会	大人		1回	市内小中学校及び市内で読み聞かせボランティアを されている方を対象とした交流会を実施し、今後の 活動に活かす。
22 図書館のおしごと 体験講座	小学4～6 年生	6名	7月30日(木)	図書館についての関心を高めるため、カウンター業 務や本の修理等を体験してもらう。
23 「図書館の本をスマホで らくらく予約しよう Day」	大人		8月を除く 毎月第3木曜日	図書館ホームページの使い方を知りたい利用者に、 図書館職員が利用方法を個別に教える。
24 読み聞かせ ボランティア養成講座	大人	30名	1回	図書館および市内小中学校で読み聞かせボランティ ア活動をしている方、これから始める方を対象に、 読み聞かせ技術の基礎固めを目的とした講座を行 う。
25 本の福袋	子どもから 大人	30名	1月5日(日)～ 1月15日(水)	テーマで選んだ2～3冊の本を包装して中身がわか らないようにし、「本の福袋」として貸し出す。
26 職員研修 図書館職員専門講座 「(未定)」	市内小中 学校教職員、 学校図書館 アドバイザー 及び図書 館職員	50名	11月26日(木)	市内小中学校の教職員、学校図書館アドバイザー及 び図書館職員を対象に、読書環境についての講座を 行う。

3 令和7年度図書館集會事業報告(下新倉分館)

集會行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
1 絵本とおはなしの会	幼児から 小学校 低学年	大人33名、子ども45名	4月12日(土) 5月10日(土) 6月14日(土) 7月12日(土) 9月13日(土) 11月8日(土) 12月13日(土) 1月10日(土) 2月14日(土) 3月14日(土)	ボランティアと職員による絵本の読み聞かせ、紙芝居等。キッズスペースにて開催した。
2 子どもの科学 第2回「雲ってなんだ ～雲の標本つくり～」	小学生	20名	9月27日(土)	大気と水蒸気と光の働きによって、雲ができる仕組みを考え、ペットボトルを使って雲を作ったり、空色の台紙に、綿を貼って10種の雲の形がわかる雲の標本を作る。科学読み物についての興味や関心を高めるため、ブックリストを作成し、講師や図書館からのおすすめ本の紹介と貸出を実施した。 講師:坂口美佳子(科学読物研究会)
3 ぶっくわーど 第1回「おばけワールドツ アーにご招待!!」	小学生	19名	7月5日(土)	本の紹介とお話 講師:加嶋智恵子(市内教諭) おばけや妖怪、幽霊が出てくる本の紹介を行い、折り紙工作も行った。講師が紹介した本の他、おすすめする本の貸出も行った。
4 夏休み宿題教室	小学生	6名	7月29日(火)	夏休みの宿題を、図書館と学校の教員が支援した。
5 図書館クラブ 「お楽しみ読書バッグづく り」	中高生	9名	8月31日(日)	英字新聞を使ってエコバッグを作成。また、分館所蔵の本を2冊選んで、おすすめの理由を記載したカードを作成した。
6 本の福袋	子どもから 大人	35名	1月6日(火)～ 1月10日(土)	テーマで選んだ2冊の本を包装して中身がわからないようにし、「本の福袋」として貸し出した。YA～大人向け23袋、児童向け8袋、幼児向け4袋を準備した。
7 ぬいぐるみのおとまりかい	幼児から 小学生	大人5名、子ども10名	3月22日(日)～ 24日(火)	図書館に親しみを持ってもらうために開催。自分の連れてきたぬいぐるみと一緒に話を聞いた後、図書館内を見学。ぬいぐるみを預かり、図書館で過ごす様子を写真に撮り、お迎え時にアルバムを作った。ぬいぐるみが選んだ本を借りて帰った。
8 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の 親子	5名 4名 15名 10名 26名 14名	4月25日(金) 6月27日(金) 9月26日(金) 11月28日(金) 1月23日(金) 3月27日(金)	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれあいや言葉かけの大切さを伝えた。また、読み聞かせに おすすめの本を見てもう時間を作り、絵本を通して参加者同士の交流につなげた。 9月26日、1月23日は同施設内1階にある下新倉児童館で開催した。
9 ブックスタート	親子	17名 6名 13名 23名 20名 11名	5月20日(火) 7月23日(水) 10月21日(火) 11月10日(月) 12月16日(火) 2月25日(水)	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え、絵本の読み聞かせ、わらべうたの実演をし、絵本を1冊プレゼントした。 北子育て世代包括支援センター
10 サマーフェスタ	子どもから 大人	大人8名、子ども11名	8月2日(土)	近隣自治会、下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉学童クラブ合同夏祭りを開催。利用者の拡大を図るため、図書館は「図書館の紙芝居屋さん！」を行った。
11 ひまわりおはなし会	小学生	大人1名、子ども2名 大人1名、子ども4名 大人7名、子ども13名 大人2名、子ども2名 大人1名、子ども12名 大人3名、子ども5名 大人2名、子ども10名 大人0名、子ども0名 大人1名、子ども7名 大人2名、子ども12名 大人1名、子ども8名	4月16日(水) 5月21日(水) 6月18日(水) 7月16日(水) 9月17日(水) 10月15日(水) 11月19日(水) 12月17日(水) 1月21日(水) 2月18日(水) 3月18日(水)	読書習慣を身につけるために絵本の読み聞かせ等を行い、本や物語への関心を高め、子どもたちの想像力と感性を養った。 場所を図書館と下新倉児童館で隔月開催している。 4月16日、7月16日、10月15日、12月17日、2月18日、3月18日は図書館で開催。5月21日、6月18日、9月17日、11月19日、1月21日は下新倉児童館で開催。
12 ふれあいまつり 「おはなし会」 ひまわり倶楽部 和光絵本とお話の会 「まちがいがし」	子どもから 大人	大人10名、子ども11名 大人18名、子ども30名 214名に配布	4月29日(火・祝)	下新倉児童館、下新倉学童クラブと共催。利用者の拡大を図るため、おはなし会とまちがいがしを行った。

集会行事名	対 象	参加人数	開催日	内 容
13 図書館で ボードゲーム	子どもから 大人	大人6名、子ども2名	8月2日(土)	様々な年代の人々が図書館に集い、図書館に親しみを感じてもらうため、ボードゲームを利用したイベントを実施した。
14 市民図書館講座 「クリスマス工作」	4歳以上の 親子	大人8名 子ども11名	12月6日(土)	講師による手形を使ったクリスマスアート作り講座と職員によるクリスマス絵本の読み聞かせを行った。 講師：小澤俊子(生涯学習指導者)
「図書館の記憶と記録」	大人	15名	2月28日(土)	大和町から和光市への歩みを図書館の歴史からたどり、地域住民の記憶を記録してきたことについて学ぶ機会となった。 講師：石川敬史(十文字学園女子大学)
15 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人	100冊 118冊 182冊 219冊 122冊 264冊 220冊 366冊	4月15日(火)～4月24日(木) 5月8日(木)～5月22日(木) 6月10日(火)～6月26日(木) 7月14日(月)～8月28日(木) 9月9日(火)～9月25日(木) 10月14日(火)～11月27日(木) 12月8日(月)～2月9日(月) 2月9日(月)～3月29日(日)	除籍した本や雑誌を無料で提供した。
16 あかちゃんタイム	乳幼児親子	大人24名、子ども21名	毎月原則 第2金曜日	保護者の方が、乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく図書館を利用できるようにし、絵本の読み聞かせやわらべうたなどを行い施設利用を促した。
17 おりがみの日	子どもから 大人	112名	毎週金曜日	おりがみと折り方ボードを用意し、図書館の本を見ながら自由に創作してもらった。図書館を身近に感じてもらい、利用促進につながった。
18 大人のための朗読会	大人	33名	3月1日(日)	朗読の会あおぞらによる大人向け朗読会を開催した。
19 英語おはなし会 Peek'n See! 「外国の学校」 「ハロウィン」 「クワンザ」 「節分」	4歳から 小学4年生	大人10名、子ども12名 大人10名、子ども13名 大人8名、子ども14名 大人7名、子ども12名	7月27日(日) 10月19日(日) 12月20日(土) 2月1日(日)	英語の読み聞かせを通して、行事の起源や本当の意味などを学び、英語や多文化に興味を持ってもらった。工作や関連本の貸出も行った。 講師：Ms.Cathy
20 図書館でみつけよう！ 夏休み自由研究 司書体験	小学生	各回2名、全18名	7月25日(金)～ 8月22日(金) 館内整理日7/25 (木)、8/22(木)除く	学習支援として、自由研究と名のつく本以外でも、資料があることを利用者へ案内する。同時企画として司書体験の機会を設け、図書館への理解を深めてもらった。

4 令和8年度図書館集會事業計画(下新倉分館)

集 会 行 事 名	対 象	募集人数	開催日	ね ら い
1 絵本とおはなしの会	幼児から 小学校 低学年	各回6組	8月を除く 原則毎月第2土曜日	読書習慣を身につけるために絵本の読み聞かせ等 を行い、本や物語への関心を高める。また、子どもた ちの想像力と感性を養う。
2 子どもの科学	小学生	15名	第2回 9月26日(土)	科学読み物についての興味や関心を高める。
3 ぶっくわーど	小学生	20名	第1回 7月4日(土)	子どもたちの読書活動を支援する。本を読む楽しさ を教える。学校との連携(講師は市内の小学校の教 員)
4 夏休み宿題教室	小学生		7月29日(水)	夏休みの宿題を、図書館と学校の教員が支援する。
5 図書館クラブ	中高生	20名	8月29日(土)	中高生の図書館利用を促進する。
6 本の福袋	子どもから 大人	35名	1月5日(火)～	テーマで選んだ2冊の本を包装して中身がわからない ようにし、「本の福袋」として貸し出す。
7 めいぐるみのおとまりかい	4歳から 小学生	10名	3月22日(月)～ 24日(水)	図書館に親しみを持ってもらうために開催。自分の 連れてきためいぐるみと一緒に話を聞いた後、図 書館内を見学。めいぐるみを預かり、図書館で過 す様子を写真に撮り、お迎え時にアルバムを作る。め いぐるみの選んだ本を借りて帰る。
8 あかちゃんと楽しむ 絵本とわらべうた	6か月から 2歳児の親 子		4月24日(金) 6月26日(金) 9月25日(金) 11月27日(金) 1月22日(金) 3月26日(金)	絵本の読み聞かせやわらべうたで遊び、親子のふれ あいや言葉かけの大切さを知ってもらう。 全6回のうち3回を図書館で、残りの3回を同施設内 1階の下新倉児童館に出向いて行う。
9 ブックススタート	親子	毎月出生数	5回実施 【分館会場】 1回実施 【支援センター】 【健康増進センター】	絵本やわらべうた、語りかけの大切さを伝え、絵本の 読み聞かせ、わらべうたの実演をし、絵本を1冊プレ ゼントする。分館会場以外に出張ブックススタートとし て、北子育て世代包括支援センターで実施し、対象 日に参加できなかった方へのブックススタートフォロー を10か月健診日に健康増進センターで実施予定。
10 サマーフェスタ	子どもから 大人		8月1日(土)	近隣自治会、下新倉小学校、下新倉児童館、下新倉 学童クラブの合同夏祭りを開催する。利用者の拡大 を図る。
11 ひまわりおはなし会	小学生	各回10名 (児童館開催時は15名程度)	原則毎月第3水曜日 4月15日(水) 5月20日(水) 6月17日(水) 7月15日(水) 9月16日(水) 10月21日(水) 11月18日(水) 12月16日(水) 1月20日(水) 2月17日(水) 3月17日(水)	読書習慣を養うための絵本の読み聞かせ等を行い、 本や物語への関心を高める。また、子どもたちの想像 力と感性を養う。 全11回の内6回を図書館で、5回を同施設内1階の 下新倉児童館に出向いて行う。
12 ふれあいまつり	子どもから 大人		4月29日(水・祝)	下新倉児童館、下新倉学童クラブと共催で図書館を 親しんでもらうための催しを開催する。利用者の拡 大を図る。
13 図書館でボードゲーム	子どもから 大人		11月頃	様々な年代の人々が図書館に集う機会を作るため、 ボードゲームを利用したイベントを実施し、図書館に 親しみを感じてもらう。
14 市民図書館講座 「旅と図書館」 「クリスマス・お正月工作」	大人 4歳以上の 親子	10名	5月15日(金) 5月29日(金) 6月26日(金) 12月5日(土)	市民のための図書館講座。 生涯学習の拠点として、市民の多様なニーズに合わ せた講師を選定し、市民の学習に役立てる。
15 本・雑誌のリサイクル	子どもから 大人		随時実施	除籍した本や雑誌を無料で提供する。
16 あかちゃんタイム	乳幼児親子		毎月原則 第2金曜日	保護者の方が乳幼児と一緒にゆったりと気兼ねなく 図書館を利用できるようにし、図書館の利用を促す。 また、読み聞かせやわらべうた等を行う。
17 おりがみの日	子どもから 大人		毎週金曜日	おりがみと折り方ボードを用意し、図書館の本を見な がら自由に創作してもらう。図書館を身近に感じても らい、利用促進につなげる。
18 大人のための朗読会	大人		11月頃	大人向けの朗読会。耳からの読書体験を楽しんでも らう。
19 英語おはなし会 Peek'n See!	4歳から 小学4年生	各回14名	6月21日(日) 9月13日(日) 12月13日(日) 3月14日(日)	英語絵本の読み聞かせや、世界の文化や行事を紹 介し、子どもたちに英語にふれる機会を提供する。
20 図書館でみつけよう! 夏休み自由研究	小学生	司書体験 18名	7月7日(火)～ 8月26日(水) 7月24日(金)～ 8月21日(金)	学習支援として、自由研究と名のつく本以外でも、資 料があることを利用者へ案内する。同時企画として 司書体験の機会を設け、図書館への理解を深めても らう。
21 開館10周年記念講演会	未定	未定	11月頃	開館10周年を記念した講演会を、開館月の11月頃 に行い、地域だけでなく市内の利用者への来館機会 を創出し、下新倉分館を知ってもらう。

(5) 本とのふれあい事業

学校訪問

学校名	訪問対象	訪問した内容・団体名
和光国際高等学校	生徒対象	保育授業における絵本の読み聞かせ講習・和光絵本とお話の会
和光特別支援学校	生徒対象	読み聞かせ・和光絵本とお話の会
下新倉小学校	児童対象	朝の読み聞かせへの職員参加

保育園訪問

保育園名	訪問回数	訪問した団体名
ひろさわ保育園	9	和光絵本とお話の会
ほんちょう保育園	9	和光絵本とお話の会
にいくら保育園	5	和光絵本とお話の会

(6) 団体貸出について

テーマ別

貸出団体名	申込数	貸出冊数
白子小学校	7	138
新倉小学校	1	25
第三小学校	6	124
第四小学校	5	103
第五小学校	4	112
広沢小学校	8	125
北原小学校	4	125
本町小学校	5	172
下新倉小学校	69	1563
大和中学校	0	0
第二中学校	0	0
第三中学校	0	0
和光国際高等学校	0	0
和光特別支援学校	0	0
合計	109	2487

順位	テーマ
1	日光
2	林間学校
2	うみのかくれんぼ
2	伝統工芸品
3	福祉
3	自動車くらべ
3	いきもの
3	防災
3	鳥獣戯画
3	つぼみ

貸出団体名					貸出冊数	回 数											
白	子	小	学	校	1,000	2											
新	倉	小	学	校	1,050	2											
第	三	小	学	校	1,050	2											
第	四	小	学	校	800	2											
第	五	小	学	校	1,000	2											
広	沢	小	学	校	800	2											
北	原	小	学	校	900	2											
本	町	小	学	校	700	2											
下	新	倉	小	学	校	1,050	2										
大	和	中	学	校	1,250	2											
第	二	中	学	校	850	2											
第	三	中	学	校	0	0											
南	学	童	ク	ラ	ブ	100	2										
諏	訪	学	童	ク	ラ	ブ	100	2									
中	央	学	童	ク	ラ	ブ	100	2									
広	沢	学	童	ク	ラ	ブ	50	2									
本	町	学	童	ク	ラ	ブ	50	2									
白	子	第	二	学	童	ク	ラ	ブ	100	2							
白	子	学	童	ク	ラ	ブ	100	2									
北	原	学	童	ク	ラ	ブ	100	2									
新	倉	学	童	ク	ラ	ブ	100	2									
南	地	域	セ	ン	タ	ー	学	童	ク	ラ	ブ	50	2				
下	新	倉	学	童	ク	ラ	ブ	50	2								
さ	つ	き	の	こ	学	童	ク	ラ	ブ	100	2						
ひ	ろ	さ	わ	保	育	園	100	2									
ほ	ん	ち	ょ	う	保	育	園	100	2								
キ	ッ	ズ	エ	イ	ド	和	光	保	育	園	100	2					
保	育	ル	ー	ム	フ	ェ	リ	ー	チ	ェ	Ⅱ	25	0				
に	い	く	ら	保	育	園	100	2									
下	新	倉	み	ど	り	保	育	園	100	2							
ハ	レ	ル	ヤ	保	育	園	100	2									
み	な	み	保	育	園	100	2										
し	ら	こ	保	育	園	0	0										
キ	ッ	ズ	エ	イ	ド	吹	上	保	育	園	0	0					
南	子	育	て	世	代	包	括	支	援	セ	ン	タ	ー	100	2		
北	子	育	て	世	代	包	括	支	援	セ	ン	タ	ー	50	2		
本	町	子	育	て	世	代	包	括	支	援	セ	ン	タ	ー	50	2	
北	第	二	子	育	て	世	代	包	括	支	援	セ	ン	タ	ー	0	0
健	康	増	進	セ	ン	タ	ー	(	保	健	セ	ン	タ	ー	)	50	2
新	倉	高	齢	者	福	祉	セ	ン	タ	ー	100	2					
教	育	支	援	セ	ン	タ	ー	100	2								
総	合	福	祉	会	館	(	ゆ	め	あ	い	)	50	2				
福	祉	の	里	0	0												
和	光	市	生	活	介	護	施	設	(	ゆ	め	ち	か	)	50	2	
第	四	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	50	2					
新	倉	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	0	0					
北	原	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	0	0					
第	五	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	50	2					
下	新	倉	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	0	0				
第	三	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	0	0					
白	子	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	0	0					
本	町	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	50	2					
広	沢	小	わ	こ	う	っ	こ	ク	ラ	ブ	50	2					

(7) 沿 革

昭和37年 8月	大和中央公民館図書室開室
昭和45年	県立移動図書館巡回開始
昭和45年10月	和光市市制施行
昭和46年6月	和光市中央公民館図書室開室
昭和47年1月	県立一日図書館巡回開始(西大和団地、諏訪原団地)
昭和48年12月	移動図書館「やまびこ号」巡回開始
昭和49年9月	坂下公民館図書室開室
昭和51年3月	県立一日移動図書館閉館
昭和56年10月	新「やまびこ号」巡回開始
昭和56年12月	図書館新築工事着工
昭和58年3月	図書館新築工事竣工
昭和58年4月	和光市図書館設置及び管理条例を制定
	これに伴い、中央公民館図書室廃止
昭和58年5月	南公民館開室
昭和58年8月	和光市図書館開館
昭和59年	視聴覚資料貸出開始
平成 2年11月	図書館電算化準備事業着手
平成 3年6月	移動図書館日曜巡回開始
平成 4年9月	コンピュータ稼動
平成 5年11月	移動図書館「やまびこ号」更新、巡回開始
平成 6年2月	外壁工事終了
平成 7年3月	和光市図書館管理運営規則の一部改正
平成 7年4月	「図書館だより」発行
平成 8年1月	坂下公民館図書室館内での場所の移動と室内改修
平成10年6月	和光市図書館管理運営規則の一部改正
	コンピュータ更新稼動
	中央公民館図書室開室
	ブラインド設置工事
平成11年6月	祝日開館及び開館時間延長(試行)
平成12年3月	図書館事務室他空調機交換工事
平成12年4月	祝日開館及び開館時間延長(試行延長)
平成12年11月	第1回図書館まつり(文化の日)
平成13年9月	館内改修工事(カーペット張替えなど)
平成14年4月	和光市図書館管理運営規則の改正(休館日、利用時間)
平成14年9月	館内エアコン交換工事
平成15年3月	移動図書館やまびこ号廃止
平成15年5月	郵送貸出サービス開始
平成15年12月	図書館システムの切り替え
平成16年3月	学校図書館とオンライン化し、学校との連携開始
平成16年9月	館内改修工事(階段室塗り替え、排煙窓改修)
平成17年4月	インターネット予約開始
平成17年11月	館内中央掲示板設置
	書架寄贈
平成18年1月	子育て支援コーナー設置
平成18年3月	和光市図書館ホームページ開設
平成18年9月	利用者用インターネット端末2台設置
	多目的トイレ改修工事(オストメイト設置)
平成19年1月	ビジネス支援コーナー設置
平成19年4月	新視聴覚ケース採用
平成19年7月	会議室エアコン取替え工事
平成19年10月	情報掲示板設置
平成20年3月	和光市子ども読書活動推進計画策定
平成20年9月	屋上キュービクル取替工事
平成20年12月	図書館管理システム更新
平成21年10月	ブラインド修繕
	新聞縮刷版書棚設置
	坂下公民館図書室内修繕
平成21年11月	埼玉・教育ふれあい賞受賞
平成22年10月	月曜開館(試行)
平成23年3月	ブックポスト増設(コミュニティセンター、駅北口土地区画整理事業事務所)
平成23年4月	月曜開館実施
平成23年5月	公民館職員による公民館図書室資料の貸出し(月・水～金曜日)

平成23年7月 平成23年11月	図書館開館時間中のブックポストの設置(図書館1階入口) 電話及びインターネットによる貸出延長 拡大読書器の設置(小型) 図書館エレベーター撤去新設工事
平成23年11月	図書館エレベーター撤去新設工事関連工事 図書館エレベーター撤去新設工事関連工事(入口ホールインターホン 設置修繕工事・揚水ポンプ交換他工事・誘導灯交換工事・自動ドア 装置交換工事・入口ホール点字ブロック設置等工事)
平成24年4月	貸出冊数の増加(7冊から15冊に) 放送大学再視聴施設和光校開校 文部科学大臣表彰受賞 館内閲覧席における持ち込みパソコンの全面利用開始 ブックポスト視聴覚資料返却スタート
平成24年5月 平成24年6月 平成24年7月 平成24年9月 平成24年11月 平成24年12月 平成25年3月	公民館図書室の図書の入れ替え(中央・南)及びレイアウト変更 図書館資料延滞者に対する利用制限の開始 ブックポスト増設(総合福祉会館) シーアイハイツ第一商業棟防水工事 トイレ手洗い器自動洗浄修繕 和光市図書館サービス計画策定 第2次和光市子ども読書活動推進計画策定 朝の開館時間の延長(10時から9時30分に) ブックスタート開始 キッズルーム設置及び館内レイアウト変更(書架移動) 図書館管理システム更新 トイレ床改修
平成25年4月 平成25年9月 平成26年2月	消防用設備(自動火災報知設備受信機)修繕 消火栓ポンプ分解整備 カウンター業務を委託から直営による運営に変更 マンガコーナー設置 出張ブックスタート開始 ブックポスト増設(和光市駅南口自転車駐車場) 公民館図書室の貸出時間を拡大 公民館図書室における予約資料の受け取り時間を拡大 セルフ貸出サービス開始 和光市図書館サポーター制度開始 「図書館だより」リニューアル シーアイハイツ第一商業棟外壁塗装工事 「YA通信」発行
平成26年3月 平成26年4月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 和光市図書館利用困難者支援事業実施要綱制定 和光市図書館資料の寄贈等に関する要綱制定 和光市図書館資料の賠償に関する要綱制定 対面朗読サービス、デイジー再生機利用サービス等開始 赤ちゃんタイム開始 多目的トイレにベビーチェア設置 和光市図書館雑誌スポンサー事業実施要綱制定 読書通帳開始 りんごの棚設置 和光市図書館下新倉分館開館 ナクソス・ミュージックライブラリー、ジャパンナレッジサービス開始 わこガチャ開始 和光市図書館管理運営規則の一部改正 (休館日、図書利用券の有効期限、視聴覚資料の貸出点数) 読み聞かせ手帳開始 拡大読書器設置(大型) 大人のための読書通帳開始 わこガチャ利用対象を拡大(3歳～6歳) 高架水槽撤去工事 第2次和光市図書館サービス計画策定 第3次和光市子ども読書活動推進計画策定 ブックポスト増設(新倉北地域センター) 図書館エレベーター補修工事 空調機更新工事 闘病記コーナーリニューアル 高圧ケーブル交換工事 和光市図書館管理運営規則の一部改正(団体利用)
平成26年7月 平成26年8月 平成26年10月	
平成26年11月	
平成26年12月 平成27年3月	
平成27年4月	
平成27年10月 平成28年3月 平成28年4月	
平成28年10月 平成28年11月	
平成29年1月 平成29年4月	
平成29年5月 平成29年10月 平成30年1月	
平成30年3月	
平成30年4月 平成30年 8月 平成31年2月 平成31年3月	
平成31年4月	

令和 2年1月	男女トイレ洋式化工事 科学道100冊コーナー設置 新書コーナー設置
令和 2年2月	図書館管理システム更新
令和 2年3月	下新倉分館「みんなのひとハコ図書館」事業開始
令和 2年6月	図書除菌機設置(本館・下新倉分館) 公式YouTubeチャンネル開設
令和 2年7月	無料公衆無線LANサービス提供開始[本館]
令和 2年12月	公式Twitter開始
令和 3年4月	有料宅配サービス開始
令和 4年5月	無料公衆無線LANサービス提供開始[分館]
令和 5年3月	第3次和光市図書館サービス計画策定 第4次和光市子ども読書活動推進計画策定
令和 5年5月	試験前の土日の中高生向け自習室開放開始
令和 5年8月	web利用券運用開始
令和 5年10月	下新倉分館が「ゲーミング図書館アワード2023」審査員特別賞を受賞
令和 5年11月	埼玉県教育委員会優良教育施設として表彰
令和 6年3月	小学生のための読み聞かせおすすめ本コーナー設置
令和 7年2月	図書館管理システム更新
令和 7年2月	多目的トイレ改修工事
令和 7年7月	図書館協議会から「これからの和光市図書館のあり方について」答申
令和 7年10月	大石真生誕100周年記念講演会開催

IV 青少年事業・生涯スポーツ振興事業

1. 青少年事業

(1) 令和7年度事業報告

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内 容	参加費
1	子供安全見守り講座	市内小中学校 市役所	4月	—	1	小学生 保護者	—	関係各所に講習会申込案内を送付し周知した。 児童・生徒・保護者にインターネットの危険性と携帯の安心・安全な使い方の講習会。	無料
2	青少年育成推進委員会 定例会①	市役所	6月12日(木)	9:30～ 11:00	1	保護者	27	青少年育成推進委員会の活動概要を説明し、役員決めを実施した。	無料
3	青少年健全育成 作文募集	—	7月～9月	—	1	小学4年生～ 高校1年生 特別支援 学校生	2,875	テーマ 「ア. 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案 イ. 家庭、学校生活、社会（地域活動）の中でチャレンジしていることや感じていること ウ. テレビや新聞などで報道されている青少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など」とし 作文を募集した。 入選点数102点。	無料
4	青少年相談員協議会 ジュニアスクール①	南公民館	8月10日(日)	9:00～ 12:00	1	小学生	9	ジュニアスクールと題した事業の中で、通年を通して同じ参加者による異年齢交流を実施し、次世代の青少年相談員の育成を図った。 【内容】スイカ割・フルーツポンチづくり	無料
5	青少年育成 和光市民会議 夏季スポーツ大会	総合体育館 メイン アリーナ サブアリーナ	8月16日(土)	8:30～ 12:00	1	小学生	204	ドッジボール大会を実施した。	無料
6	青少年育成推進委員会 「青少年をまもる店」 調査	—	9月～10月 ※書面にて調査	—	1	市内 協力店舗	—	青少年育成推進委員が青少年をまもる店協力店に対し青少年の動向を調査、まもる店として協力依頼をした。 ※書面にて調査を実施。	無料
7	青少年育成推進委員会 定例会② 講習会①	図書館	9月18日(木)	10:00～ 11:30	1	保護者	25	図書館職員を講師として招き、図書館の紹介、青少年推奨図書について講習会を実施した。	無料
8	青少年相談員協議会 ジュニアスクール②	第三小 体育館	10月19日(日)	9:30～ 11:30	1	小学生	9	ジュニアスクールと題した事業の中で、通年を通して同じ参加者による異年齢交流を実施し、次世代の青少年相談員の育成を図った。 【内容】ドッジボール	無料
9	和光市地域青少年を 育てる会連合会 親子ベタンク大会	第二中学校 校庭	11月9日(日)	10:00～ 13:00	1	市民	雨天中止	三人一組のチーム対抗戦で行うベタンク大会であったが、雨天のため中止した。	無料
10	青少年育成推進委員会 定例会③ 講習会②	市役所	12月11日(木)	9:30～ 11:00	1	保護者	27	保護者に対し、食の安全性や化学肥料・農薬等に関する正しい知識を深めてもらうとともに、正しい理解に基づいた判断ができるよう講習会を実施した。	無料

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内 容	参加費
11	和光市地域青少年を 育てる会連合会 和光市地域青少年を 育てる会交流会① 「親子たこづくり」	和光樹林 公園 芝生広場	12月6日(土)	9:00～ 11:00	1	市民	114	親子で参加できるたこづくり教室を実施した。	100円 (育てる会 加入者は無 料、保険 代)
12	青少年健全育成作文 発表会・表彰式	サンアゼリア 小ホール	12月13日(土)	9:30～ 11:45	1	小学4年生～ 高校1年生	88	小学4年生～高校1年生及び、特別支援学校生を対象に募集。入選した作文の表彰式及び発表会を実施した。	無料
13	青少年育成 和光市民会議 たこあげ大会	和光樹林公園 芝生広場	1月17日(土)	11:00～ 12:00	1	市民	34	手作り凧による大会を実施し、親子・地域での交流を図った。	無料
14	青少年育成推進員会 「あひる」(広報わこ うに掲載)発行	—	1月	—	1	—	—	青少年育成推進員の活動やお知らせを掲載した。	無料
15	青少年相談員協議会 ジュニアスクール③	中央公民館	2月8日(日)	14:30～ 16:00	1	小学生	4	ジュニアスクールと題した事業の中で、通年を通して同じ参加者による異年齢交流を実施し、次世代の青少年相談員の育成を図った。 【内容】お面づくり・豆まき	無料
16	青少年育成推進員会 定例会④	市役所	2月12日(木)	9:30～ 11:00	1	保護者	25	青少年をまもる店の報告書の製本及び学校代表の交流会を実施した。	無料
17	和光市地域青少年を 育てる会連合会 和光市地域青少年を 育てる会交流会② 「世界で一つだけの プリントクッキーに デコレーション体 験」	南公民館	2月28日(土)	—	1	小学生	14	育てる会加入者を対象に、参加者が描いた絵をクッキーにプリントし、デコレーションを楽しむイベントを実施した。	無料

(2) 令和8年度 事業計画

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	定員	内 容	参加費
1	子供安全見守り講座	市内小中学校 市役所	6月	—	1	小学生 保護者	—	関係各所に講習会申込案内を送 付し周知する。 【講習会内容】 児童・生徒・保護者を対象にイ ンターネットの危険性と携帯の 安心・安全な使い方の講習会。	無料
2	青少年育成推進員会 定例会①	和光市役所	6月11日(木)	—	1	保護者	有	青少年育成推進員の委嘱及び担 当者決め、まもる店の調査につ いて	無料
3	青少年健全育成作文 募集	—	7月～10月	—	—	小学4年生～ 高校1年生 特別支援学 校生	—	作文のテーマを決め募集する。	無料
4	青少年育成推進員会 「青少年をまもる店」 調査	市内	8月～11月	—	—	—	—	青少年育成推進員が青少年をま もる店協力店の調査を依頼す る。	無料
5	青少年育成 和光市民会議 夏季スポーツ大会	総合体育館 メイン アリーナ サブアリーナ	8月22日(土)	—	1	小学生	—	ドッジボール大会を実施する。	無料
6	青少年育成推進員会 定例会② 講習会①	図書館 下新倉分館	9月17日(木)	—	1	保護者	有	図書館職員を講師として招き、 図書館の紹介、青少年推奨図書 についての講習会及びまもる店 の調査についての説明を実施す る。	無料
7	青少年相談員協議会 ジュニアスクール①	第三小学校 体育館	10月18日(日)	—	1	小学生	有	ジュニアスクールと題した事業 の中で、通年を通して同じ参加 者による異年齢交流を実施し、 次世代の青少年相談員の育成を 図る。 内容：ドッチボール	無料
8	和光市地域青少年を 育てる会連合会 親子ベタンク大会	—	11月8日(日)	—	1	市民	—	三人一組のチーム対抗戦で行う ベタンク大会で親子・地域の交 流を図る。	無料
9	青少年相談員協議会 ジュニアスクール②	総合体育館 研修会議室	11月29日(日)	—	1	小学生	有	ジュニアスクールと題した事業 の中で、通年を通して同じ参加 者による異年齢交流を実施し、 次世代の青少年相談員の育成を 図る。 【内容】工作	交通費のみ
10	和光市地域青少年を 育てる会連合会 和光市地域青少年を 育てる会交流会① 「親子たこづくり」	和光樹林公園 芝生広場	12月予定	—	1	市民	有	親子で参加できるたこづくり教 室を実施する。	100円 (育てる会 加入者は無 料、保険 代)
11	青少年健全育成作文 表彰式発表会	サンアゼリア 小ホール	12月5日(土)	—	1	小学4年生～ 高校1年生 特別支援 学校生	—	小学4年生～高校1年生及び、 特別支援学校生を対象に募集。 入選した作文の表彰式及び発表 会を実施する。	無料

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	定員	内 容	参加費
12	青少年育成推進員会 定例会③ 講習会②	和光市役所	12月10日(木)	—	1	保護者	有	青少年をまもる店の調査内容の とりまとめ及び、 朝霞警察署職員を講師として招 き、自転車講習会を実施する。	無料
13	青少年育成推進員会 「あひる」の発行 (広報わこうに掲載)	—	1月	—	1	—	—	青少年育成推進員の活動やお知 らせを掲載する。	無料
14	青少年育成 和光市民会議 たこあげ大会	場所未定	1月16日(土)	—	1	市民	有	手作り凧による大会を実施し、 親子・地域での交流を図る。	無料
15	青少年育成推進員会 定例会④ 講習会③	和光市役所	2月4日(木)	—	1	保護者	有	青少年をまもる店製本作業及び 和光消防署職員を講師として招 き、AED講習会を実施する。	無料
16	青少年相談員協議会 ジュニアスクール③	南公民館	2月7日(日)	—	1	小学生	有	ジュニアスクールと題した事業 の中で、通年を通して同じ参加 者による異年齢交流を実施し、 次世代の青少年相談員の育成を 図る。 【内容】工作	無料
17	和光市地域青少年を 育てる会連合会 広報「芽ばえ」の 電子発行	—	3月	—	1	—	—	育てる会及び連合会活動の報告 と事業等の案内を掲載し電子で 広報をする。	無料

2. 生涯スポーツ振興事業

(1) 令和7年度 事業報告

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	参加者数	内 容	参加費
1	わこらばまつり	市民広場	5月31日(土)	10:00～12:00	1	どなたでも	0	モルックの実施を予定していた。当日現場を準備し待機していたが、悪天候のため実施には至らなかった。	無料
2	佐久市とのスポーツ交流会 (マレットゴルフ)	長野県佐久市 総合運動公園	6月14日(土)	6:30～18:00	1	市民	27	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市の施設で佐久市の指導員のもとマレットゴルフを実施した。	1,500円
3	十日町市・和光市 スポーツ交流会	新潟県 十日町市 加アサヒピッチ他	7月26日(土) 7月27日(日)	6:30～18:30	1	その他	219	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団と少年サッカーの交流を実施した。	無料
4	レクリエーション教室	総合体育館	8月23日(土)	9:30～11:30	1	市民	14	ボッチャ、WAコート(和光市スポーツ推進委員考案)を実施した。	無料
5	佐久市・和光市 スポーツ交流会	長野県佐久市 総合運動公園	8月30日(土)	6:15～18:30	1	その他	139	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市のスポーツ少年団と少年野球、少年サッカーの交流を実施した。	無料
6	レクリエーション教室	総合体育館	9月21日(土)	9:30～11:30	1	市民	12	ボッチャ、室内用モルック、WAコート(和光市スポーツ推進委員考案)を実施した。	無料
7	市民ハイキング	埼玉県行田市	9月28日(日)	7:30～16:00	1	市民	30	埼玉県の歴史的風情を感じながら、自然の中を散策するウォーキングイベントを実施した。	2,000円
8	わこうスポーツ祭り	総合体育館	10月13日 (月・祝)	9:30～13:00	1	どなたでも	約3,500	危機管理室が管轄するBOSAIフェアと合同で開催した。自衛隊やスポーツ団体の協力を得て、多様なスポーツ体験を実施した。	無料
9	市民まつり	広沢小	11月9日(日)	10:00～14:30	1	どなたでも	107	新体力測定(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、立ち幅跳び)を実施した。	無料
10	和光市民ロードレースフェスティバル	和光樹林公園 及び その周辺道路	3月8日(日)	7:30～13:30	1	どなたでも	1,099	距離等により区分した種目からなるマラソン大会を実施した。	有料 (年齢・距離別)

11	健康ウォーキング	東京都板橋区 (赤塚公園)	3月28日(土)	9:00~12:00	1	市民	14	和光市駅と赤塚公園の往復約 8kmのウォーキングを実施し た。	無料
12	和光市・十日町市 スポーツ交流会	アーバン アクア公園 (和光スポーツ アイランド)	3月28日(土) 3月29日(日)	9:00~15:30	1	その他	139	災害時相互応援協定を結んでい る十日町市のスポーツ少年団と 少年サッカーの交流を実施し た。	無料

(2) 令和8年度事業計画

No.	事業名	会場	実施月日	時間	回数	対象	定員	内 容	参加費
1	和光市・佐久市 スポーツ交流会	総合体育館 アーバンアク ア公園（和光ス ポーツ アイランド）	6月6日（土）	9:30～15:30	1	その他	—	災害時相互応援協定を結んでいる佐久市のスポーツ少年団と少年野球、ミニバス、少年サッカーの交流を実施する。	無料
2	十日町市・和光市 スポーツ交流会	新潟県 十日町市 加アチビッザ他	7月25日（土） 7月26日（日）	6:00～18:30	1	その他	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団と少年サッカーの交流を実施する。	無料
3	佐久びんころウォーク	長野県佐久市 （白田総合福祉センター 「あいとびあ 白田」）	9月19日（土）	未定	1	市民	30	佐久地域の健康長寿ブランドの全国的なPRと交流人口の創出による地域全体の活性化を目的としたウォーキングイベント。地元酒蔵をチェックポイントとして活用したり、佐久市産直ブルーの食べ放題を実施したりする等で、佐久地域の特産物・農産物のPRも行っている。	未定
4	わこうスポーツ祭り	総合体育館	10月12日 （月・祝）	9:30～13:00	1	どなたでも	—	多様なスポーツの体験イベントを実施する。	無料
5	市民まつり	未定	11月8日（日）	9:30～15:00	1	どなたでも	—	未定。	無料
6	和光市民 ロードレース フェスティバル	和光樹林公園 及び その周辺道路	3月14日（日）	8:30～13:30	1	どなたでも	—	和光市内を距離等に区分して走る。	有料 （年齢・ 距離別）
7	和光市・十日町市 スポーツ交流会	アーバン アクア公園 （和光スポーツ アイランド）	3月下旬	9:00～15:30	1	その他	—	災害時相互応援協定を結んでいる十日町市のスポーツ少年団と少年サッカーの交流を実施する。	無料
8	健康ウォーキング	和光市内近郊	3月下旬	9:00～12:00	1	市民	—	和光市近郊でウォーキングを実施する。	無料
9	レクリエーション教室	総合体育館	未定	9:30～11:30	未定	市民	—	気軽にできるレクリエーション・スポーツを実施する。	無料

(3) 令和7年度 スポーツ振興施設利用状況

施 設 名			使用回数 (延べ)	前年度比 増減	利用人数 (延べ)	前年度比 増減
1	運動場	野 球 場	137	-23	7,496	-7,075
2		庭 球 場	4,125	45	20,028	-95
3		会 議 室	96	-3	1,401	28
4	司 法 研 修 所 庭 球 場		0	-253	0	-1,410
5	司 法 研 修 所 グ ラ ウ ン ド		0	0	0	0
6	税 務 大 学 校 庭 球 場		168	-45	995	-177
7	税 務 大 学 校 グ ラ ウ ン ド		52	-3	1,631	306
8	裁 判 所 職 員 総 合 研 修 所 庭 球 場		206	-9	1,178	42
9	裁 判 所 職 員 総 合 研 修 所 グ ラ ウ ン ド		0	0	0	0
10	荒川河川敷	野 球 場	834	110	20,776	3,266
11	学校開放	広 沢 小 学 校 校 庭 (夜 間)	163	-3	3,846	99
12		小 学 校 体 育 館 (夜 間)	1,744	2	30,283	-3,062
13		小 学 校 体 育 館 (土 ・ 日 ・ 祝 日)	1,397	62	25,890	-1,096
14		小 学 校 校 庭 (土 ・ 日 ・ 祝 日)	1,417	-43	61,244	-2,511
15		下 新 倉 小 学 校 プ ー ル	0	0	0	0
16		中 学 校 体 育 館 (夜 間)	930	122	10,412	1,412
17		中 学 校 体 育 館 卓 球 場 (夜 間)	253	11	4,470	87
18		中 学 校 体 育 館 格 技 場 (夜 間)	191	77	4,937	2,127
19	花 の 木 ゲ ー ト ボ ー ル 場		0	0	0	0
20	レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場		240	-20	7,459	378
合 計			11,953	27	202,046	-7,681

(4) 令和7年度総合体育館施設利用状況

		利用人数(延べ)	前年度比 増減
メインアリーナ	個人利用(人)	5,852	53
	専用利用(枠)	1,511	71
	専用利用(人)	47,380	939
	人数合計	53,232	992
サブアリーナ	個人利用(人)	3,897	153
	専用利用(枠)	1,282	59
	専用利用(人)	19,745	-732
	人数合計	23,642	-579
柔剣道場	個人利用(人)	1,407	-60
	専用利用(枠)	1,208	91
	専用利用(人)	8,551	-1,314
	人数合計	9,958	-1,374
軽スポーツ室	個人利用(人)	19,938	1,368
	専用利用(枠)	1,627	4
	専用利用(人)	350	-7
	人数合計	20,288	1,361
研修会議室	専用利用(枠)	768	88
	専用利用(人)	3,496	1,428
	人数合計	3,496	1,428
弓道場	個人利用(人)	3,023	44
	専用利用(枠)	209	68
	専用利用(人)	1,805	158
	人数合計	4,828	202
トレーニング室	個人利用(人)	28,375	442
	回数券(人)	6,203	29
	人数合計	34,578	471
ランニングコース		522	-22
自主事業(コース型教室)		24,459	-148
サービスプログラム		37,307	1,148
個人利用計(人)		69,217	2,007
専用利用計(枠)		6,605	381
専用利用計(人)		81,327	472
総利用人数(人)		212,310	3,479

(5) 令和7年度アーバンアクア公園施設利用状況

			利用人数(延べ)	前年度比 増減
一 般 利 用	野 球 場		7,666	457
	庭球場	日中のみ	6,656	-957
		夜間のみ	1,472	137
	人工芝 サッカー場		28,769	-2,065
	クレー サッカー場		17,308	559
	会 議 室		2,449	842
	フットサル場	日中のみ	5,583	-1,247
		夜間のみ	2,829	-332
	ソフトボール場		11,269	-3,141
一般利用計(人)			84,001	-5,747
自主事業参加人数(延べ)			2,674	173
総利用人数(人)			86,675	-5,574

※令和5年7月より、庭球場及びフットサル場の夜間運用を開始

(6) 令和7年度市民プール施設利用状況

		利用人数(延べ)	前年度比 増減
一般利用	個人利用(人)	40,107	2,626
	専用利用(枠)	52	1
	専用利用(人)	3,916	-151
	人数合計	44,023	2,475
自主事業参加人数(延べ)		43,970	666
総利用人数(人)		87,993	3,141

(7) スポーツ協会加盟団体別人数一覧表

No.	団体名	団体数	男	女	合計
1	軟式野球連盟	12	125	0	125
2	ソフトテニス連盟	1	26	17	43
3	バレーボール連盟	4	0	45	45
4	ソフトボール協会	9	95	15	110
5	バドミントン連盟	5	20	6	26
6	硬式テニス協会	11	134	56	190
7	剣道連盟	1	63	9	72
8	少林寺拳法連盟	1	12	5	17
9	合気道	5	14	13	27
10	武術太極拳連盟	14	43	107	150
11	弓道連盟	1	22	21	43
12	空手道連盟	5	33	29	62
	合 計	69	587	323	910

(8) スポーツ少年団加盟団体別人数一覧表(指導者含む)

No.	団体名	団体数	団員数		指導者・役員・スタッフ数	合計
			男	女		
1	少年野球連盟	7	194	16	108	318
2	ミニバスケットボール連盟	6	79	56	34	169
3	U-12 サッカー連盟	6	150	8	46	204
4	小学生バレーボール連盟	1	6	18	4	28
	合 計	20	429	98	192	719

(9) スポーツ振興施設一覧表

施設名	規模	位置	連絡先	設立年月日	
運動場	野球場1面・庭球場4面 21,975㎡	南2-2-2	(467) 1335	昭和 62.4.1	
総合体育館	アリーナ・弓道場・柔剣道場・ 軽スポーツ室・ トレーニング室 13,050.90㎡	広沢3-1 (県営和光 樹林公園内)	(462) 0107	平成 19.5.13	
アーバンアクア公園 (和光スポーツ アイランド)	野球場1面 13,752㎡ 人工芝サッカー場1面 8,732㎡ 庭球場5面 3,529㎡ フットサル場2面 2,155㎡ 多目的広場A 18,162㎡ 多目的広場B 8,809㎡	新倉6-1-10	(465) 7511	平成 30.10.20	
市民プール	大プール 393.75㎡ (25mコース7レーン) 小プール 91.35㎡	広沢1-5-54	(465) 2525	令和 3.12.4	
外環花の木 ゲートボール場	ゲートボール場1面 1,257㎡	新倉2-3450	スポーツ 青少年課 (464) 1111	平成 9.4.25	
レクリエーション 広場	少年野球場1面 5,600㎡	南2-1516-1	スポーツ 青少年課 (464) 1111	昭和 52.11.10	
荒川河川敷運動公園 野球場	野球場2面 41,112㎡	大字下新倉地内	スポーツ 青少年課 (464) 1111	昭和 56.4.1	

和光の教育

令和8年7月

発 行 和光市教育委員会
埼玉県和光市広沢1-5
電話 048 (464) 1111 (代)

U R L <https://www.city.wako.lg.jp/>